

# 第52回 市政世論調査

(令和7年度)

新潟市



# < 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	5
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 空き家について	11
（1）地域の空き家の今後	11
（2）空き家対策の取り組みの認知状況	14
（3）必要だと思う空き家対策	16
（4）空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知度	19
（5）空き家にしないための話し合い	21
2. 交通施策に関する取り組みについて	23
（1）交通手段の満足度	23
（2）2つ以上の交通手段を乗り継いで市内を移動することの有無	38
（3）利用する乗り継ぎ手段	40
（4）乗り継いで利用する際の満足度	44
（5）都心部における交通結節点の整備に関する満足度	47
3. 消費生活について	49
（1）消費生活センターの認知度	49
（2）関心のある消費者問題	51
（3）購入した商品・サービスからの被害や不安	53
（4）被害や不安の相談先	57
（5）消費生活センターに相談しなかった理由	59
（6）クーリング・オフ制度の認知度	61
（7）必要な消費者教育（年代別）	63
（8）消費者教育を行う上で重要な場	78

(9) 市に期待する消費生活の取り組み .....	81
(10) 最も心がけている消費行動 .....	84
(11) 今後、最も心がけたい消費行動 .....	86
(12) エシカル消費の認知度 .....	88
4. ラムサール条約湿地都市認証について .....	90
(1) ラムサール条約の認知度 .....	90
(2) ラムサール条約湿地都市認証の認知度 .....	92
(3) ラムサール条約湿地都市認証を受けたこと感想 .....	94
(4) 潟や湿地のイメージ .....	96
(5) 潟（湖沼）への来訪者を増やす・楽しむための施策 .....	99
5. 市政全般と区政について .....	102
(1) 新潟市として良くなっているもの .....	102
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの .....	106
(3) 区として良くなっているもの .....	110
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの .....	114
Ⅲ 調査票様式 .....	119

# I 調 査 概 要



## 1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市政に対する意識を調査し、市政運営の参考とする目的で実施する。

## 2. 調査の項目

(1) 空き家について	本質問	5問
(2) 交通施策に関する取り組みについて	本質問	5問
(3) 消費生活について	本質問	12問
(4) ラムサール条約湿地都市認証について	本質問	5問
(5) 市政全般と区政について	本質問	1問
(6) 対象者属性	本質問	5問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和7年3月末現在15歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：単純無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）、インターネット回答法（回答のみ）
- (6) 調査期間：令和7年8月25日～9月15日

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

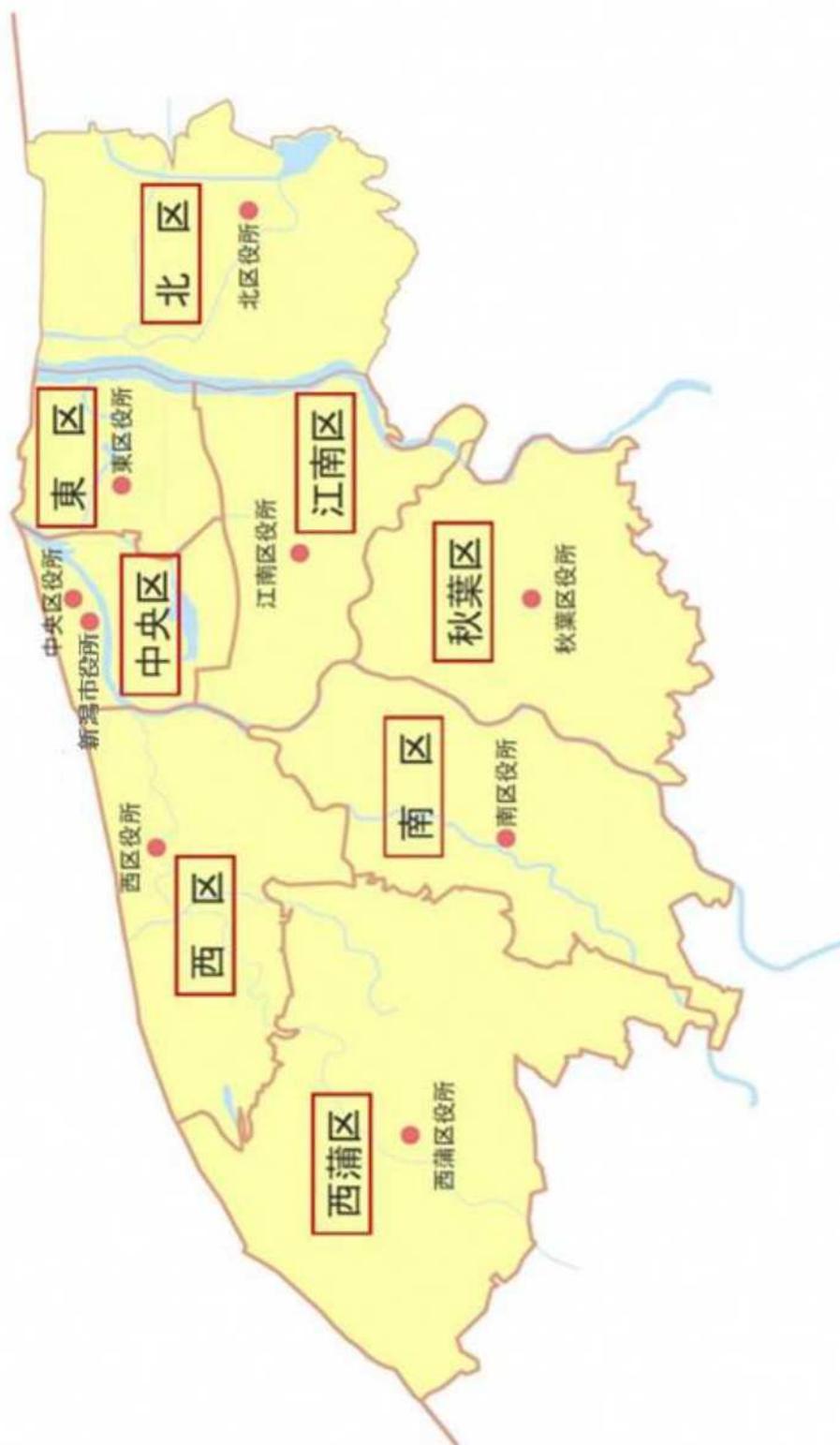
今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

### (2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	674,304	100.0%	4,000	2,363	59.1%
北区	62,347	9.2%	377	215	57.0%
東区	115,979	17.2%	662	367	55.4%
中央区	153,415	22.8%	886	517	58.4%
江南区	58,996	8.7%	352	208	59.1%
秋葉区	65,286	9.7%	398	237	59.5%
南区	37,456	5.6%	212	129	60.8%
西区	133,616	19.8%	826	485	58.7%
西蒲区	47,209	7.0%	287	158	55.1%
区名無回答				47	

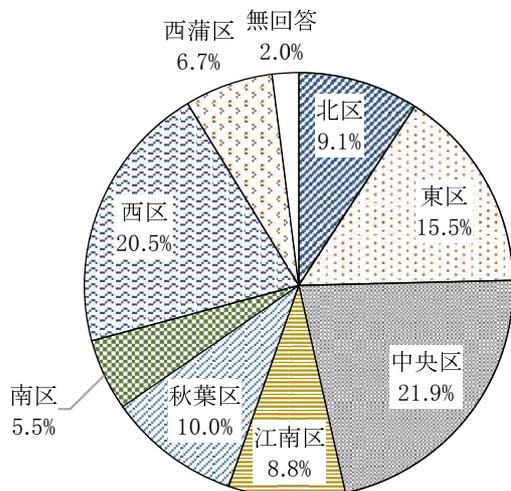
## 6. 区（行政区）の範囲

<区分図>

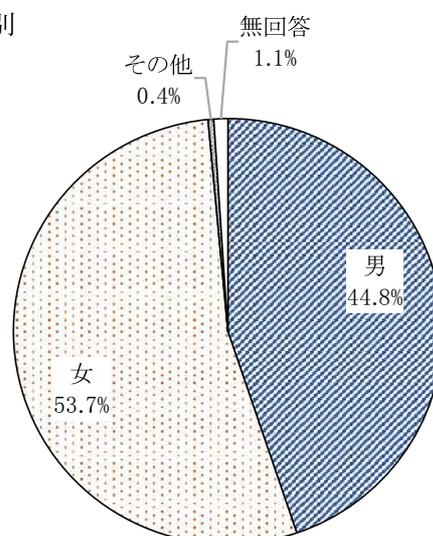


## 7. 回答者の特性

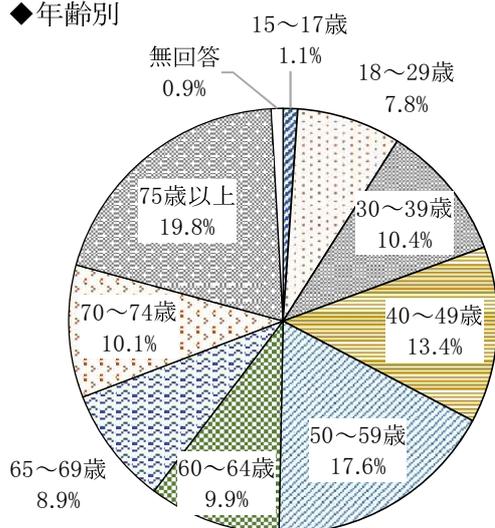
### ◆地区別



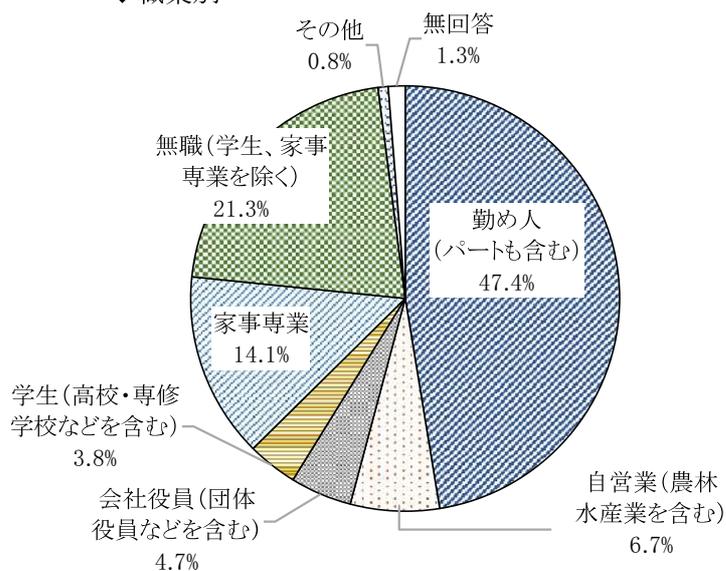
### ◆性別



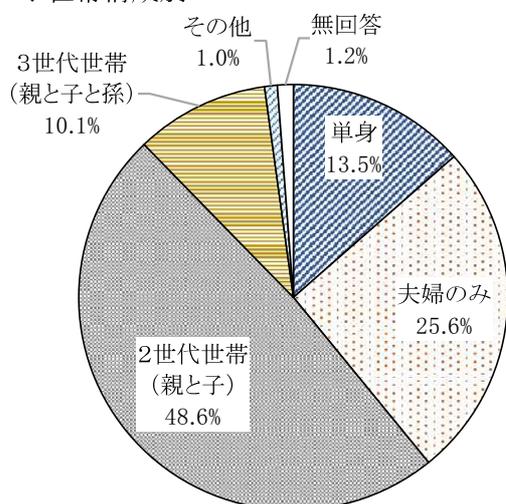
### ◆年齢別



### ◆職業別

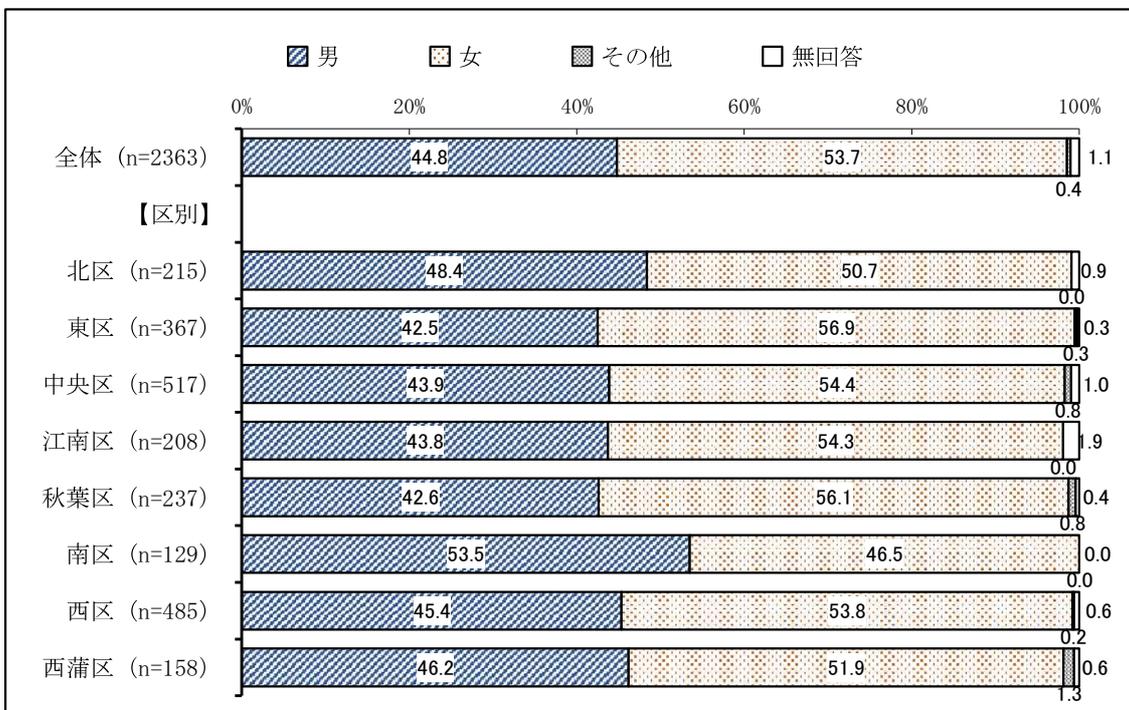


### ◆世帯構成別

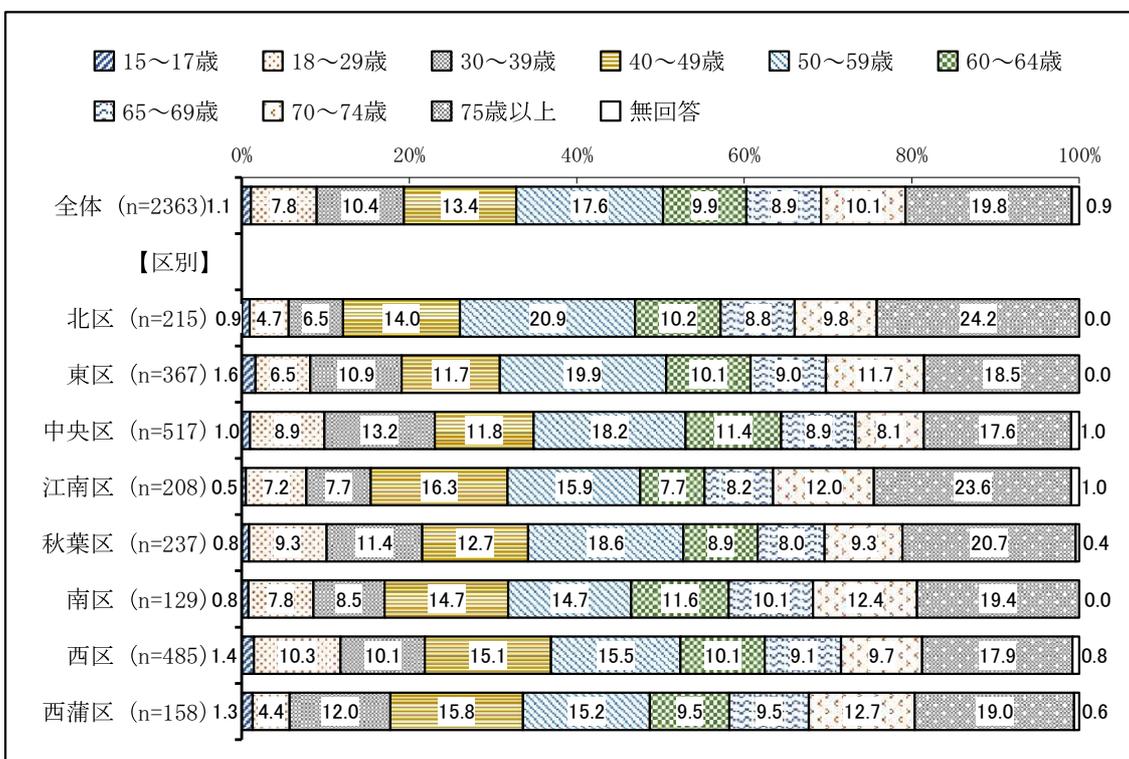


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

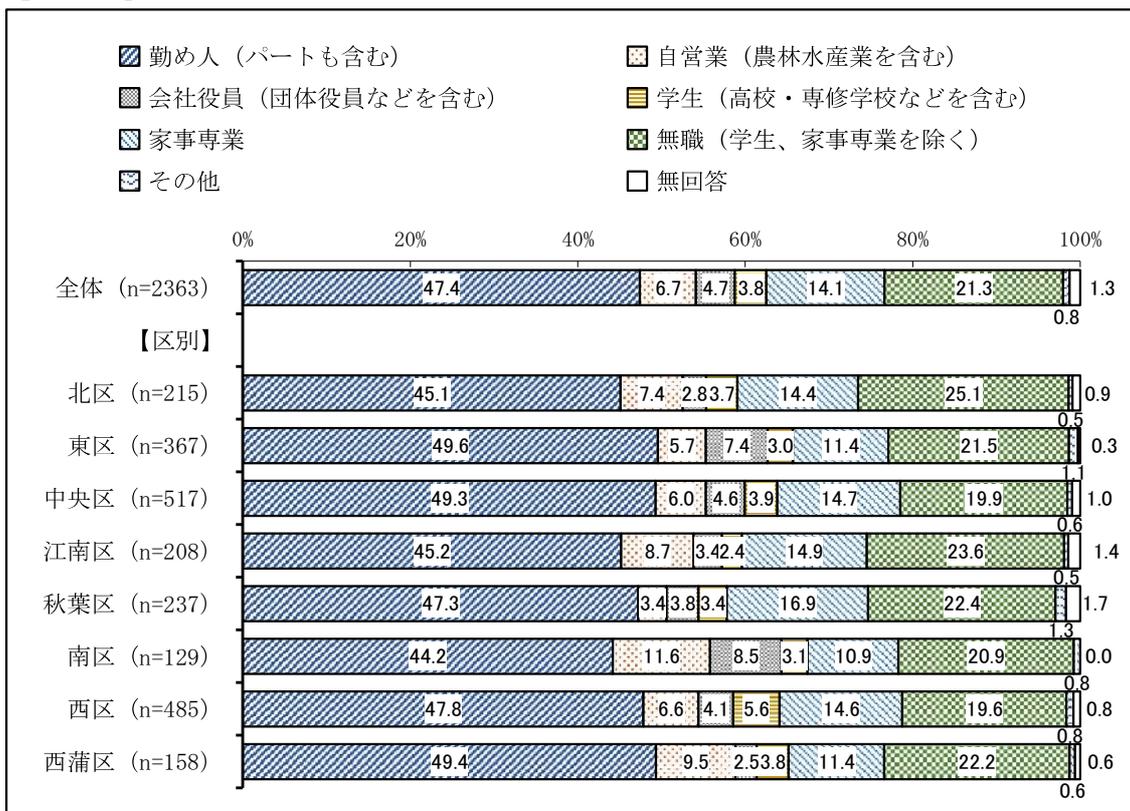
### 【性別】



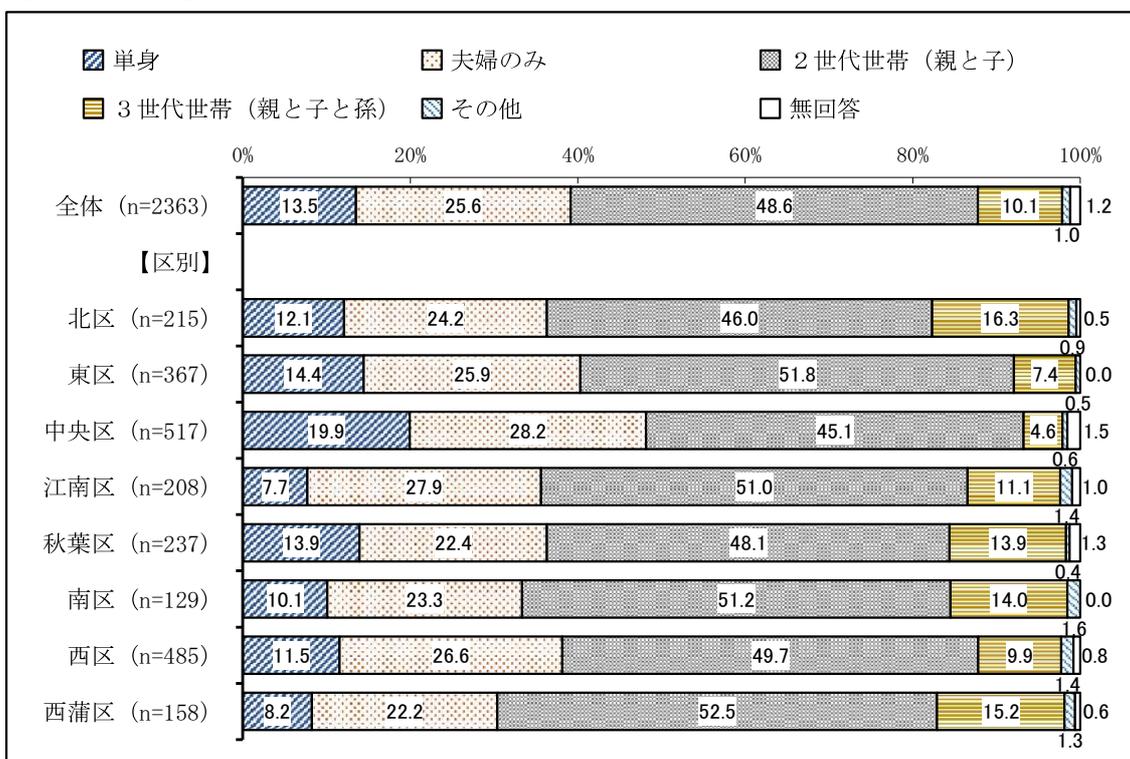
### 【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】



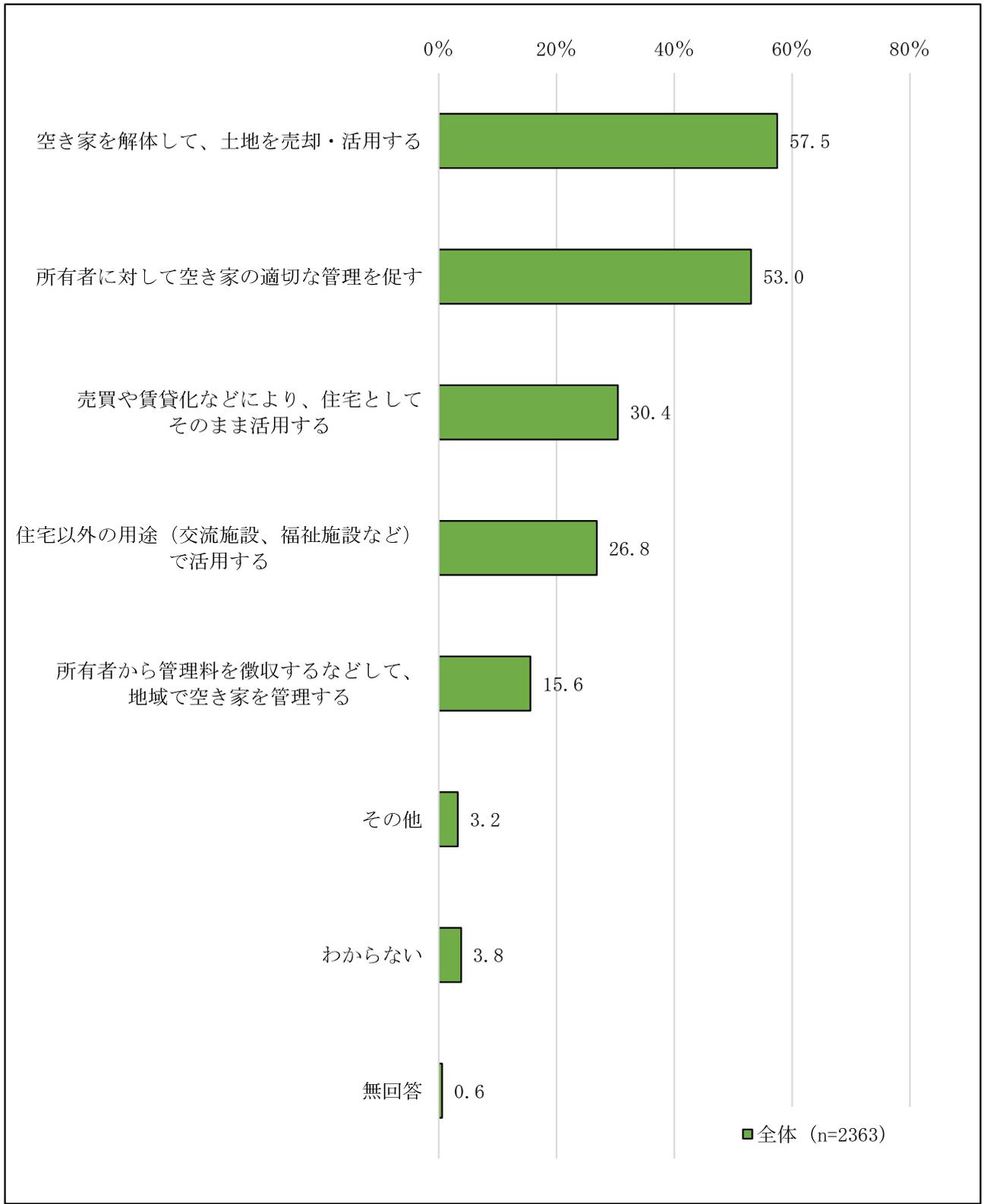
## Ⅱ 調 査 結 果



# 1. 空き家について

## (1) 地域の空き家の今後

問1 あなたは、地域の空き家を今後どうしていきべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



## — 「空き家を解体して、土地を売却・活用する」が6割弱でトップ —

### 【全体結果】

「空き家を解体して、土地を売却・活用する」(57.5%)が最も高く、次いで高いのが「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」(53.0%)となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1-1参照)

#### ① 地区別

「空き家を解体して、土地を売却・活用する」の割合が高いのは、中央区(60.3%)、西区(59.6%)、江南区(58.7%)、東区(58.6%)で約6割となった。逆に、最も低いのは西蒲区(51.3%)で差がみられた。「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」の割合が高いのは、西蒲区(62.7%)で6割を超えた。最も低いのは中央区(50.9%)と差がみられた。

#### ② 性別

「売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する」(男性:27.9%、女性:32.6%)、「住宅以外の用途(交流施設、福祉施設など)で活用する」(男性:24.6%、女性:28.6%)の割合は男性と比較して女性で高かった。

#### ③ 年齢別

「所有者に対して空き家の適切な管理を促す」の割合は、年齢が高いほど高くなる傾向が、「空き家を解体して、土地を売却・活用する」、「売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する」、「住宅以外の用途(交流施設、福祉施設など)で活用する」の割合は、年齢が低いほど高くなる傾向がみられた。

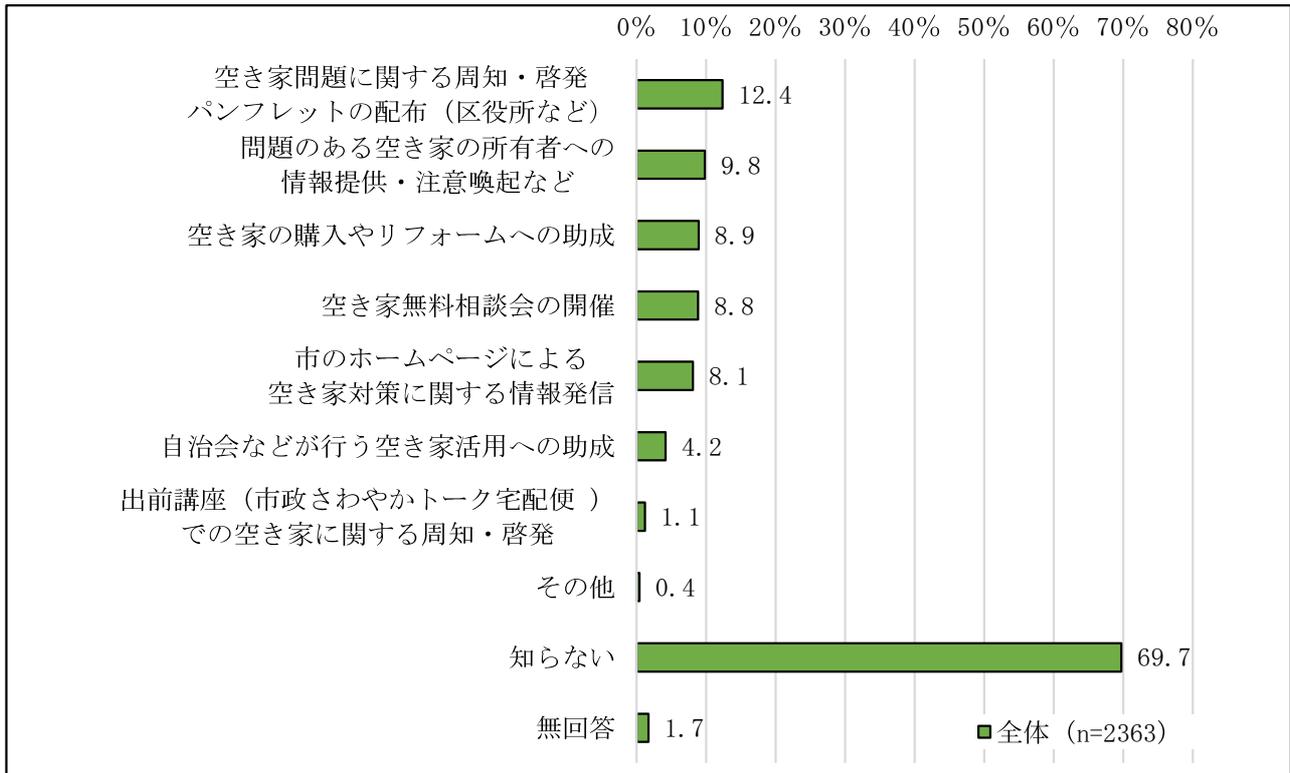
図 1-1 地域の空き家の今後（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	空き家を解体して、土地を売却・活用する	所有者に対して空き家の適切な管理を促す	売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する	住宅以外の用途（交流施設、福祉施設など）で活用する	所有者から管理料を徴収するなどして、地域で空き家を管理する	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	57.5	53.0	30.4	26.8	15.6	3.2	3.8	0.6
<b>【区別】</b>								
北区 (n=215)	54.4	54.0	34.9	26.5	15.8	4.2	2.8	0.0
東区 (n=367)	58.6	51.8	30.0	26.2	14.7	4.1	4.1	1.1
中央区 (n=517)	60.3	50.9	28.8	26.3	18.0	3.1	3.3	0.4
江南区 (n=208)	58.7	55.8	31.7	20.2	13.5	1.9	3.8	1.0
秋葉区 (n=237)	54.0	55.3	32.1	27.4	19.0	3.0	4.2	0.4
南区 (n=129)	53.5	52.7	27.9	25.6	5.4	3.9	7.8	0.0
西区 (n=485)	59.6	51.5	28.7	29.9	14.2	2.7	2.9	0.4
西蒲区 (n=158)	51.3	62.7	35.4	28.5	19.6	3.2	3.2	0.0
<b>【性別】</b>								
男 (n=1059)	59.0	51.8	27.9	24.6	15.2	4.3	3.5	0.4
女 (n=1269)	56.5	53.7	32.6	28.6	16.1	2.3	4.0	0.6
<b>【年齢】</b>								
15～17歳 (n=26)	50.0	46.2	42.3	42.3	7.7	0.0	0.0	0.0
18～29歳 (n=185)	63.2	34.6	27.0	30.8	11.9	1.6	2.7	0.0
30～39歳 (n=246)	72.8	39.4	34.6	27.2	15.4	4.1	2.8	0.0
40～49歳 (n=317)	64.0	40.1	35.0	25.9	17.7	1.9	3.2	0.0
50～59歳 (n=415)	64.8	50.1	34.0	27.5	16.6	4.8	3.4	0.0
60～64歳 (n=235)	59.6	58.7	36.6	25.5	13.6	4.3	1.3	0.4
65～69歳 (n=211)	53.1	59.2	27.0	28.0	13.7	3.3	4.7	0.5
70～74歳 (n=238)	43.7	67.6	25.2	26.9	16.4	2.1	5.5	0.4
75歳以上 (n=469)	44.8	65.5	23.5	24.3	16.6	3.2	5.5	2.1

## (2) 空き家対策の取り組みの認知状況

問2 あなたは、市で行われている空き家対策の取り組みについて知っていますか。

(〇はいくつでも)



— 約7割が『知らない』 —

### 【全体結果】

「知らない」(69.7%)の割合が最も高く、約7割となった。「空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布(区役所など)」(12.4%)、「問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起など」(9.8%)の割合は1割前後であった。

### 【属性別結果】(次ページ図1-2参照)

#### ① 地区別

「空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布(区役所など)」の割合は、西区(15.5%)と秋葉区(14.3%)で高かった。「空き家無料相談会の開催」の割合は南区(14.0%)で高かった。

#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

#### ③ 年齢別

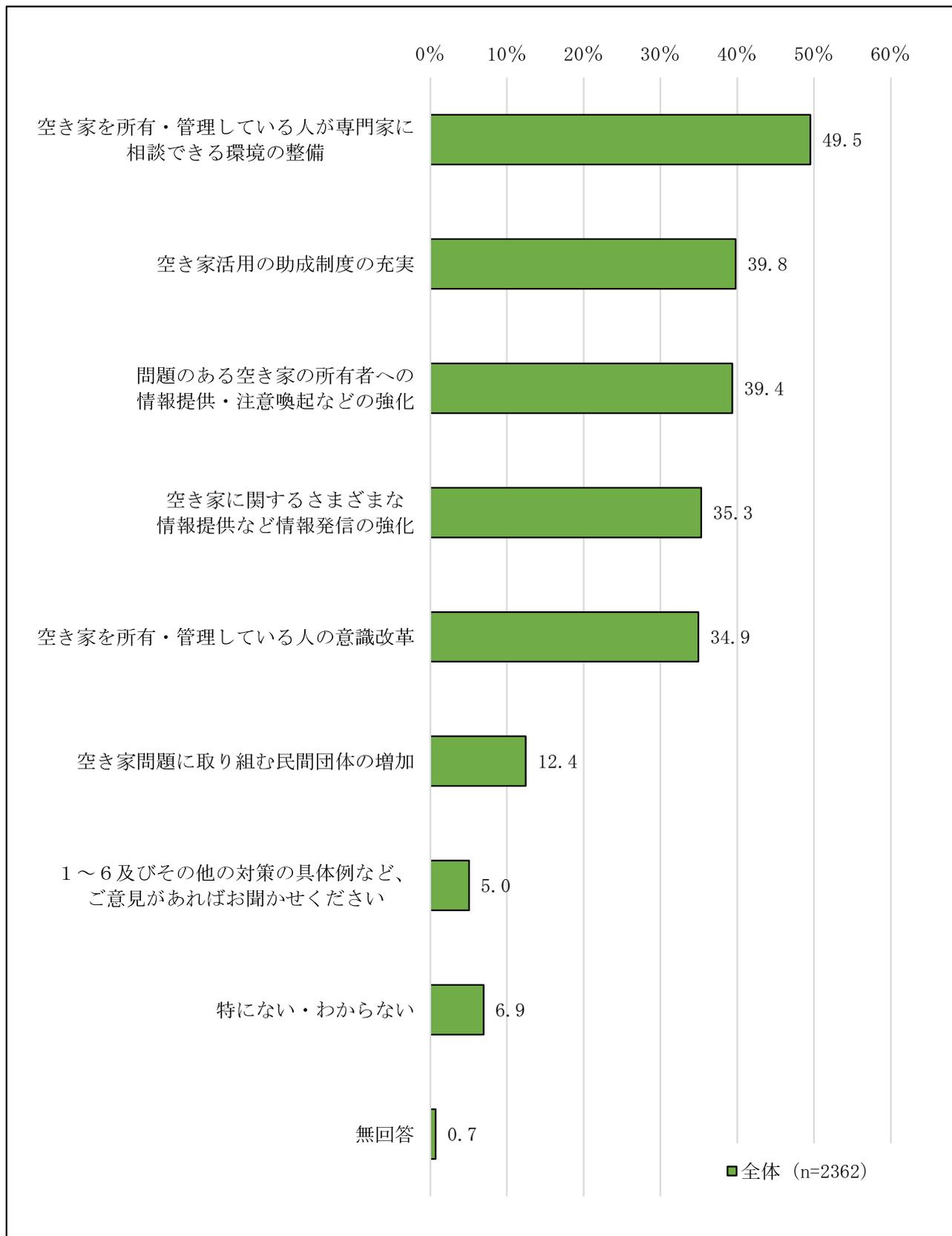
「空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布(区役所など)」の割合は70~74歳(18.9%)、65~69歳(16.6%)、75歳以上(15.4%)の順で高く15%を超えている。年齢が低いほど「知らない」の割合が高くなる傾向がみられた。

図 1-2 空き家対策の取り組みの認知状況（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	の空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布（区役所など）	問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起など	空き家の購入やリフォームへの助成	空き家無料相談会の開催	市のホームページによる空き家対策に関する情報発信	自治会などが行う空き家活用への助成	出前講座（市政さわやかトーク宅配便）での空き家に関する周知・啓発	その他	知らない	無回答
全体 (n=2363)	12.4	9.8	8.9	8.8	8.1	4.2	1.1	0.4	69.7	1.7
【区別】										
北区 (n=215)	11.2	10.2	9.8	7.9	11.2	6.0	1.4	0.5	69.8	0.9
東区 (n=367)	12.0	10.4	9.3	9.8	8.2	3.8	0.5	0.5	69.2	2.5
中央区 (n=517)	11.4	10.3	7.7	7.4	9.5	4.4	1.0	0.2	72.5	1.0
江南区 (n=208)	12.0	12.0	10.1	10.1	7.2	2.9	1.9	0.5	69.2	1.0
秋葉区 (n=237)	14.3	11.8	9.7	7.2	6.3	5.5	1.3	0.0	67.5	2.1
南区 (n=129)	10.1	10.1	11.6	14.0	7.8	3.9	1.6	0.0	69.0	0.8
西区 (n=485)	15.5	7.8	7.6	8.9	6.8	3.5	1.2	0.8	69.3	1.2
西蒲区 (n=158)	8.2	7.0	8.9	9.5	9.5	3.2	0.0	0.0	71.5	1.9
【性別】										
男 (n=1059)	13.8	9.9	8.3	8.6	8.7	4.3	1.2	0.4	69.9	1.3
女 (n=1269)	11.1	9.8	9.1	8.7	7.6	4.1	1.0	0.4	70.1	1.7
【年齢】										
15～17歳 (n=26)	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	80.8	0.0
18～29歳 (n=185)	10.3	7.0	10.8	6.5	4.9	4.9	2.2	0.5	77.3	0.0
30～39歳 (n=246)	10.6	6.1	8.9	6.9	6.5	2.0	0.8	0.0	74.4	0.8
40～49歳 (n=317)	8.8	6.0	9.1	6.9	8.5	2.8	1.6	0.6	76.7	0.3
50～59歳 (n=415)	9.2	7.0	8.0	8.9	7.0	2.9	0.7	0.2	74.9	0.2
60～64歳 (n=235)	10.6	7.2	8.5	8.1	7.7	3.0	0.9	0.0	75.3	0.0
65～69歳 (n=211)	16.6	11.4	8.1	9.0	8.5	2.4	0.0	0.0	63.5	3.3
70～74歳 (n=238)	18.9	14.3	10.5	14.3	14.3	4.2	2.5	0.4	59.7	1.7
75歳以上 (n=469)	15.4	16.2	8.7	9.6	8.3	8.7	0.9	0.9	59.7	4.7

### (3) 必要だと思う空き家対策

問3 あなたは、空き家問題を解決するために、市の空き家対策としてどのようなことが必要であると思いますか。(〇はいくつでも)



## — 「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」が 約5割でトップ —

### 【全体結果】

「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」(49.5%)の割合が高く約5割となった。次いで、「空き家活用の助成制度の充実」(39.8%)、「問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起などの強化」(39.4%)、「空き家に関するさまざまな情報提供など情報発信の強化」(35.3%)、「空き家を所有・管理している人の意識改革」(34.9%)が続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図1-3参照)

#### ① 地区別

「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」の割合は、江南区(57.7%)で最も高く、最も低い南区(44.2%)と差がみられた。西蒲区では「空き家活用の助成制度の充実」(45.6%)の割合が最も高かった。

#### ② 性別

「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」は、男性(45.2%)と比較して女性(53.0%)で割合が高かった。

#### ③ 年齢別

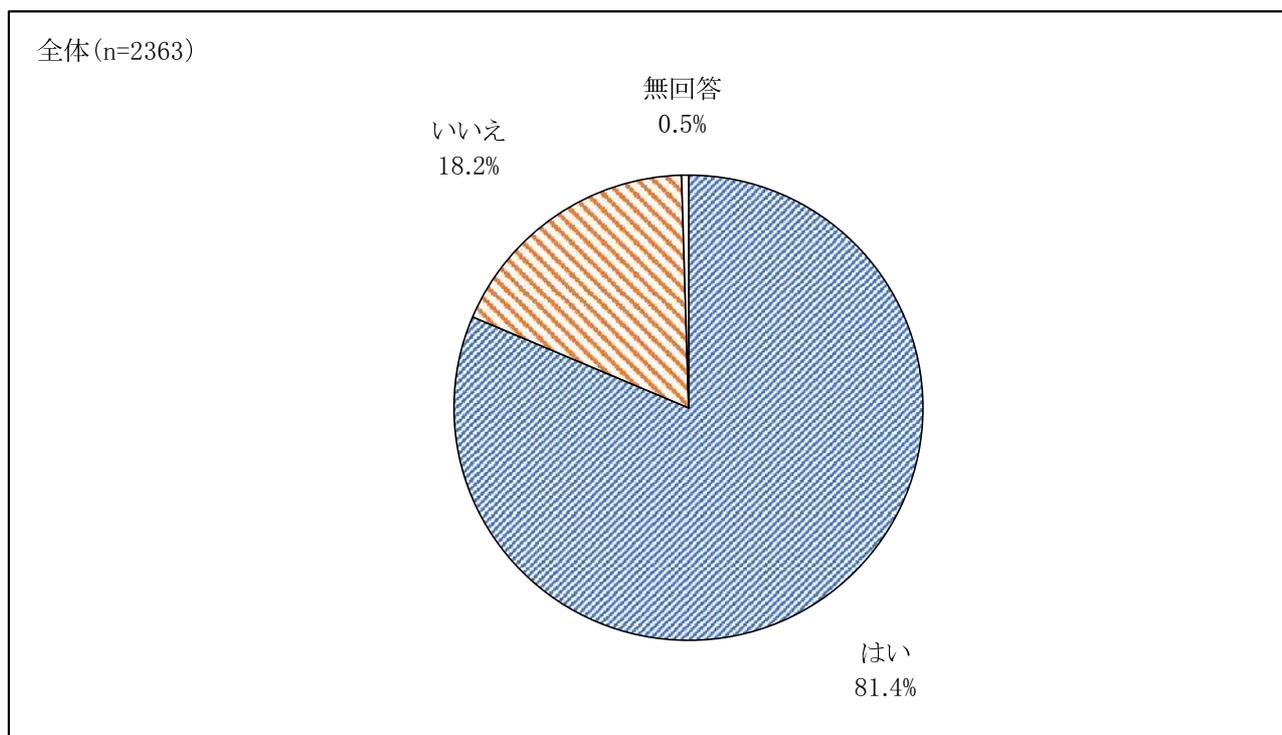
40歳以上では「空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備」の割合が最も高くなった。30～39歳では「空き家活用の助成制度の充実」、18～29歳では「空き家を所有・管理している人の意識改革」の割合が最も高くなった。

図 1-3 必要だと思う空き家対策（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備	空き家活用の助成制度の充実	問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起などの強化	空き家に関するさまざまな情報提供など情報発信の強化	空き家を所有・管理している人の意識改革	空き家問題に取り組み民間団体の増加	1〜6及びその他の対策の具体例など、ご意見があればお聞かせください	特にない・わからない	無回答
全体 (n=2362)	49.5	39.8	39.4	35.3	34.9	12.4	5.0	6.9	0.7
<b>【区別】</b>									
北区 (n=215)	47.0	40.0	41.4	37.2	38.1	11.2	3.7	8.4	0.5
東区 (n=367)	51.8	39.5	40.1	33.8	40.9	10.6	3.8	5.7	0.8
中央区 (n=516)	50.4	40.1	39.0	34.1	34.9	13.2	4.8	7.9	0.2
江南区 (n=208)	57.7	36.1	43.3	37.0	36.5	7.7	4.3	3.4	0.0
秋葉区 (n=237)	48.5	39.7	38.8	38.8	34.6	16.9	6.3	5.9	2.1
南区 (n=129)	44.2	35.7	32.6	31.0	27.9	14.0	2.3	14.7	0.8
西区 (n=485)	49.1	42.1	40.0	35.1	31.8	12.2	7.4	6.0	0.2
西蒲区 (n=158)	44.9	45.6	34.2	40.5	35.4	10.8	4.4	6.3	0.6
<b>【性別】</b>									
男 (n=1058)	45.2	38.6	39.1	36.6	35.0	12.8	6.3	6.6	0.6
女 (n=1269)	53.0	41.0	39.8	34.8	35.0	12.2	3.9	7.3	0.7
<b>【年齢】</b>									
15〜17歳 (n=26)	34.6	46.2	42.3	46.2	42.3	11.5	0.0	7.7	0.0
18〜29歳 (n=185)	37.8	37.3	29.2	37.8	40.0	10.3	4.3	6.5	0.0
30〜39歳 (n=246)	47.2	52.0	30.5	37.8	32.1	12.2	5.3	6.1	0.4
40〜49歳 (n=317)	50.2	48.3	40.4	35.3	29.7	12.9	9.1	4.7	0.0
50〜59歳 (n=414)	53.1	48.6	39.6	39.6	32.6	13.5	4.8	5.8	0.0
60〜64歳 (n=235)	59.1	43.0	37.0	38.3	34.0	14.5	4.3	4.3	0.4
65〜69歳 (n=211)	54.0	37.0	44.1	32.2	37.0	13.3	4.7	4.7	0.5
70〜74歳 (n=238)	48.7	33.6	46.2	37.8	37.4	10.1	4.2	6.3	1.3
75歳以上 (n=469)	45.6	24.5	42.9	28.1	38.4	11.7	3.6	12.8	1.9

#### (4) 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知度

問4 あなたは、様々な理由で誰もが空き家の所有者（管理者）になる可能性があることを知っていますか。（○は1つだけ）  
（例 親族からの相続や親の介護施設等への入所に伴う実家の空き家化など）



— 『知っている』は約8割 —

##### 【全体結果】

空き家の所有者（管理者）になる可能性があることを知っているかの問いに「はい」の割合は81.4%で約8割が認識していた。

##### 【属性別結果】（次ページ図1-4参照）

###### ① 地区別

「はい」は、西区（84.7%）、中央区（83.8%）、南区（82.9%）、江南区（82.2%）の順で高く8割を超えた。

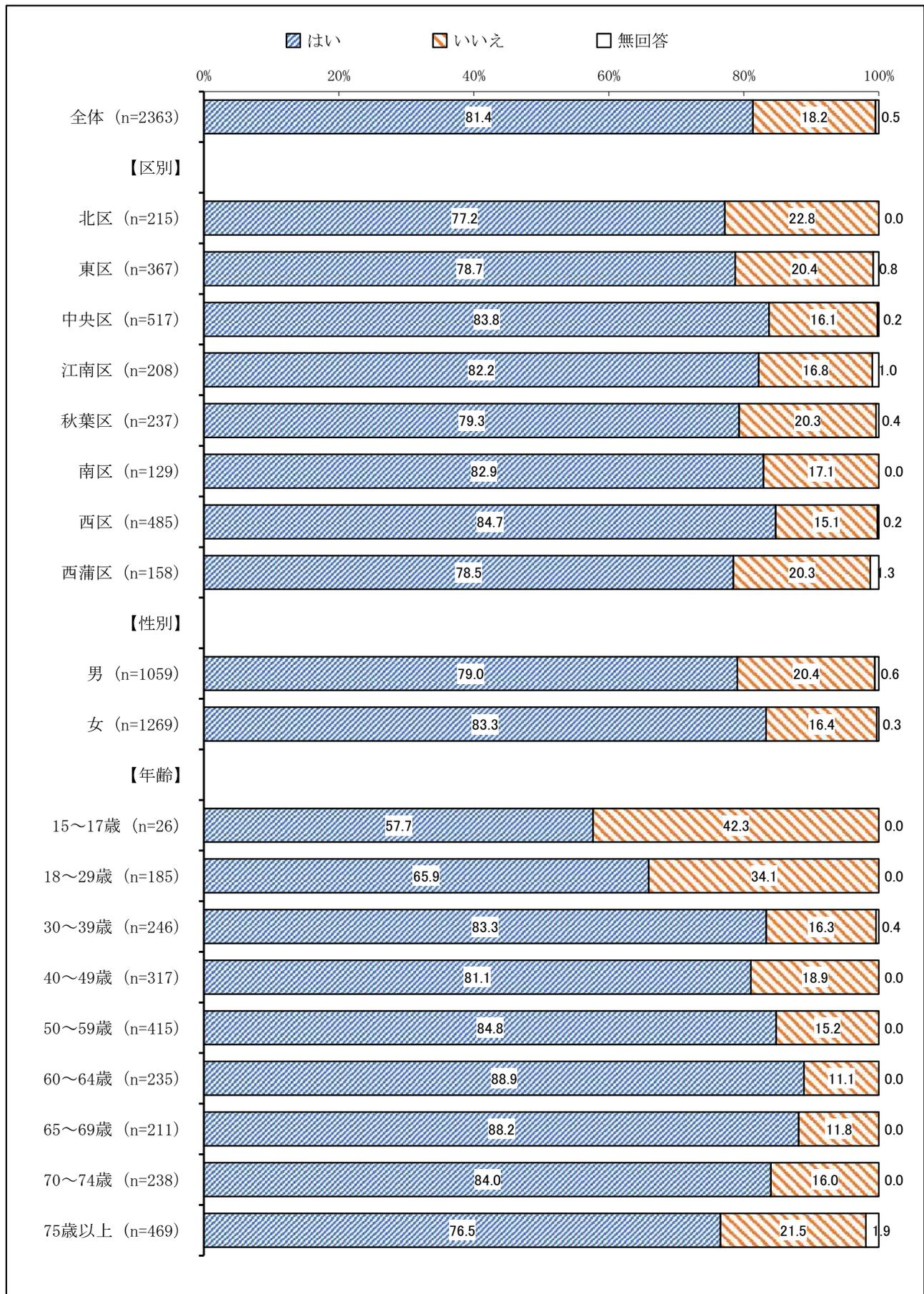
###### ② 性別

「はい」は、男性（79.0%）と比較して女性（83.3%）で割合が高かった。

###### ③ 年齢別

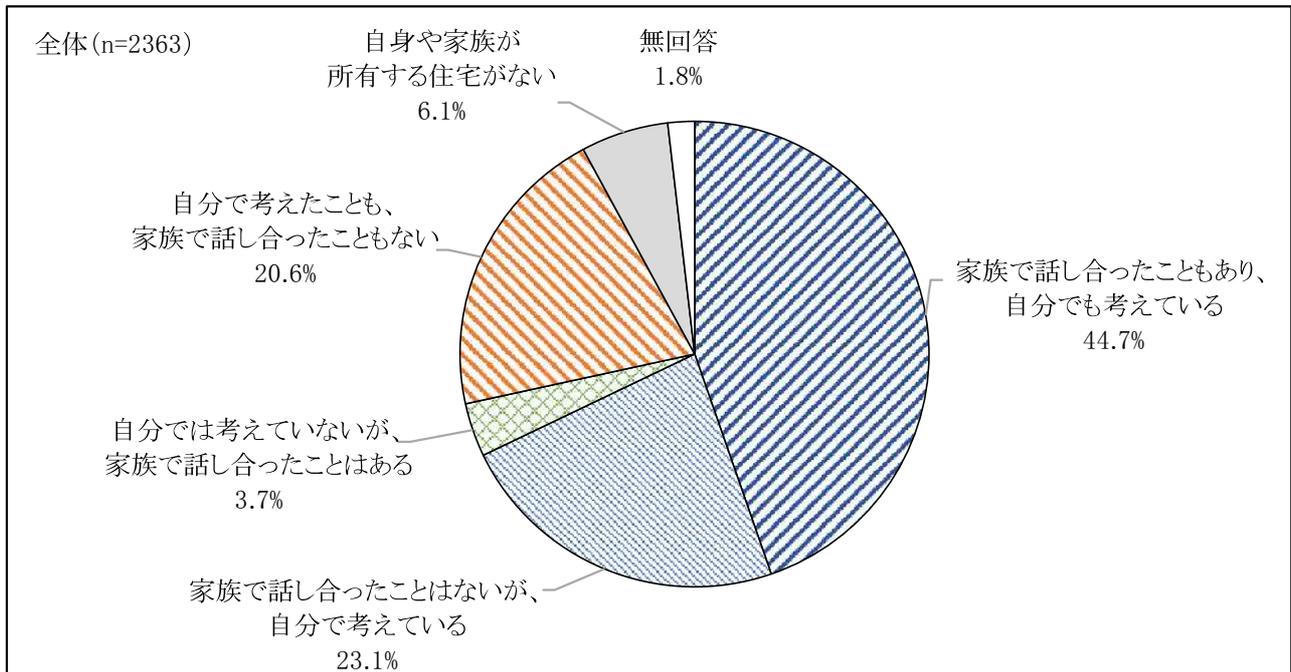
「はい」の割合は、60～64歳（88.9%）、65～69歳（88.2%）の順に高く、9割近くとなった。逆に最も低いのは、15～17歳（57.7%）で6割に満たなかった。

図 1-4 空き家の所有者（管理者）になる可能性の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (5) 空き家にしないための話し合い

問5 ご自身やご家族が所有している住宅が、将来空き家にならないように家族と話し合ったり、ご自身で考えたりしたことがありますか。(〇は1つだけ)



— 『自分で考えている』は7割弱 —

### 【全体結果】

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」(44.7%)の割合が最も高く、次いで「家族で話し合ったことはないが、自分で考えている」(23.1%)、「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」(20.6%)が2割台となった。『自分で考えている』の合計は67.8%、『家族で話し合ったことがある』の合計は48.4%、となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1-5参照)

#### ① 地区別

「家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている」は、西区(49.3%)で最も高く、次いで江南区と東区(いずれも46.6%)の順となり4割を超えた。「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」の割合は西蒲区(27.2%)と南区(24.0%)で高かった。

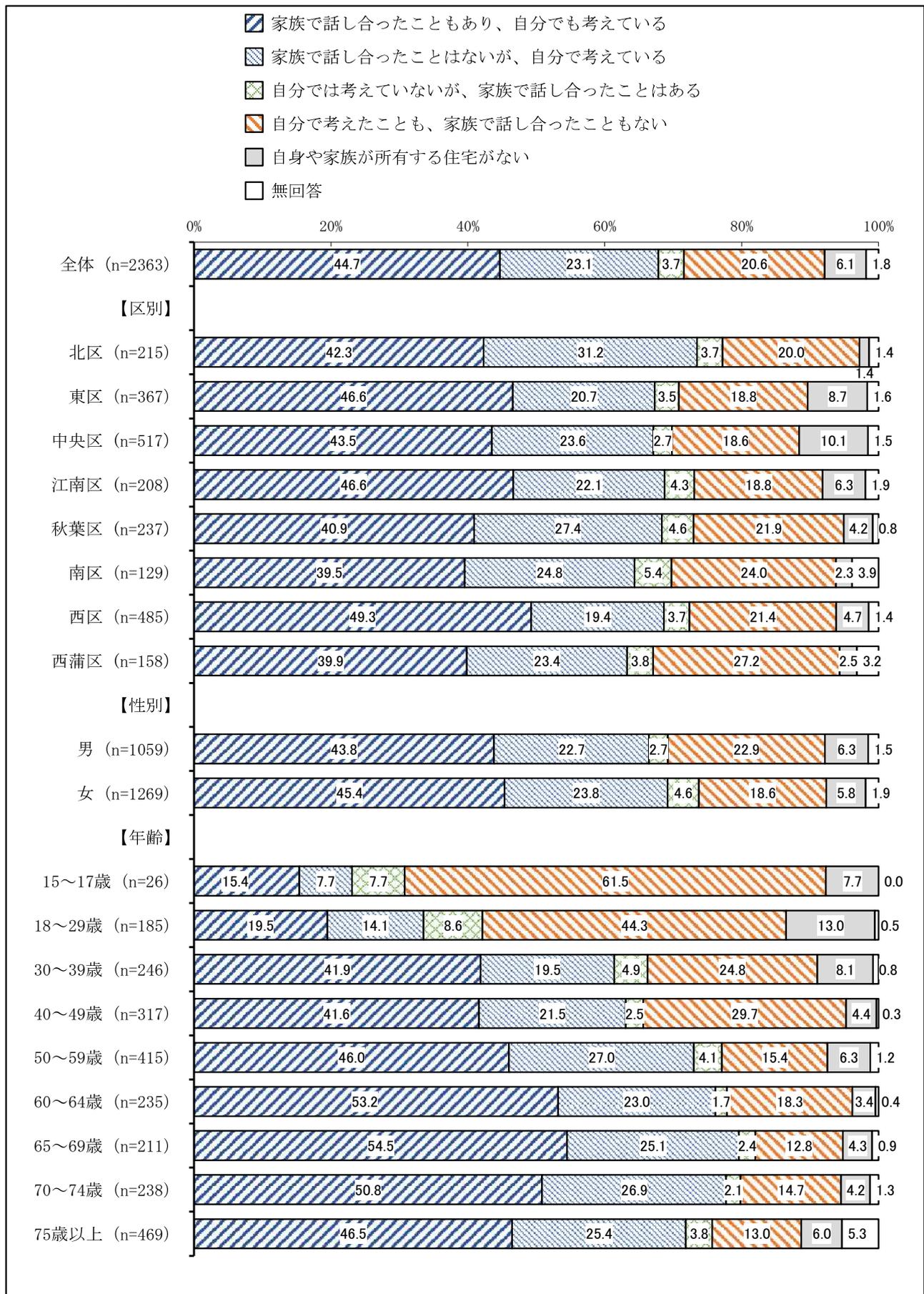
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

#### ③ 年齢別

「自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない」の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなる傾向がみられた。

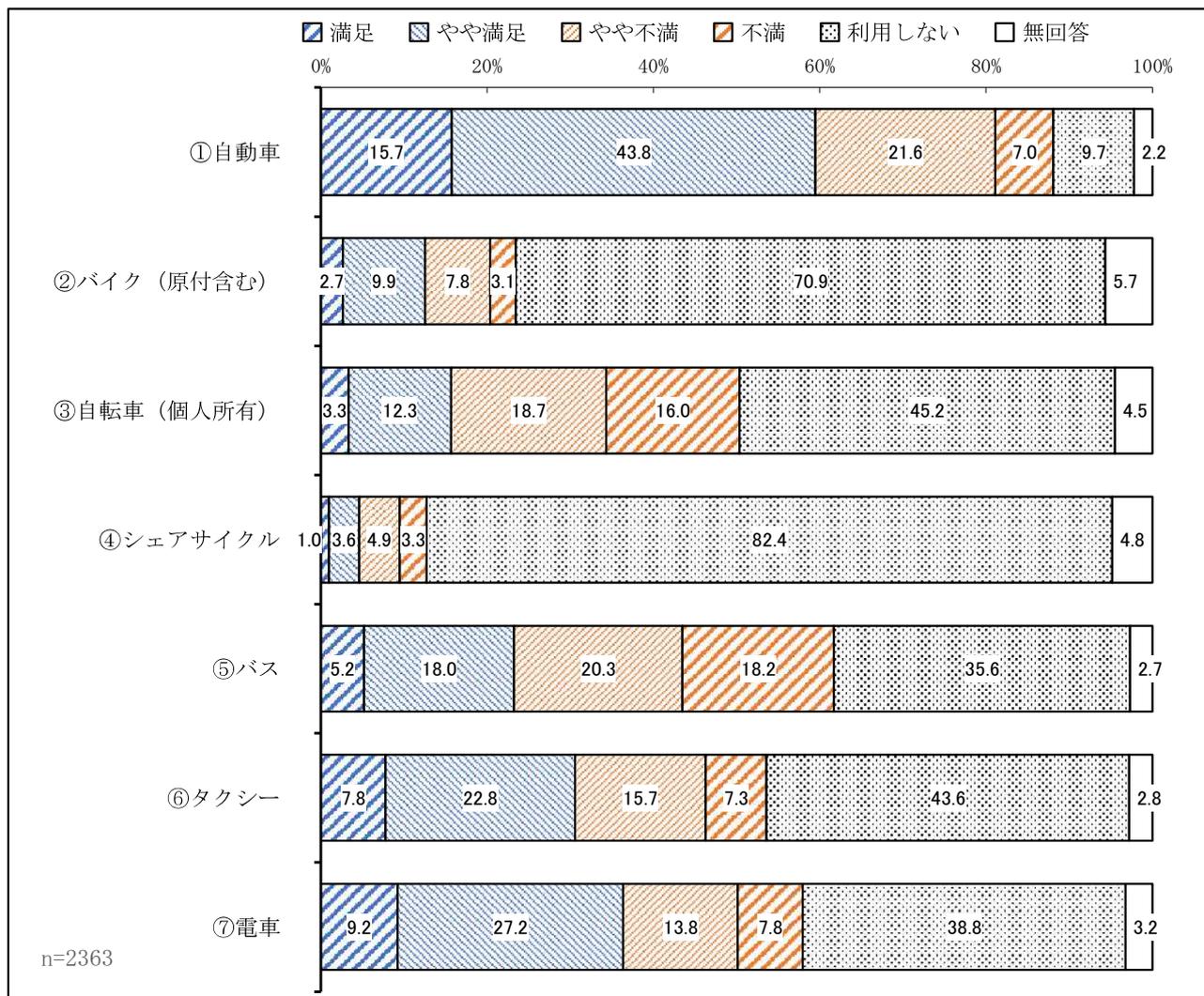
図 1-5 空き家にしないための話し合い（地区別/性別/年齢別）



## 2. 交通施策に関する取り組みについて

### (1) 交通手段の満足度

問6 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を、次の①～⑦についてそれぞれ教えてください。(①～⑦について、それぞれ〇は1つずつ)

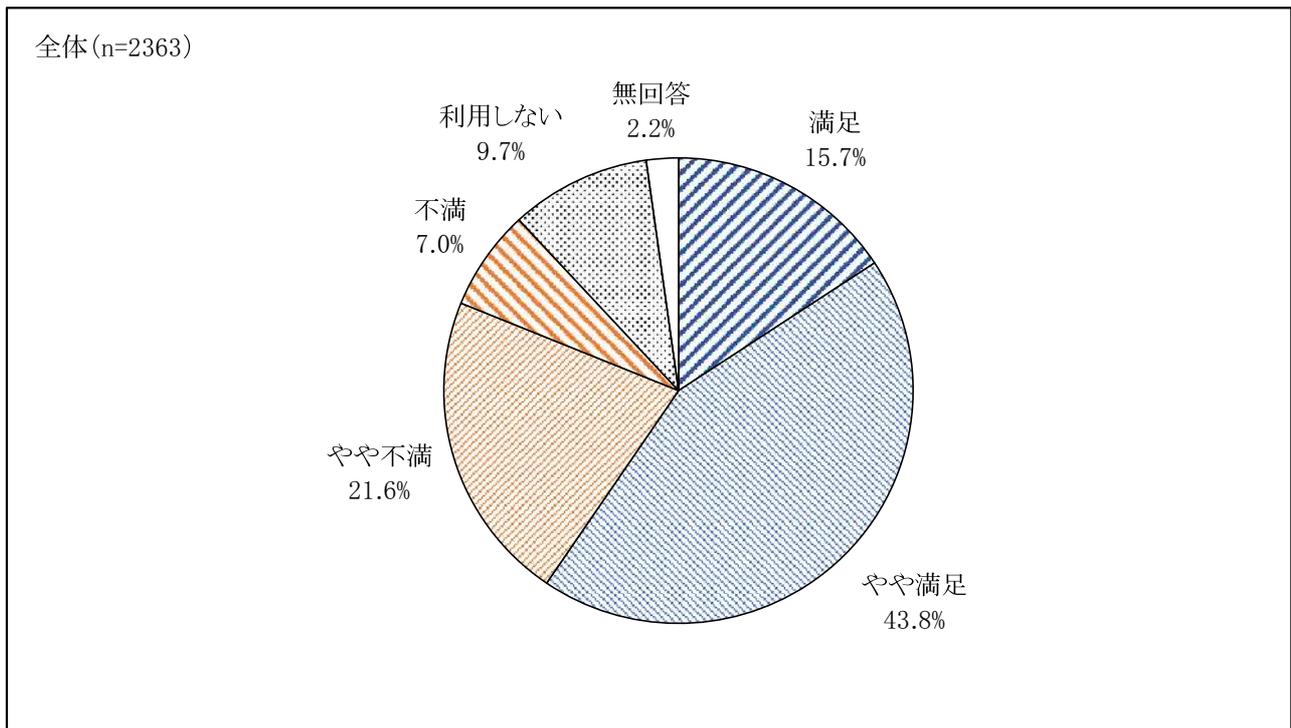


### — 『満足』は自動車で最も高く約6割 —

「満足」と「やや満足」を足した『満足』の割合は、自動車(59.5%)で最も高く約6割となった。次いで、電車(36.4%)、タクシー(30.6%)、バス(23.2%)となった。

「利用しない」は、シェアサイクル(82.4%)で割合が最も高く8割を超えた。

### ① 自動車（走りやすい道路かなど）



#### 【全体結果】

自動車（走りやすい道路かなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が59.5%で、約6割となった。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が28.6%、「利用しない」が9.7%となった。

#### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-1 参照）

##### ① 地区別

『満足』の割合は、南区（67.4%）、北区（63.3%）、秋葉区と西蒲区（いずれも67.1%）で6割を超えた。最も低いのは東区（52.9%）で、5割強となった。

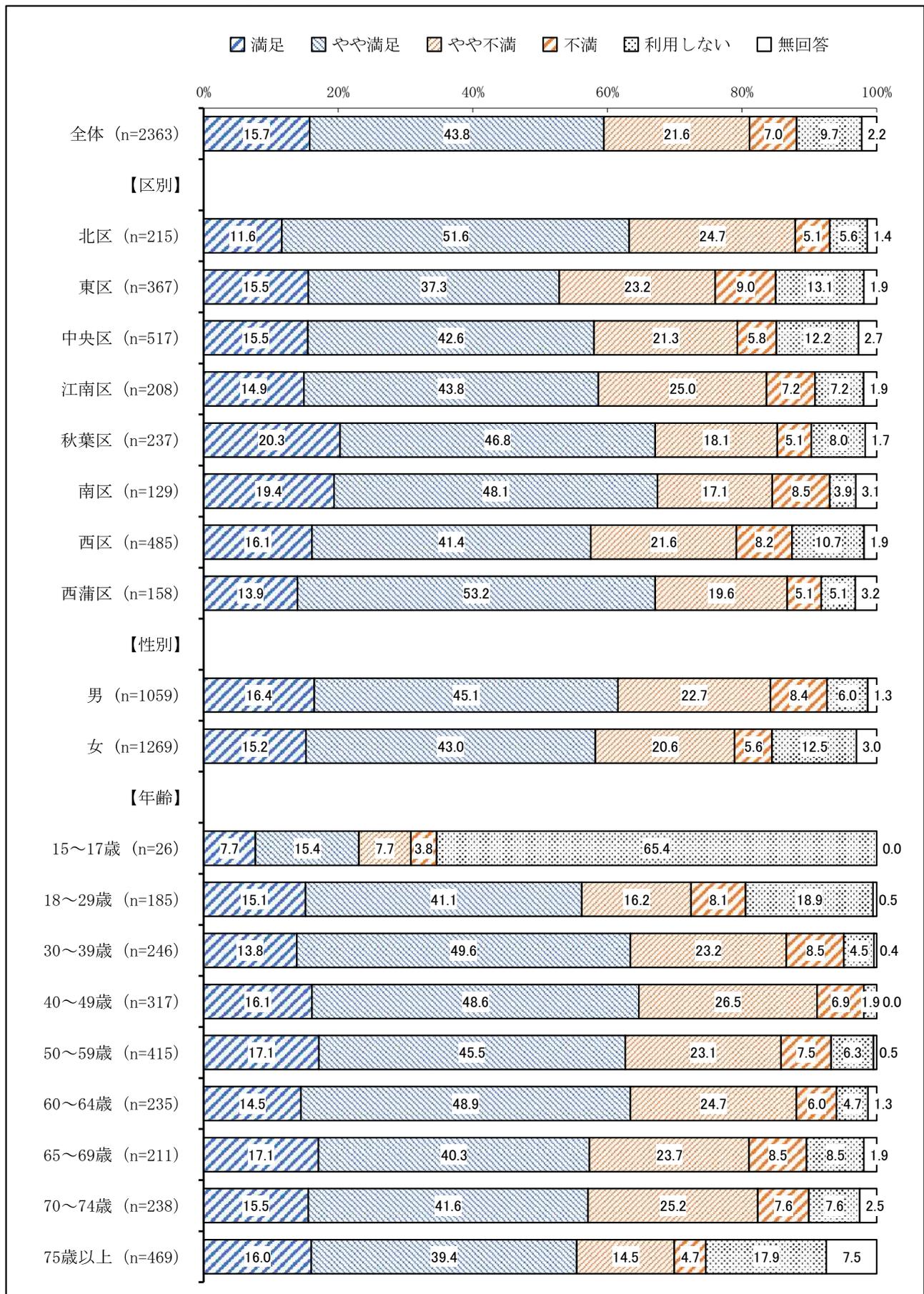
##### ② 性別

『満足』の割合は、女性（58.2%）と比較して男性（61.6%）で高かった。

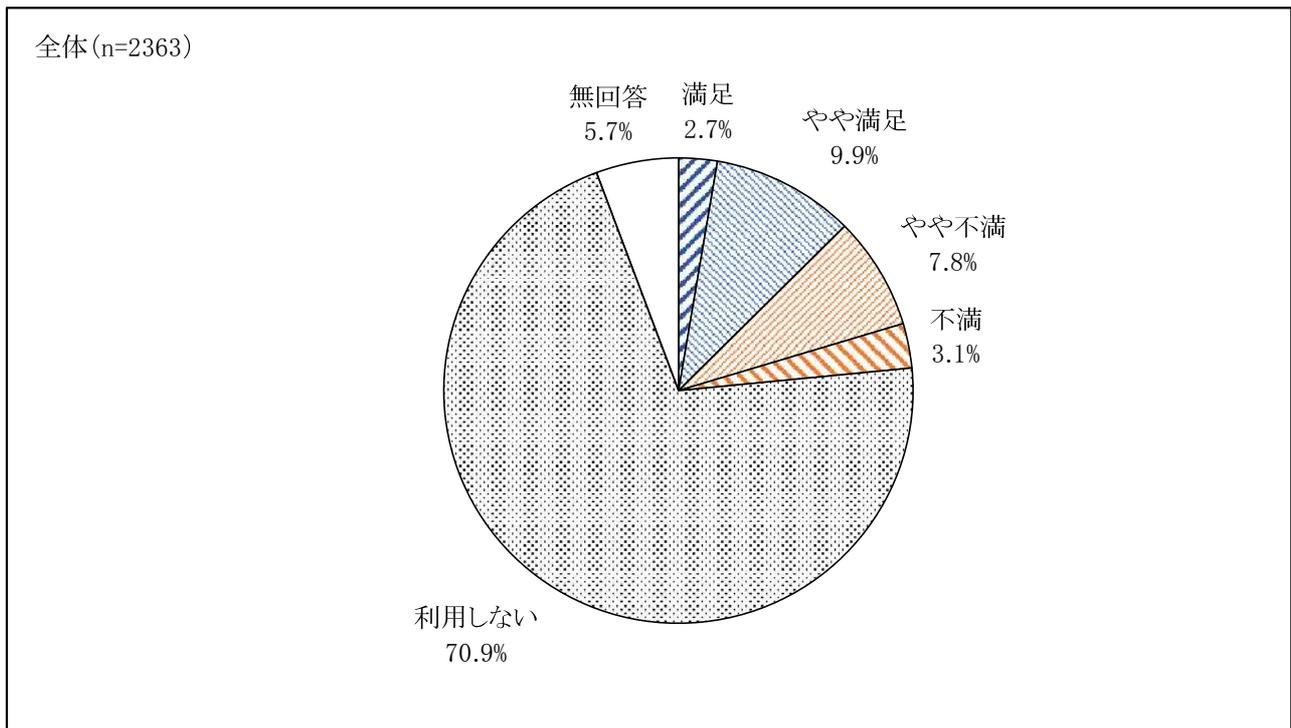
##### ③ 年齢別

『満足』と答えた割合は、30～64歳で高く6割を超えた。

図 2-1-1 交通手段の満足度①自動車（走りやすい道路かなど）（地区別/性別/年齢別）



## ② バイク（原付含む）（走りやすい道路かなど）



### 【全体結果】

バイク（原付含む）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が 12.5%で、1割強となった。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が 10.9%、「利用しない」が 70.9%となった。

### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-2 参照）

#### ① 地区別

『満足』の割合は、秋葉区（19.4%）で最も高く約2割となった。

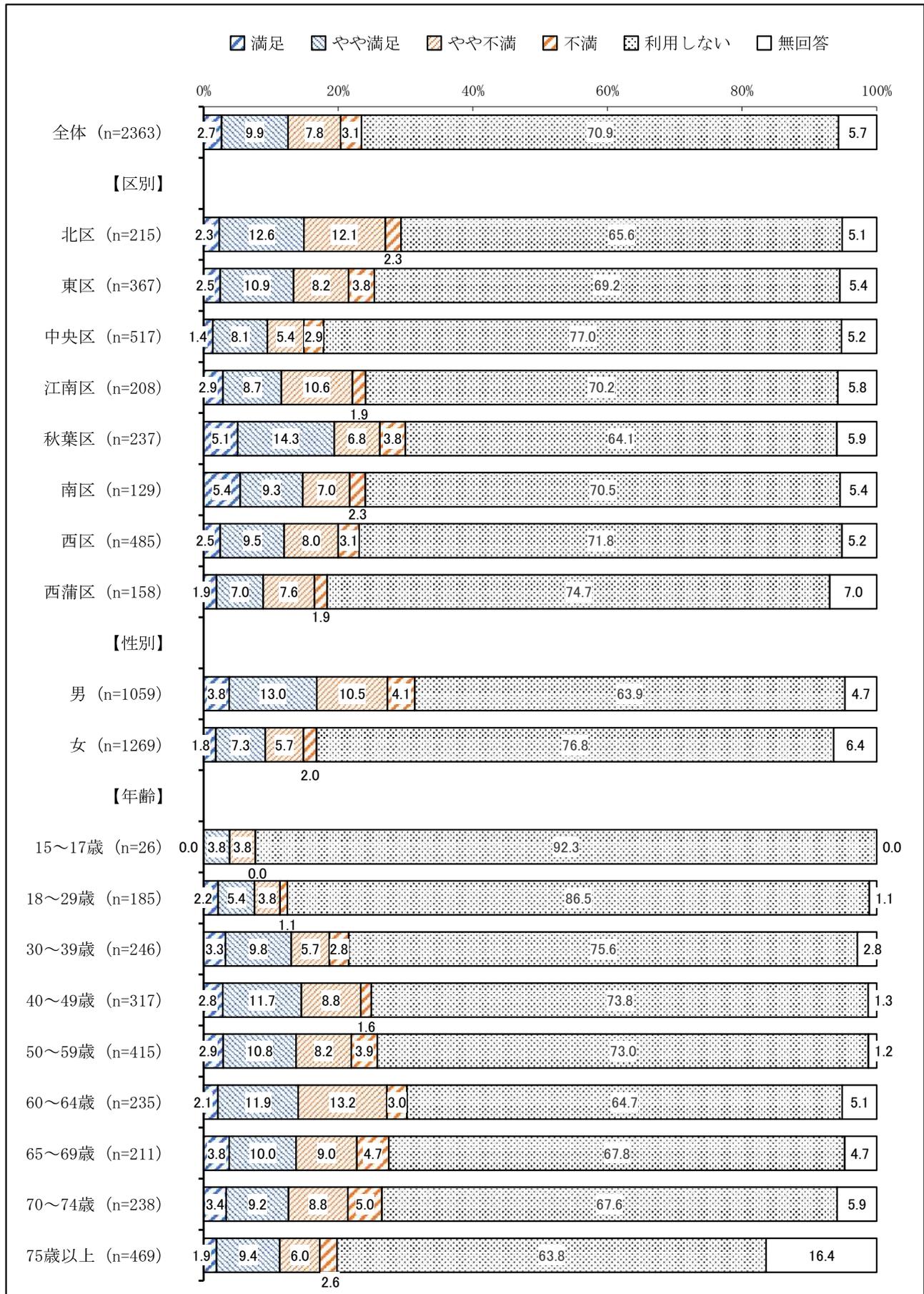
#### ② 性別

『満足』の割合は、女性（9.1%）と比較して男性（16.8%）で高かった。逆に「利用しない」の割合は、男性（63.9%）と比較して女性（76.8%）で高かった。

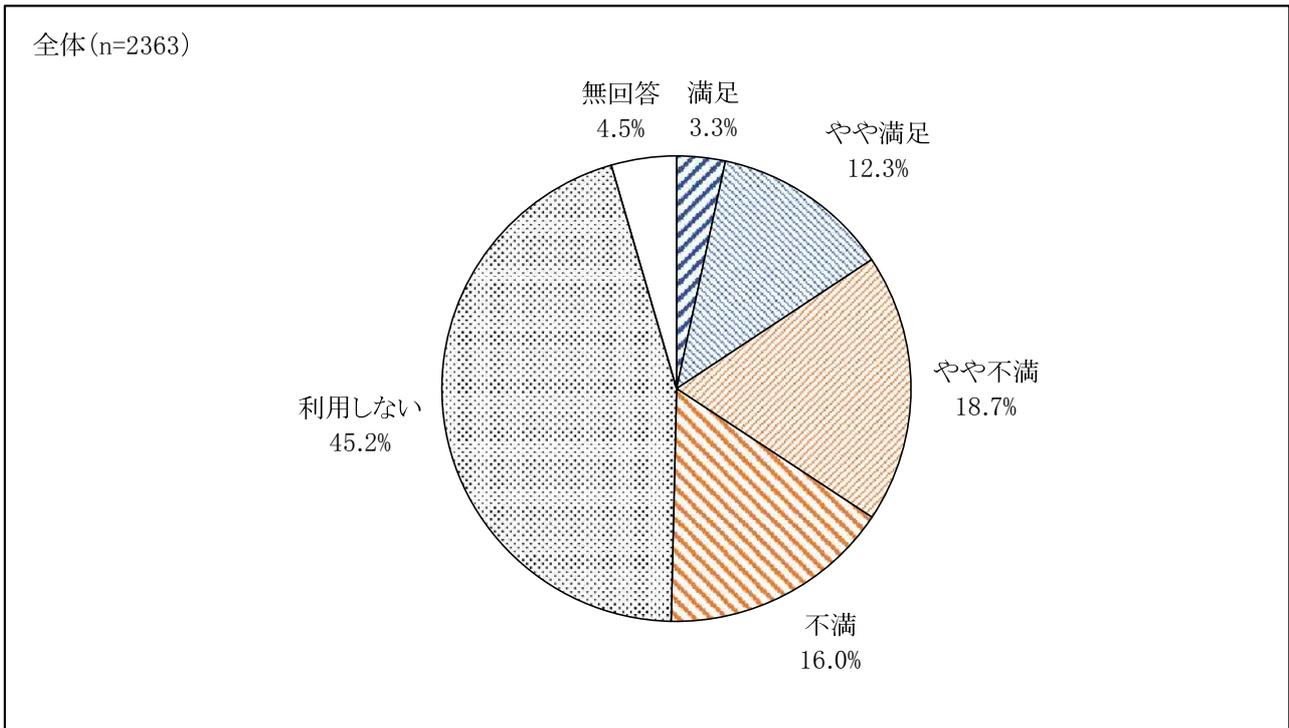
#### ③ 年齢別

『満足』と答えた割合は、40～49歳（14.5%）で最も高かった。

図 2-1-2 交通手段の満足度②バイク（原付含む）（走りやすい道路かなど）（地区別/性別/年齢別）



### ③ 自転車（個人所有）（自転車で走りやすい道路かなど）



#### 【全体結果】

自転車（個人所有）（自転車で走りやすい道路かなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が15.7%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が34.7%と『不満』が『満足』を大きく上回った。「利用しない」が45.2%となった。

#### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-3 参照）

##### ① 地区別

『満足』の割合は、秋葉区（20.7%）で最も高く唯一2割を超えた。『不満』の割合は、東区（39.8%）、中央区（38.9%）、江南区（38.5%）で高く約4割となった。

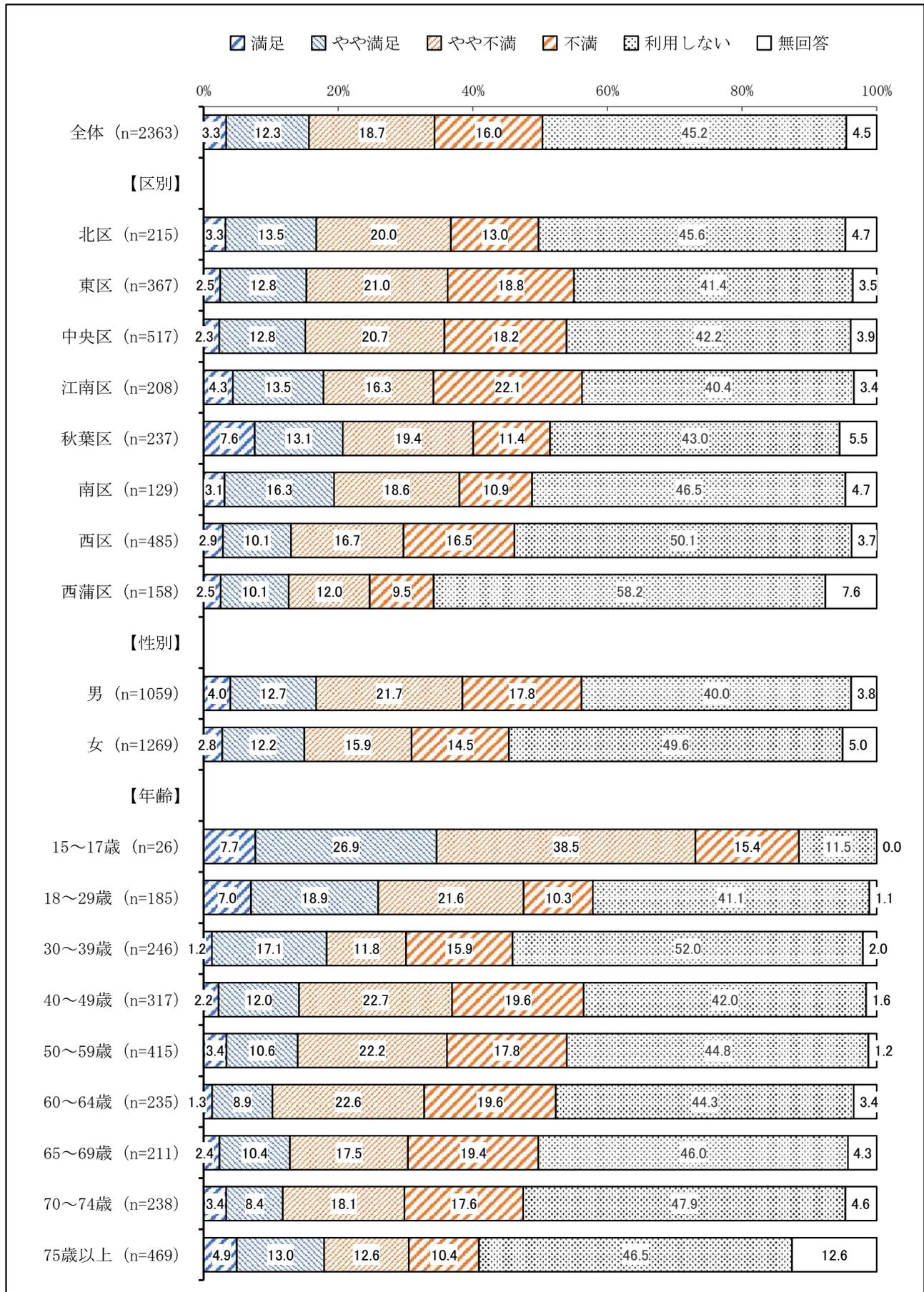
##### ② 性別

『不満』の割合は、女性（30.4%）と比較して男性（39.5%）で高かった。

##### ③ 年齢別

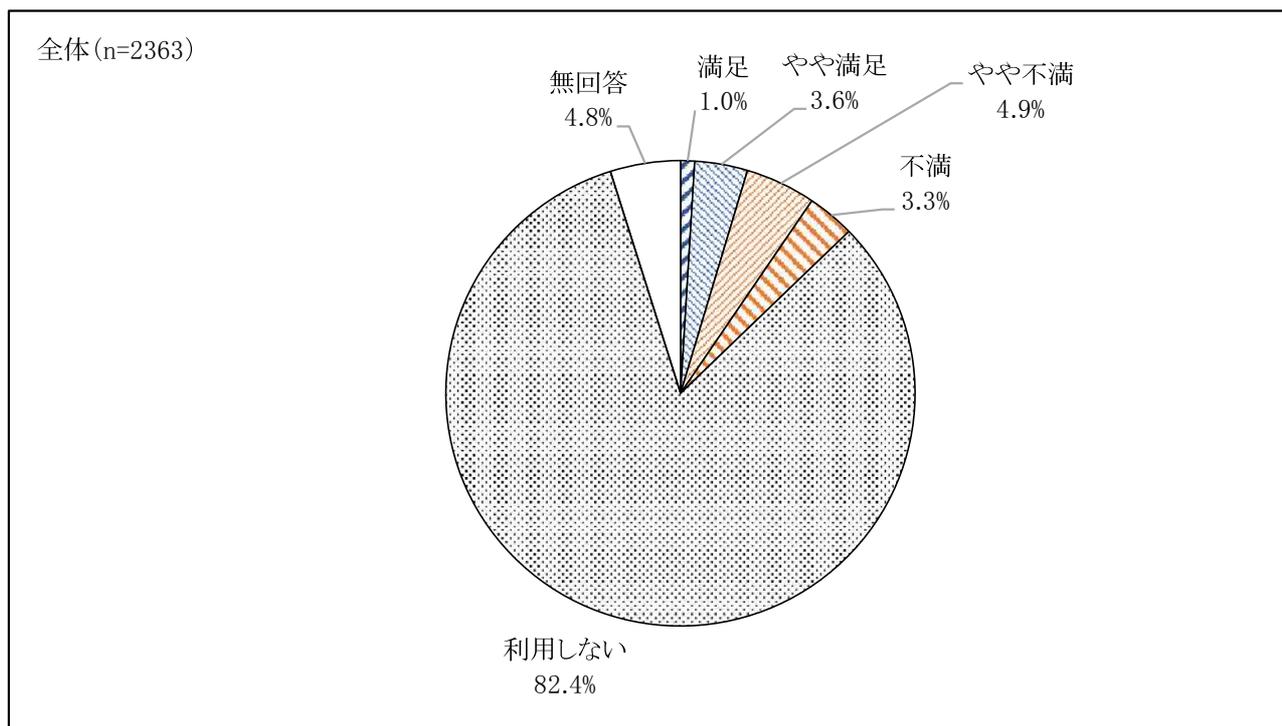
『不満』の割合は、15～17歳（53.8%）で最も高く5割を超えた。40～64歳でも割合が高く4割以上となった。

図 2-1-3 交通手段の満足度③自転車（個人所有）（走りやすい道路かなど）（地区別/性別/年齢別）



#### ④ シェアサイクル（利用しやすいかなど）

※「ポート」と呼ばれる複数の駐輪拠点において、自転車をレンタルし、好きなポートに返却可能なシェアリングサービス



#### 【全体結果】

シェアサイクル（利用しやすいかなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が4.6%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が8.1%で、『不満』が『満足』を上回った。「利用しない」が82.4%となった。

#### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-4 参照）

##### ① 地区別

いずれの区でも『満足』の割合は1割未満となっている。

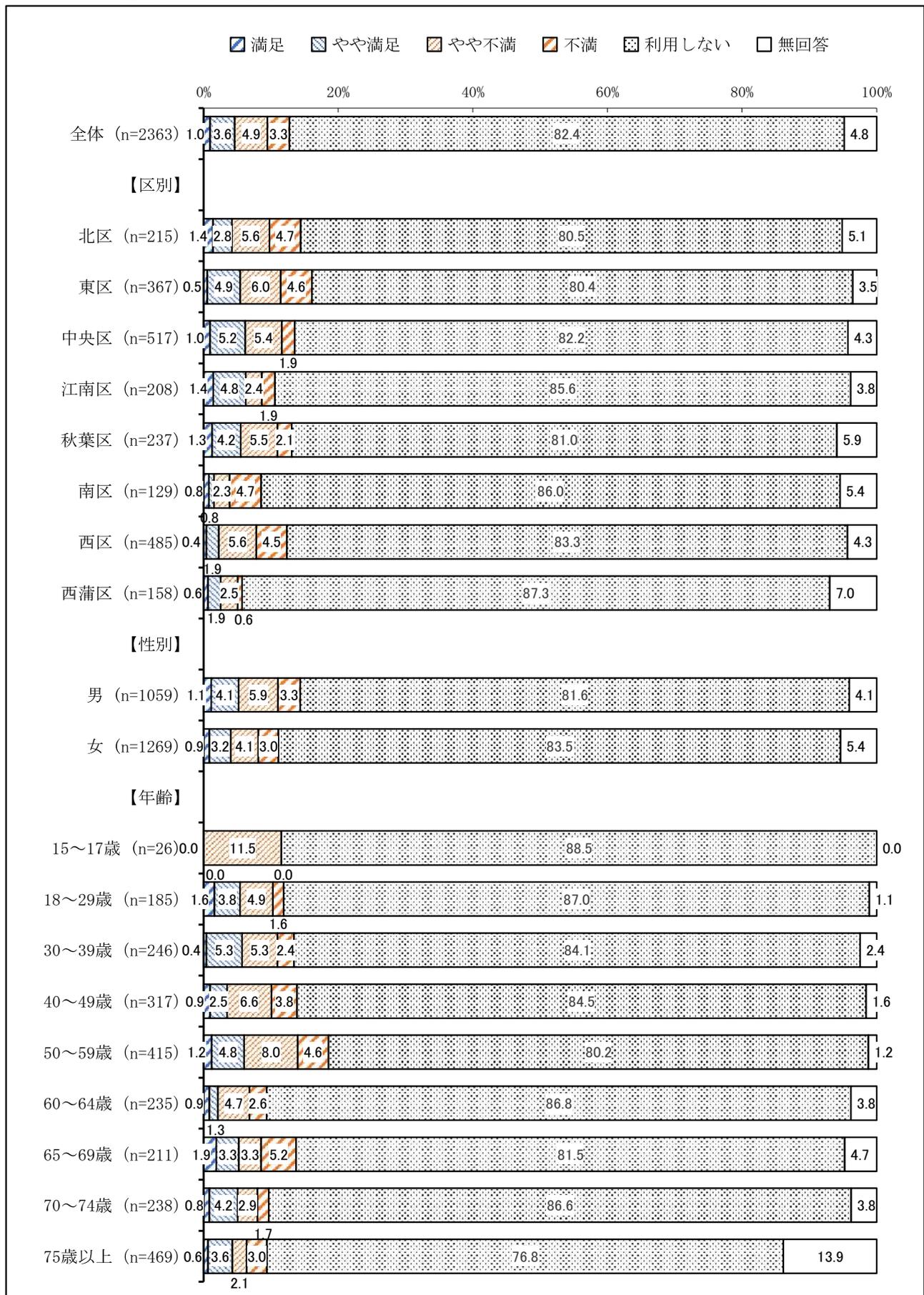
##### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

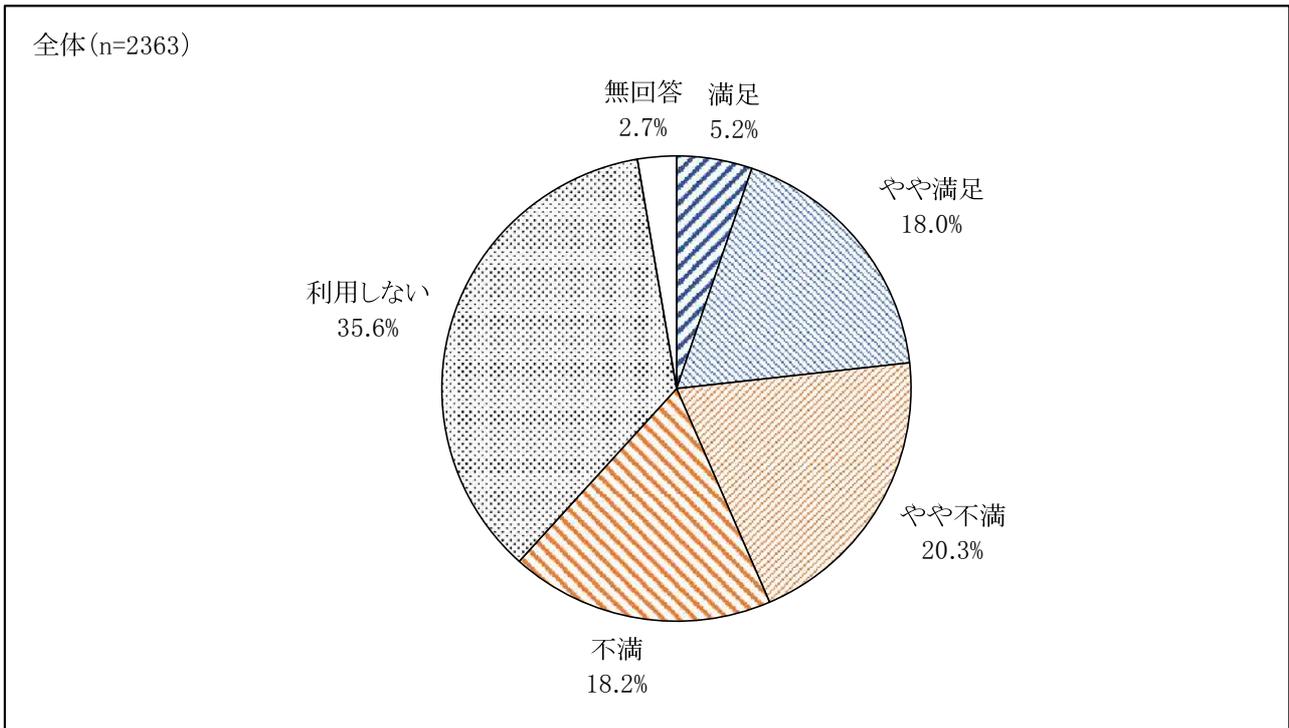
##### ③ 年齢別

いずれの年齢でも『満足』の割合は1割未満となっている。

図 2-1-4 交通手段の満足度④シェアサイクル（利用しやすいかなど）（地区別/性別/年齢別）



## ⑤ バス（利用しやすいかなど）



### 【全体結果】

バス（利用しやすいかなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が23.2%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が38.5%で、『不満』が『満足』を大きく上回った。「利用しない」が35.6%となった。

### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-5 参照）

#### ① 地区別

『満足』の割合は、中央区（30.8%）、東区（29.2%）、西区（28.0%）で3割前後となった。最も低いのは南区（5.4%）で差が大きい。いずれの区でも、『不満』が『満足』を上回った。

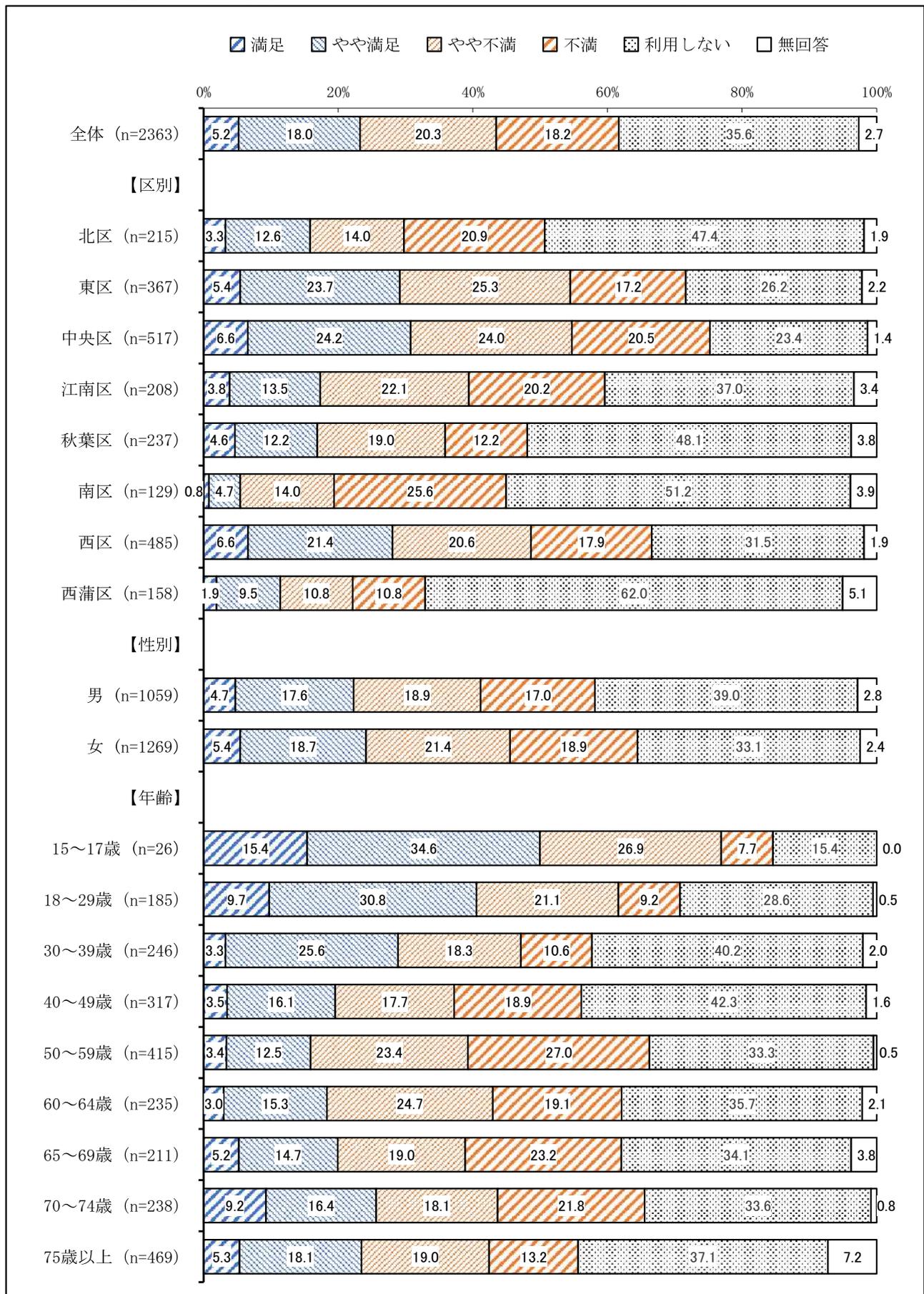
#### ② 性別

『不満』の割合は、男性（35.9%）と比較して女性（40.3%）で高かった。

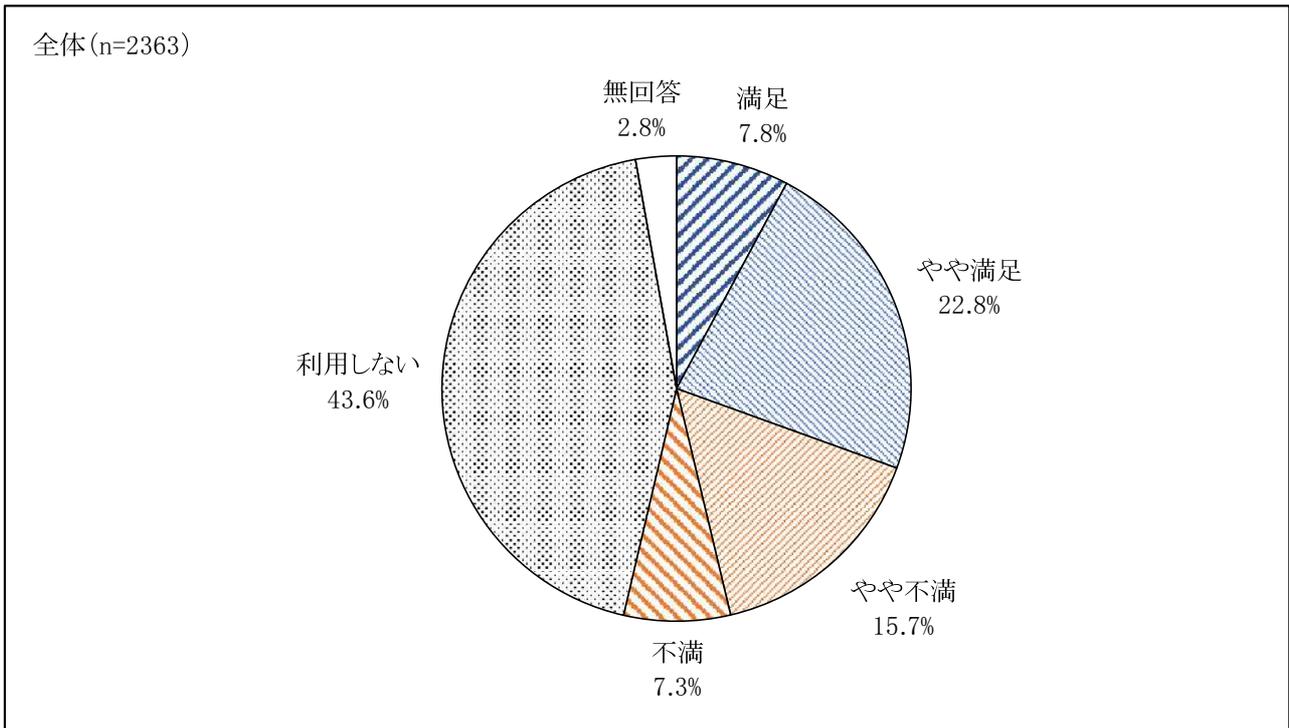
#### ③ 年齢別

『満足』と答えた割合は、15～17歳（50.0%）、18～29歳（40.5%）で高く29歳以下では、『満足』が『不満』を上回った。30～39歳では『満足』と『不満』が同率（28.9%）で、40歳以上では『不満』が『満足』を上回った。

図 2-1-5 交通手段の満足度⑤ バス（利用しやすいかなど）（地区別/性別/年齢別）



## ⑥ タクシー（利用しやすいかなど）



### 【全体結果】

タクシー（利用しやすいかなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が30.6%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が23.1%で、『満足』が『不満』を上回った。「利用しない」が43.6%となった。

### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-6 参照）

#### ① 地区別

『満足』の割合は、東区（41.1%）、中央区（38.3%）で4割前後となった。最も低いのは南区（10.9%）で差が大きい。

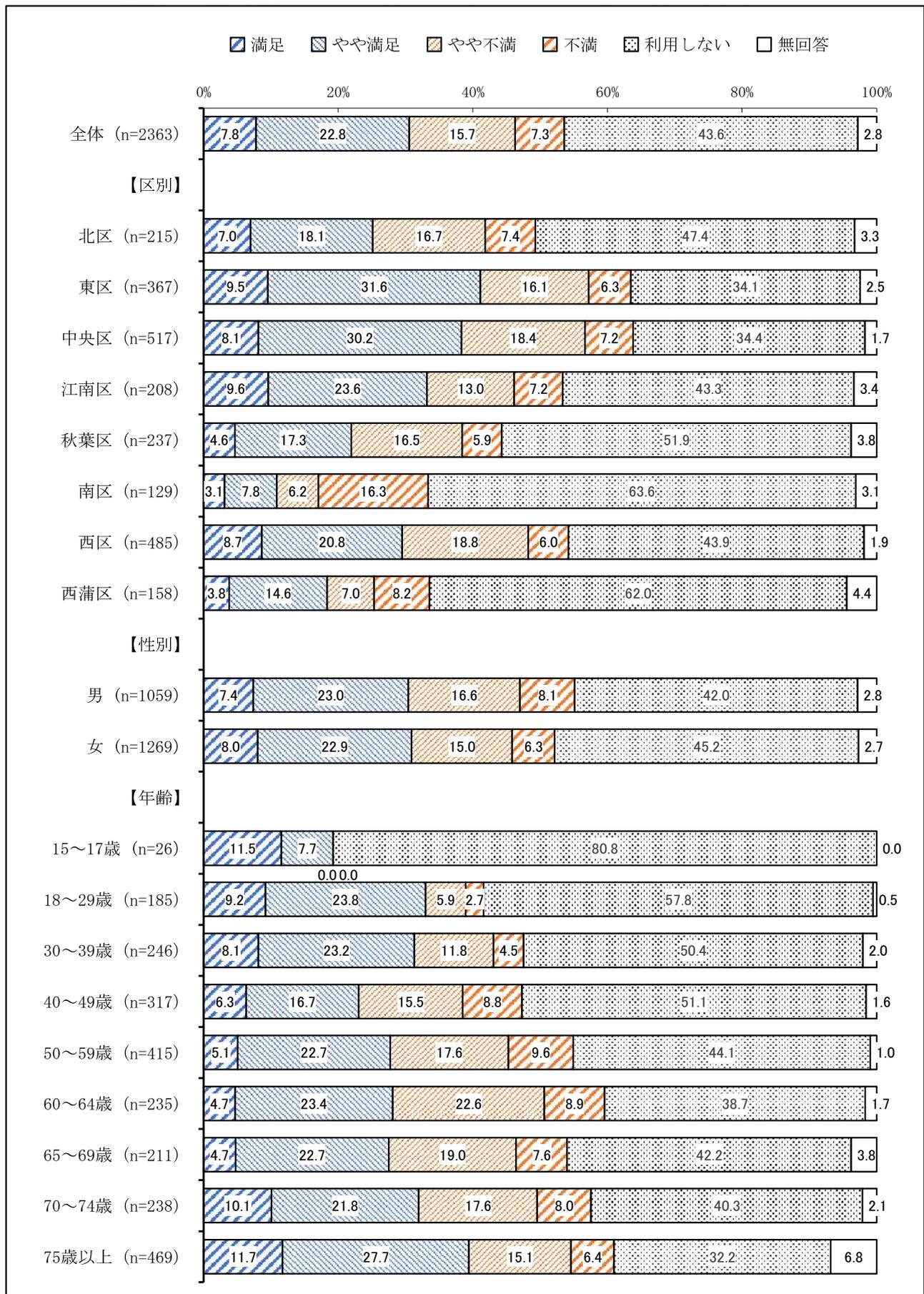
#### ② 性別

『不満』の割合は、女性（21.3%）と比較して男性（24.7%）で高かった。

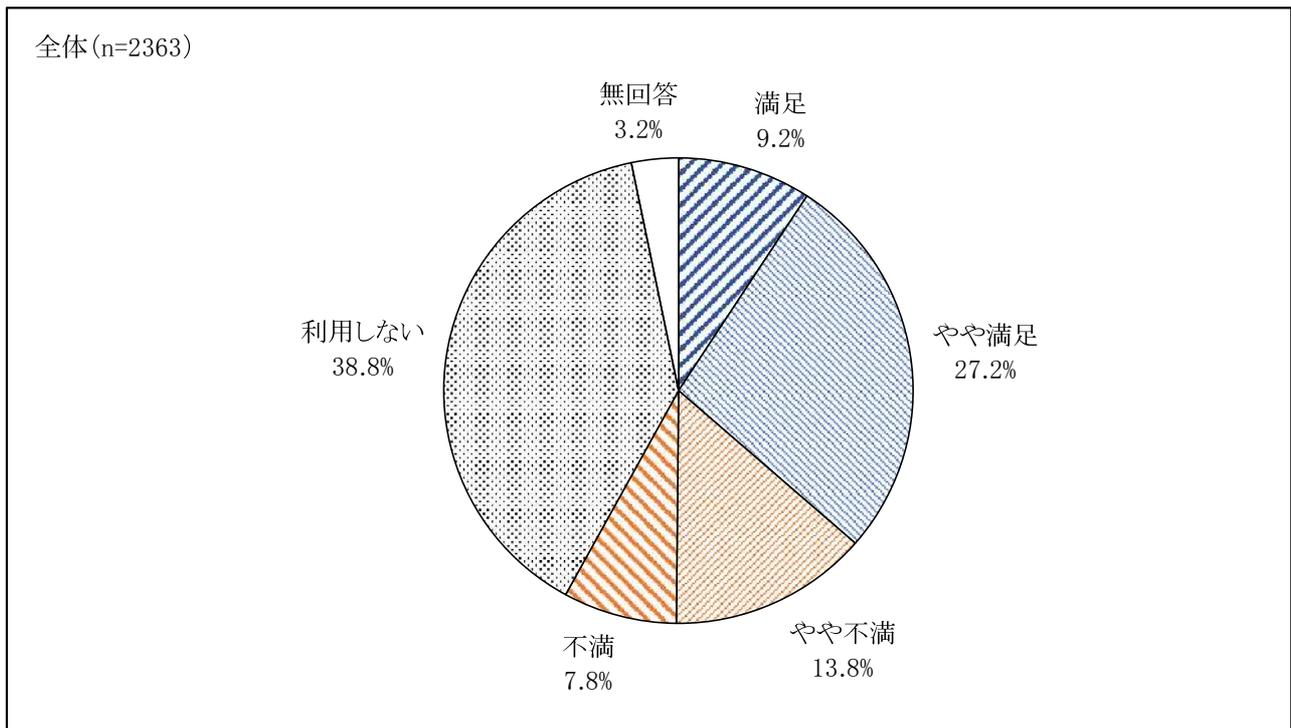
#### ③ 年齢別

『満足』と答えた割合は、75歳以上（39.4%）で最も高く約4割となった。40～49歳と60～64歳で『不満』が『満足』を上回った。

図 2-1-6 交通手段の満足度⑥タクシー（利用しやすいかなど）（地区別/性別/年齢別）



## ⑦ 電車（利用しやすいかなど）



### 【全体結果】

電車（利用しやすいかなど）の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が36.4%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が21.6%で、『満足』が『不満』を上回った。「利用しない」が38.8%となった。

### 【属性別結果】（次ページ図 2-1-7 参照）

#### ① 地区別

『満足』の割合は、秋葉区（52.3%）で最も高く唯一5割を超えた。最も低いのは南区（3.9%）で差が大きい。

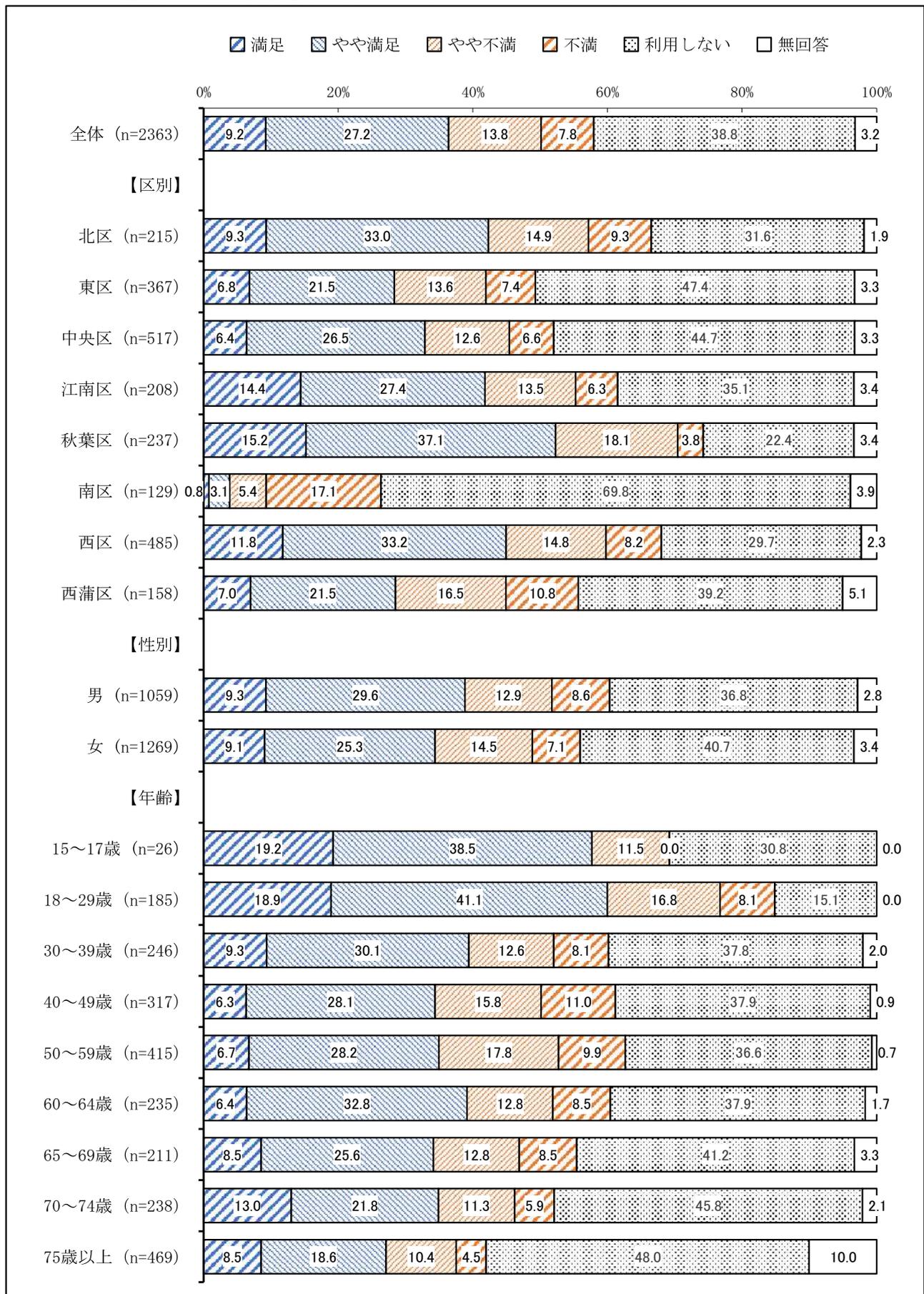
#### ② 性別

『満足』の割合は、女性（34.4%）と比較して男性（38.8%）で高かった。

#### ③ 年齢別

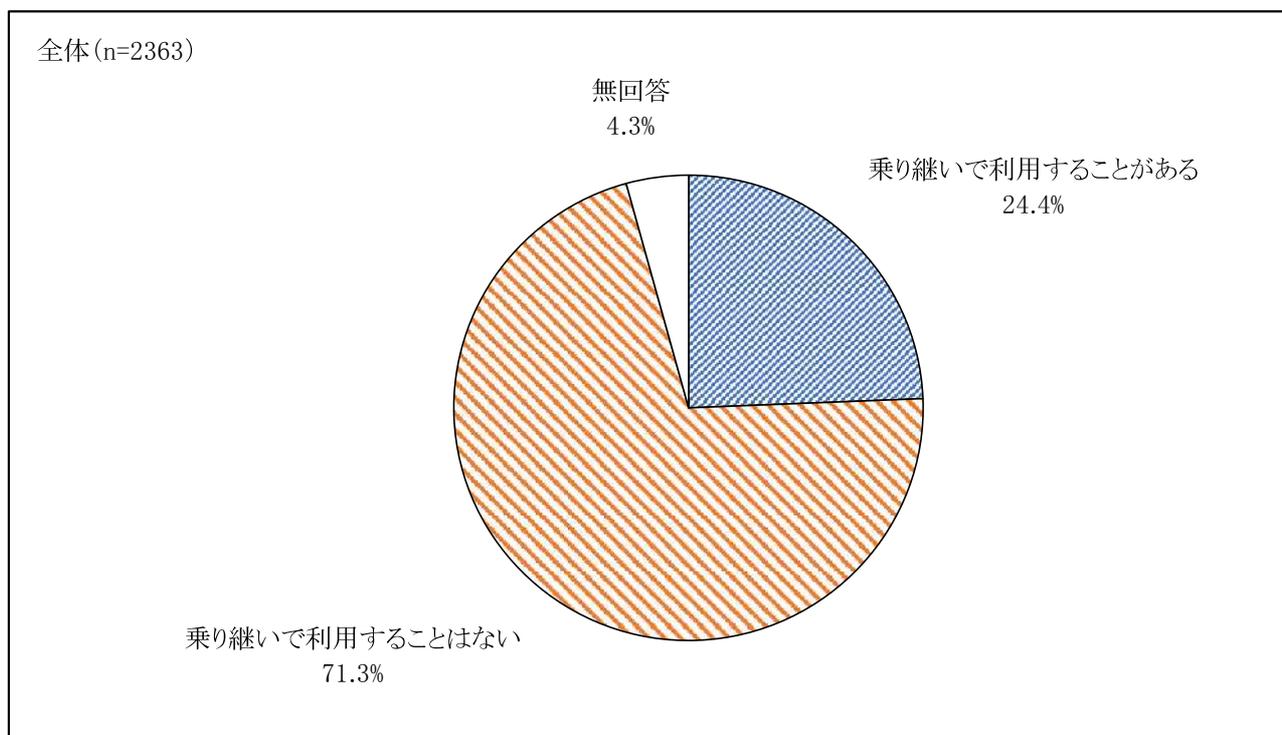
『満足』と答えた割合は、29歳以下で高く6割前後となった。最も低かったのは75歳以上（27.1%）で唯一3割未満となった。

図 2-1-7 交通手段の満足度⑦電車（利用しやすいかなど）（地区別/性別/年齢別）



## (2) 2つ以上の交通手段を乗り継いで市内を移動することの有無

問7 あなたが自宅から目的地まで2つ以上の交通手段を乗り継いで市内を移動することはありますか。(○は1つだけ)



— 「乗り継いで利用することがある」は約4人に1人 —

### 【全体結果】

2つ以上の交通手段を「乗り継いで利用することがある」の割合は24.4%で約4人に1人の割合となった。「乗り継いで利用することはない」(71.3%)は約7割となった。

### 【属性別結果】(次ページ図2-2参照)

#### ① 地区別

「乗り継いで利用することがある」の割合は、秋葉区(32.1%)、江南区(31.3%)の順で高く3割を超えた。逆に、南区(15.5%)で最も低く2割に満たなかった。

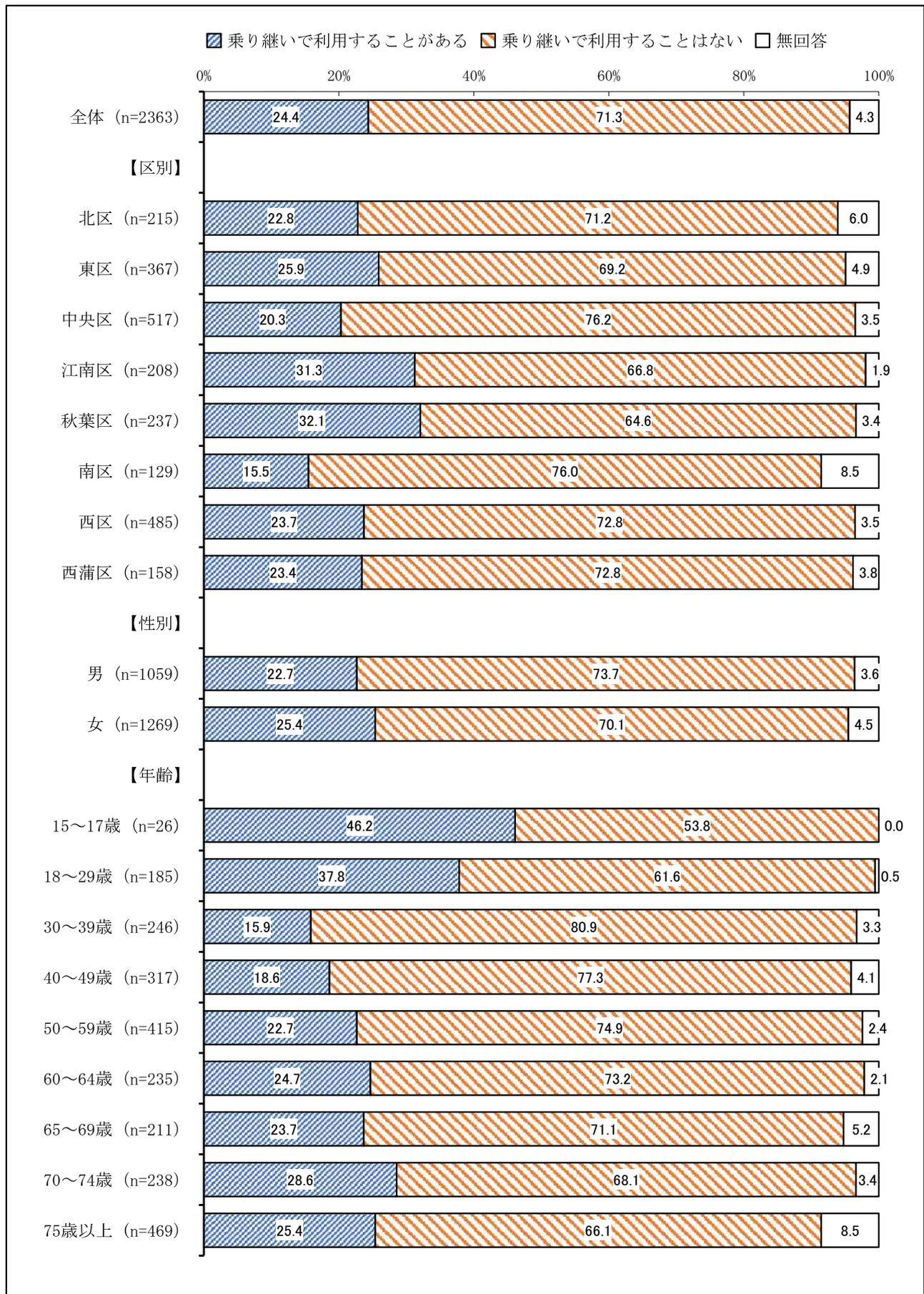
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

#### ③ 年齢別

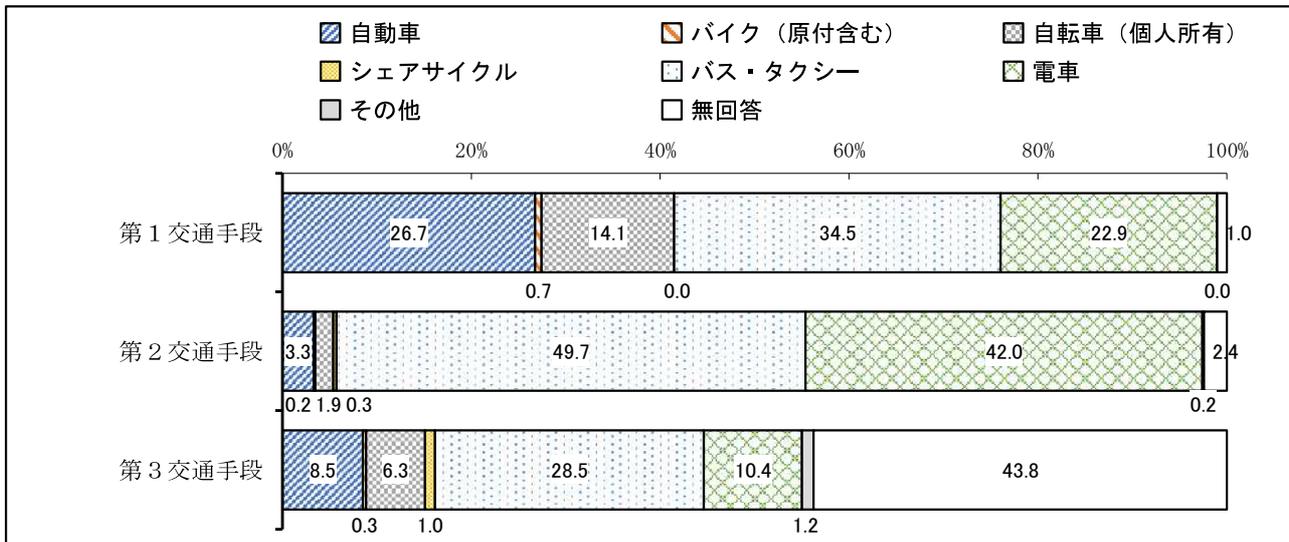
「乗り継いで利用することがある」の割合は、15~17歳(46.2%)で最も高く、次いで18~29歳(37.8%)の若い世代で高かった

図 2-2 2つ以上の交通手段を乗り継いで市内を移動することの有無（地区別/性別/年齢別）



### (3) 利用する乗り継ぎ手段

問8 問7で「1 乗り継いで利用することがある」とお答えになった方にお聞きします。  
乗り継いで市内を移動する際に、あなたが最も利用する乗り継ぎ手段を3つまで教えてください。  
(○はそれぞれ1つずつ)



— 第1、第2、第3手段とも「バス・タクシー」がトップ —

#### 【全体結果】

第1交通手段の割合は、「バス・タクシー」(34.5%)、「自動車」(26.7%)、「電車」(22.9%)の順に高く、第2交通手段の割合は、「バス・タクシー」(49.7%)、「電車」(42.0%)の2つの交通手段が高かった。第3交通手段の割合は、第2交通手段までしか利用していないと思われる「無回答」(43.8%)の割合が最も高く4割以上となった。他では「バス・タクシー」(28.5%)、「電車」(10.4%)、「自動車」(8.5%)の順に高かった。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-3参照)

##### ① 地区別

区別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

##### ② 性別

第1交通手段では、「バス・タクシー」の割合は、男性(32.9%)と比較して女性(36.0%)で高く、「電車」の割合は女性(21.4%)と比較して男性(25.0%)で高かった。

第2交通手段では、性別による大きな差はみられなかった。

第3交通手段では、「無回答」の割合は、男性(37.5%)と比較して女性(47.8%)で高く、「バス・タクシー」(男性:32.5%、女性:26.1%)、「自転車(個人所有)」(男性:8.8%、女性:4.3%)の割合は、女性と比較して男性で高かった。

##### ③ 年齢別

年齢別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

図 2-3 利用する乗り継ぎ手段《第 1 交通手段》（地区別/性別/年齢別）

※数値が 0 の場合グラフ内に数値を表示していない

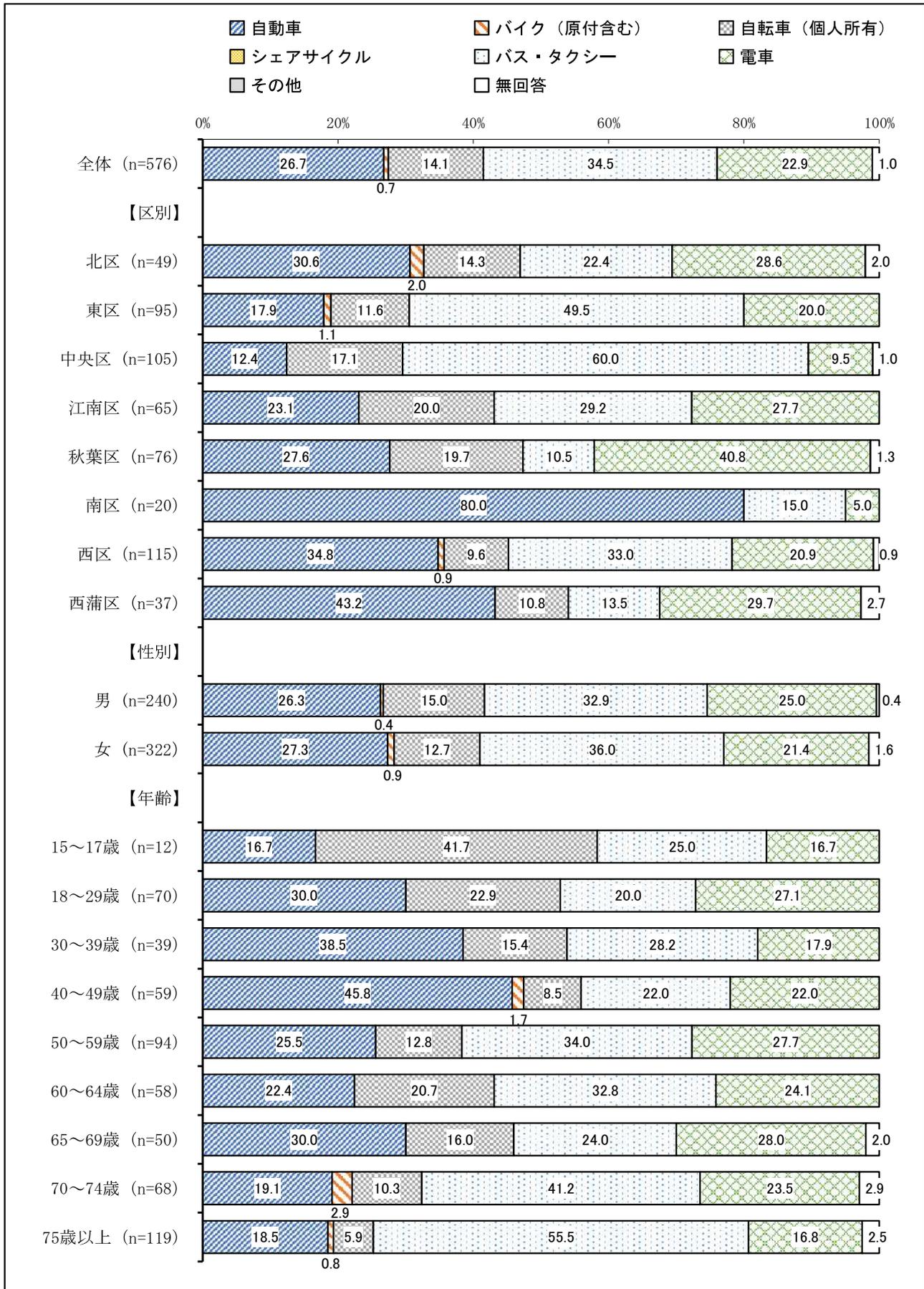


図 2-3 利用する乗り継ぎ手段《第 2 交通手段》（地区別/性別/年齢別）

※数値が 0 の場合グラフ内に数値を表示していない

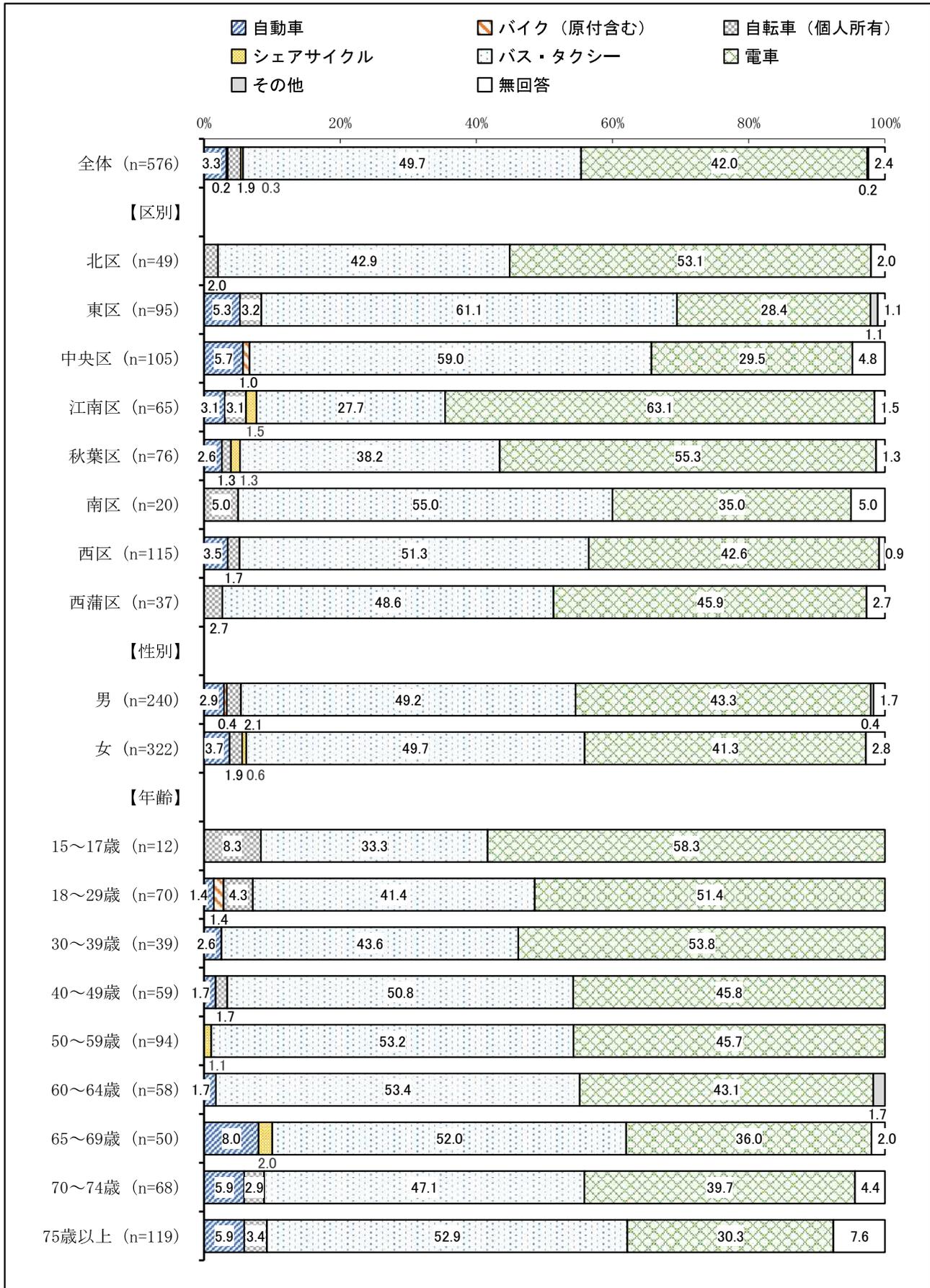
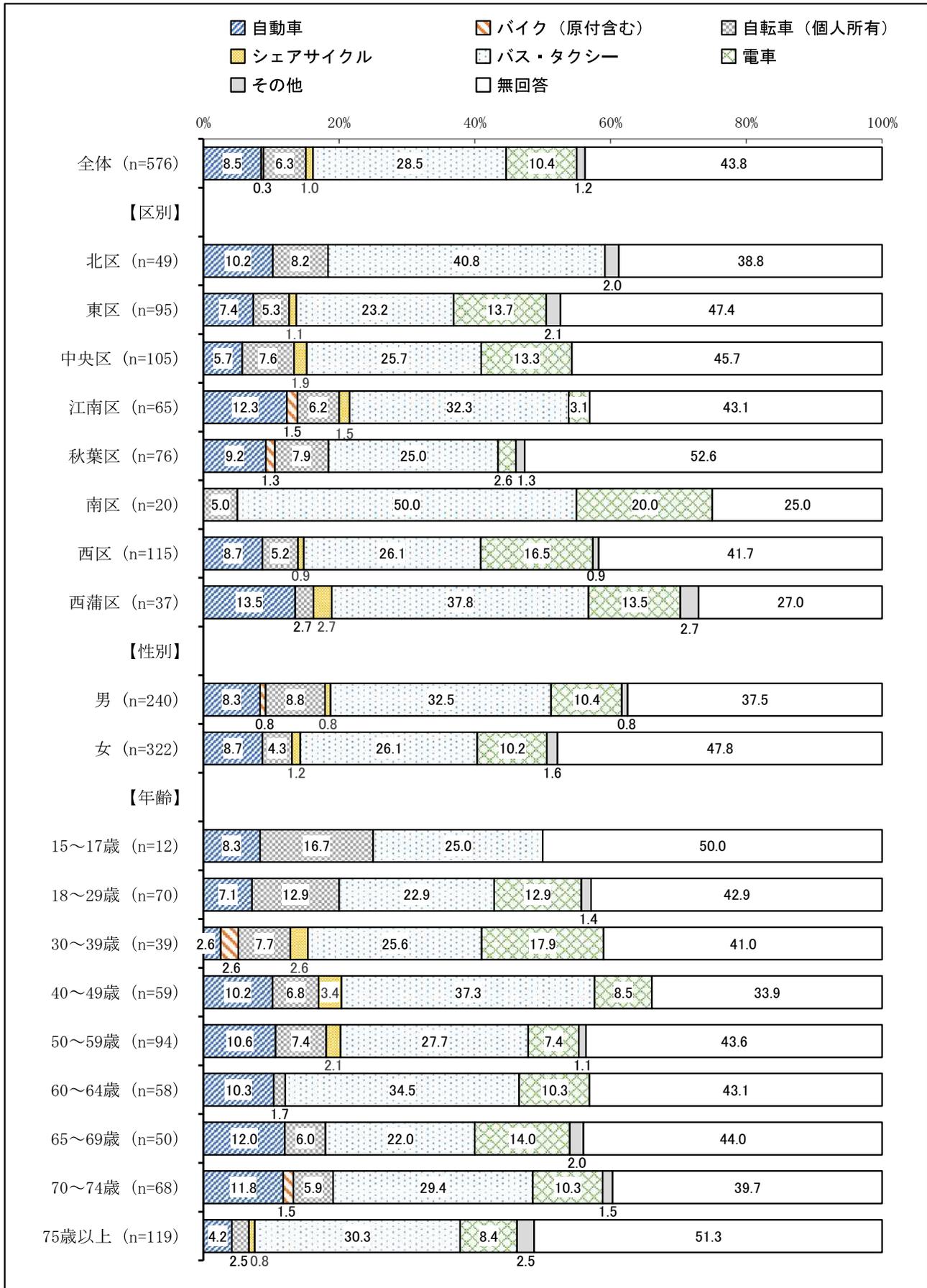


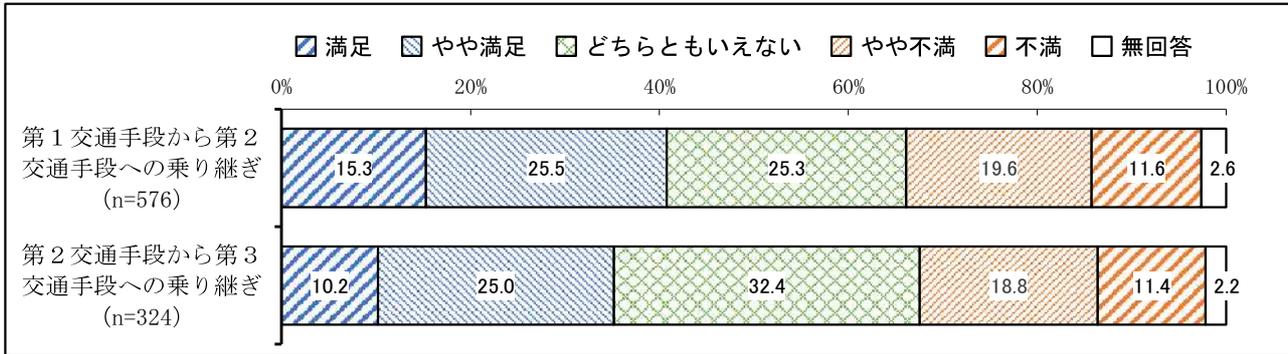
図 2-3 利用する乗り継ぎ手段《第3交通手段》（地区別/性別/年齢別）

※数値が0の場合グラフ内に数値を表示していない



#### (4) 乗り継いで利用する際の満足度

問9 問7で「1 乗り継いで利用することがある」とお答えになった方にお聞きします。  
問8で乗り継いで利用する際の満足度を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 第1から第2交通手段は約4割、第2から第3交通手段は3割半ばが『満足』 —

#### 【全体結果】

第1交通手段から第2交通手段への乗り継ぎの満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が40.8%で、約4割となった。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が31.3%、「どちらともいえない」が25.3%となった。

第2交通手段から第3交通手段への乗り継ぎの満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が35.2%で、3割半ばとなった。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が30.2%、「どちらともいえない」が32.4%となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図2-4参照)

##### ① 地区別

区別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

##### ② 性別

第1交通手段から第2交通手段への乗り継ぎの『不満』の割合は、男性(27.5%)と比較して女性(33.9%)で高かった。

第2交通手段から第3交通手段への乗り継ぎの『満足』の割合は、女性(33.3%)と比較して男性(36.7%)で高かった。

##### ③ 年齢別

年齢別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

図 2-4 乗り継いで利用する際の満足度《第1交通手段から第2交通手段》(地区別/性別/年齢別)

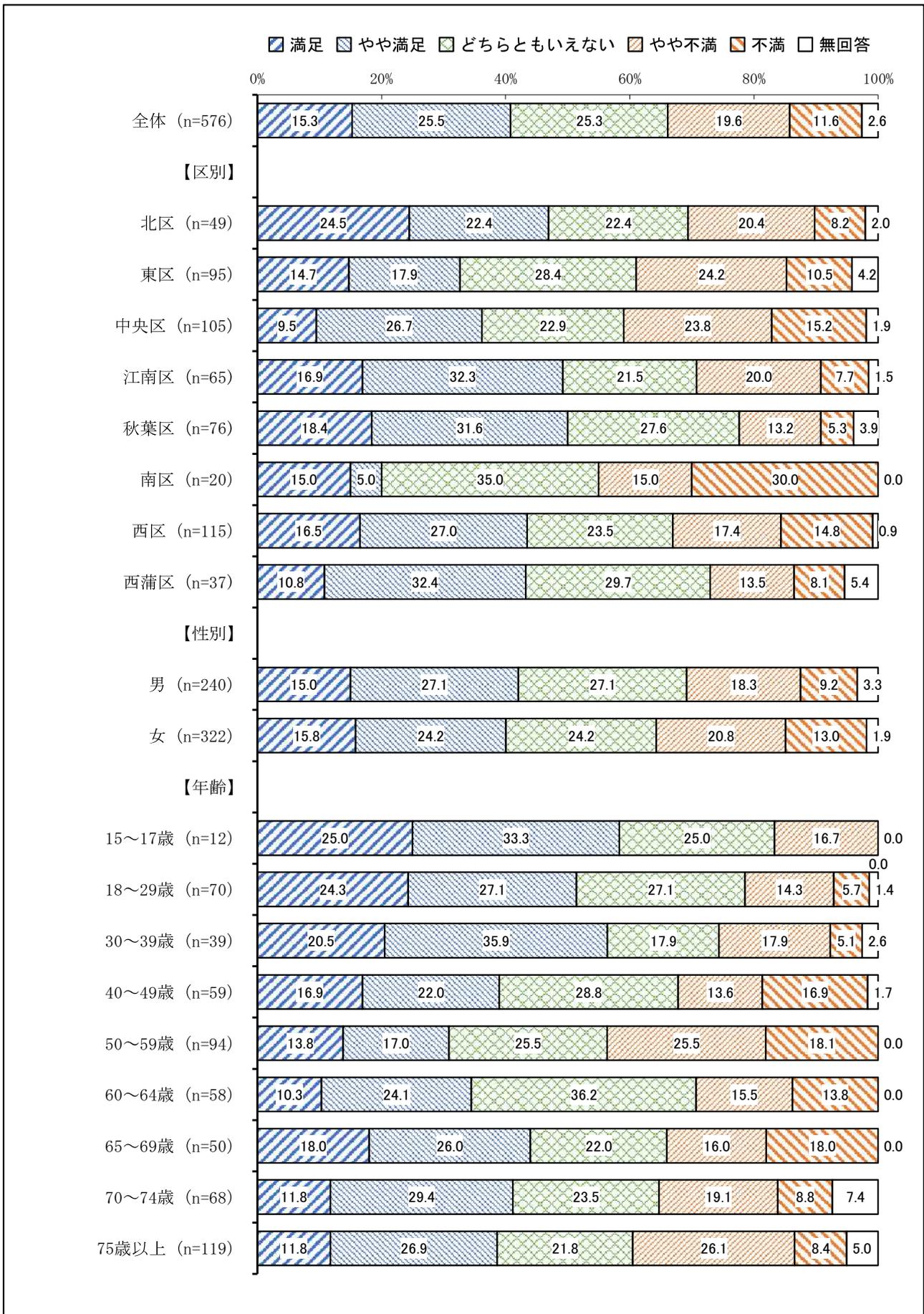
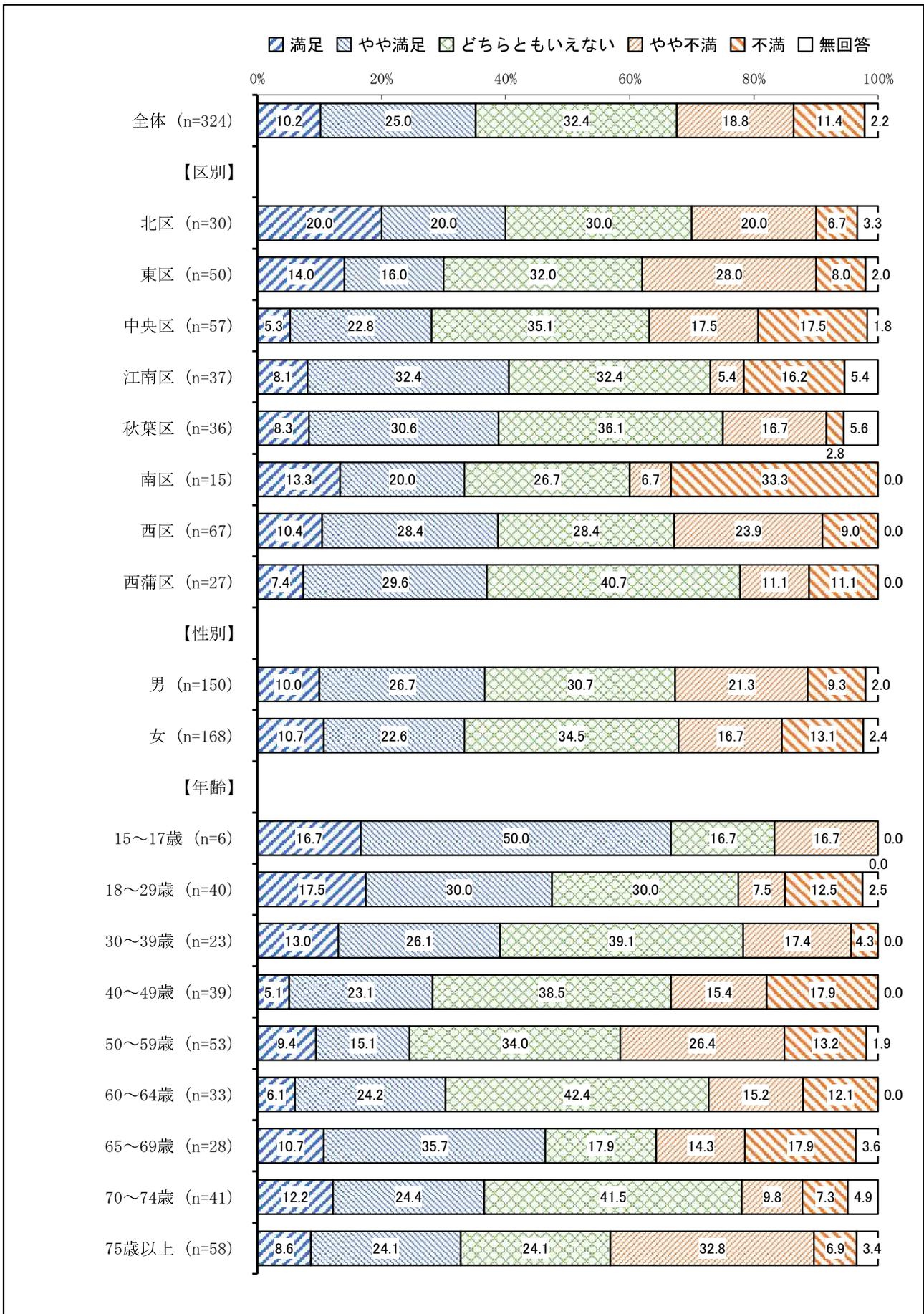


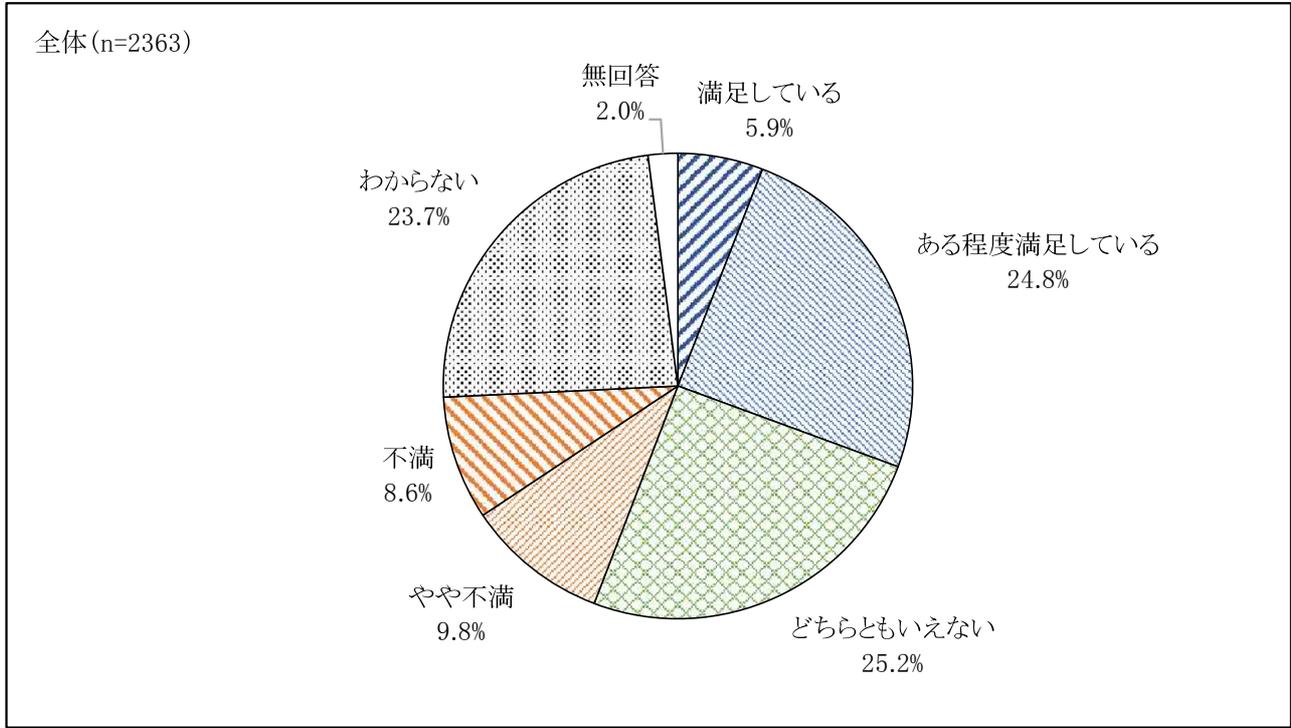
図 2-4 乗り継いで利用する際の満足度《第 2 交通手段から第 3 交通手段》（地区別/性別/年齢別）



## (5) 都心部における交通結節点の整備に関する満足度

問 10 都心部における交通結節点（複数の交通手段の接続が行われる場所）の整備※ に関する取り組みについてお聞きします。取り組み内容に対するあなたの満足度を教えてください。

（○は1つだけ）※取り組み例：新潟駅バスターミナル・万代広場の整備、JR新駅（上所駅）の整備、バス停上屋整備、バス停バリアフリー化など



— 『満足』は約3割 —

### 【全体結果】

都心部における交通結節点の整備に関する取り組み内容に、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が30.6%で、約3割となった。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が18.4%、「どちらともいえない」が25.2%、「わからない」が23.7%となった。

### 【属性別結果】（次ページ図2-5参照）

#### ① 地区別

『満足』の割合は、秋葉区（35.9%）、中央区（34.0%）、西区（32.2%）の順に高かった。最も低いのは南区（16.3%）で差が大きい。

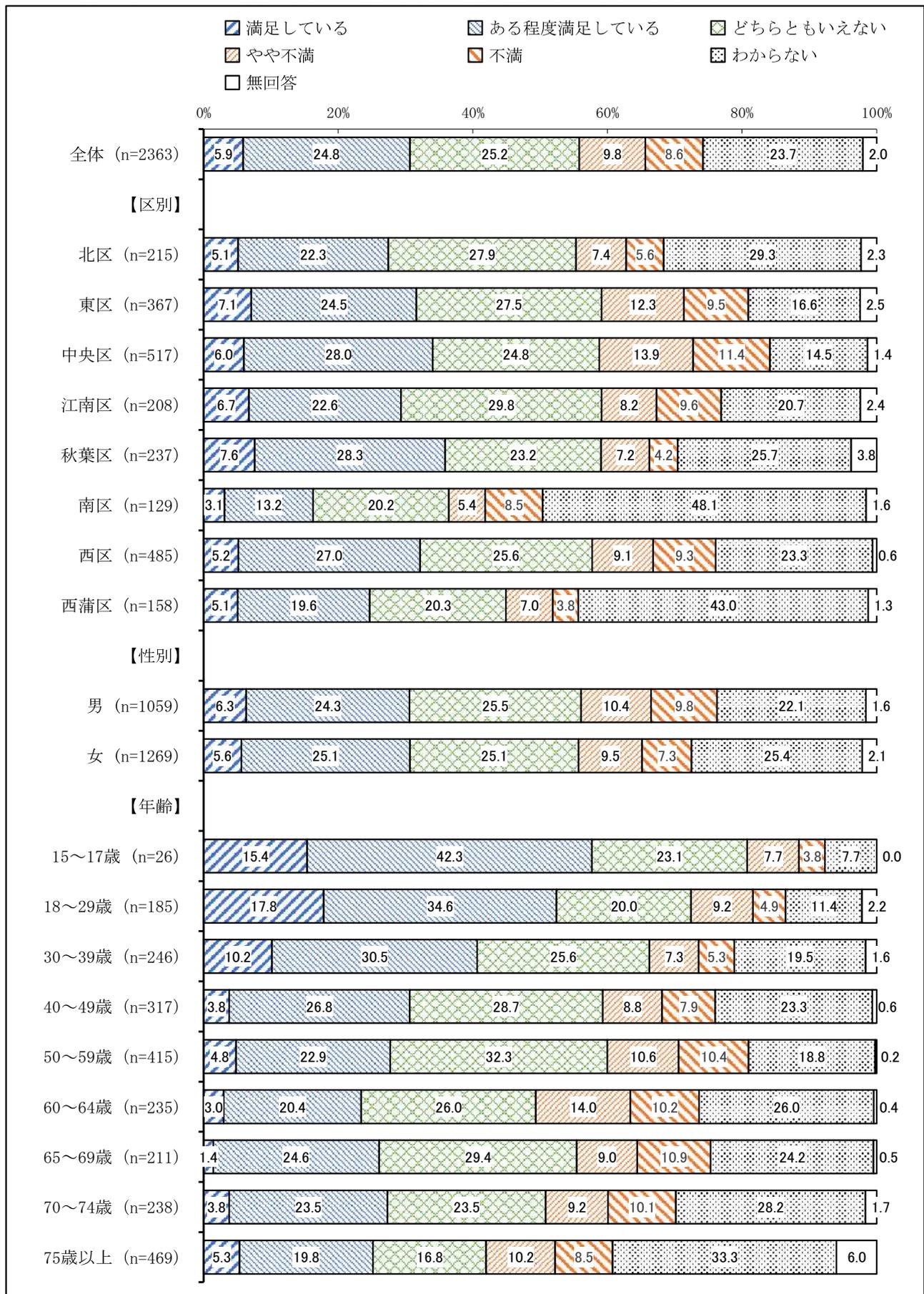
#### ② 性別

『不満』の割合は、女性（16.8%）と比較して男性（20.2%）が高かった。

#### ③ 年齢別

『満足』の割合は、年齢が低いほど高くなる傾向がみられ、15～17歳（57.7%）、18～29歳（52.4%）では5割を超えた。

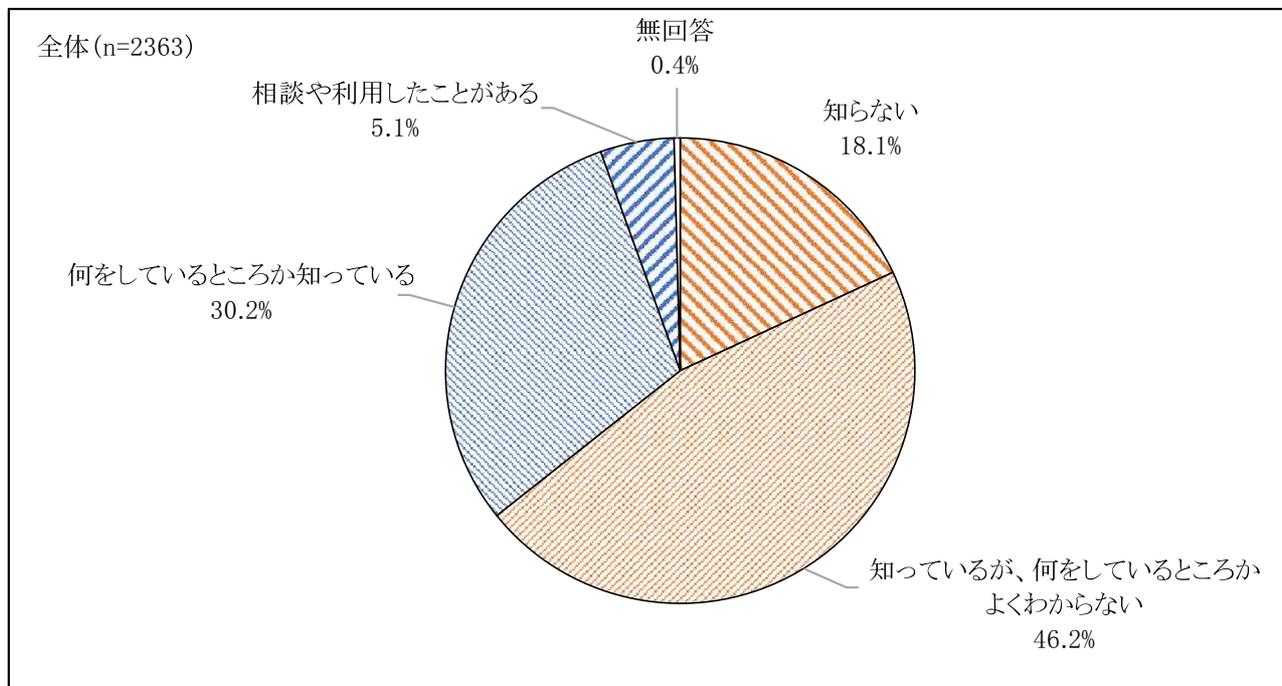
図 2-5 都心部における交通結節点の整備に関する満足度（地区別/性別/年齢別）



### 3. 消費生活について

#### (1) 消費生活センターの認知度

問11 あなたは、消費生活センターを知っていますか。(○は1つだけ)



— 『名前』は約8割、『内容』は3割半ばが知っている —

#### 【全体結果】

「相談や利用したことがある」と「何をしているところか知っている」を合わせた『内容も知っている』(35.3%)は3割半ばとなった。さらに「知っているが、何をしているところかよくわからない」を合わせた『名前は知っている』(81.5%)は、約8割となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

##### ① 地区別

『内容も知っている』の割合は、中央区(39.3%)、東区(37.6%)、西区(37.1%)の順に高かった。最も低いのは西蒲区(26.6%)となった。

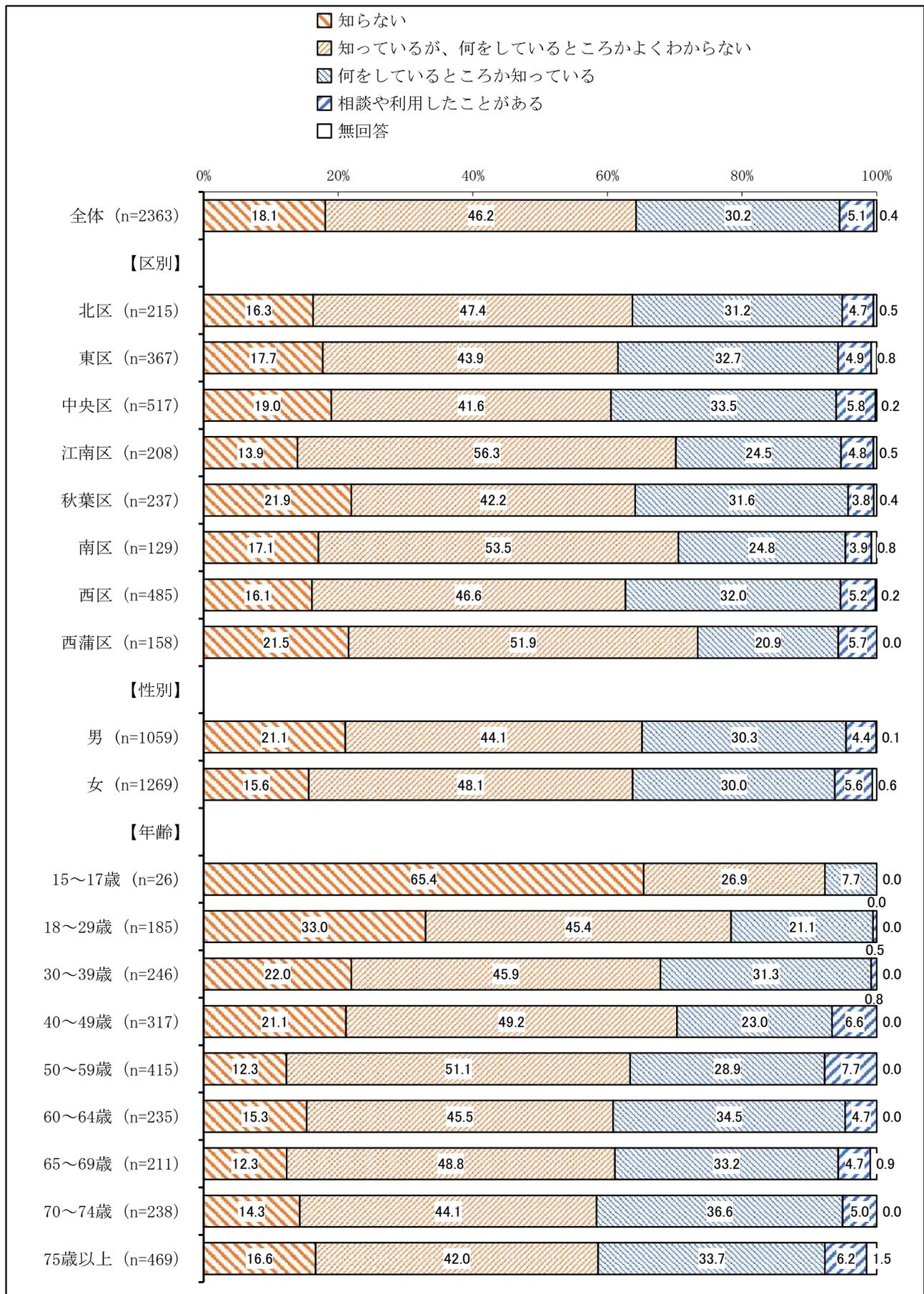
##### ② 性別

『内容も知っている』の割合は、性別での大きな差はみられなかったが、『名前は知っている』の割合は、男性(78.8%)と比較して女性(83.8%)で高かった。

##### ③ 年齢別

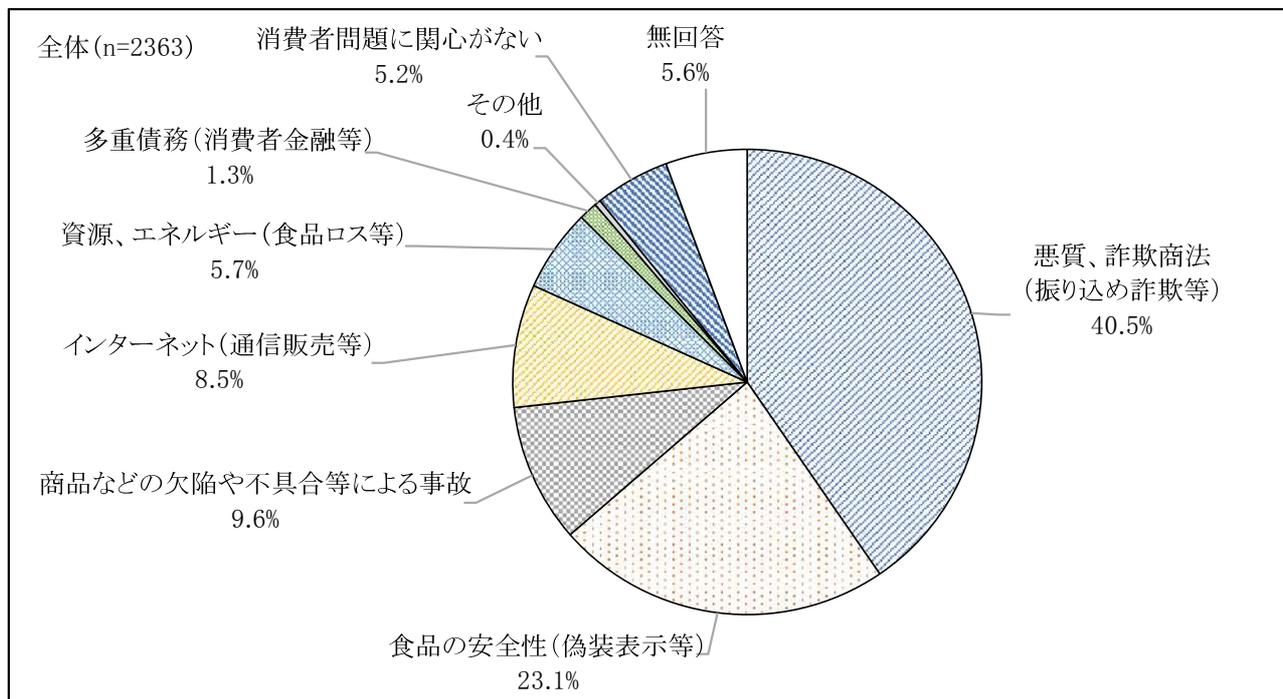
『知らない』と答えた割合は、年齢が低いほど高く、15~17歳(65.4%)では6割半ばとなった。

図 3-1 消費生活センターの認知度



## (2) 関心のある消費者問題

問12 あなたは、どのような消費者問題に最も関心がありますか。(〇は1つだけ)



— 「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」がトップで約4割 —

### 【全体結果】

関心のある消費者問題は、「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」(40.5%)の割合が最も高く、約4割となった。次いで、「食品の安全性 (偽装表示等)」(23.1%)、「商品などの欠陥や不具合等による事故」(9.6%)、「インターネット (通信販売等)」(8.5%)の順に高かった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

#### ① 地区別

すべての区で「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」の割合が最も高く、4割前後となっている。西蒲区で、「資源、エネルギー (食品ロス等)」(10.8%)の割合が高く他の区と差がみられた。

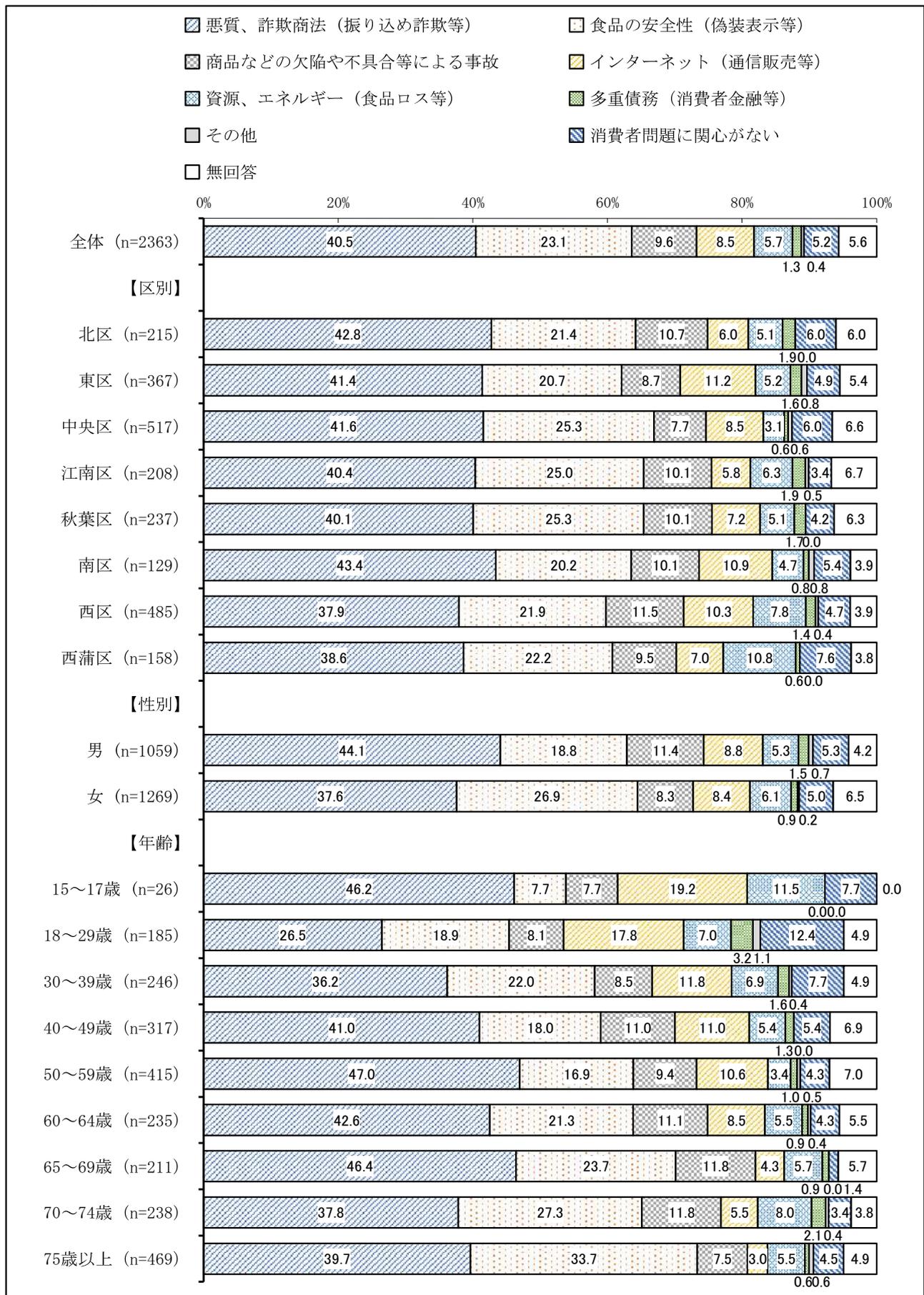
#### ② 性別

「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」(男性：44.1%、女性：37.6%)と「商品などの欠陥や不具合等による事故」(男性：11.4%、女性：8.3%)の割合は、女性と比較して男性で高く、「食品の安全性 (偽装表示等)」(女性：26.9%、男性：18.8%)の割合は、男性と比較して女性で高かった。

#### ③ 年齢別

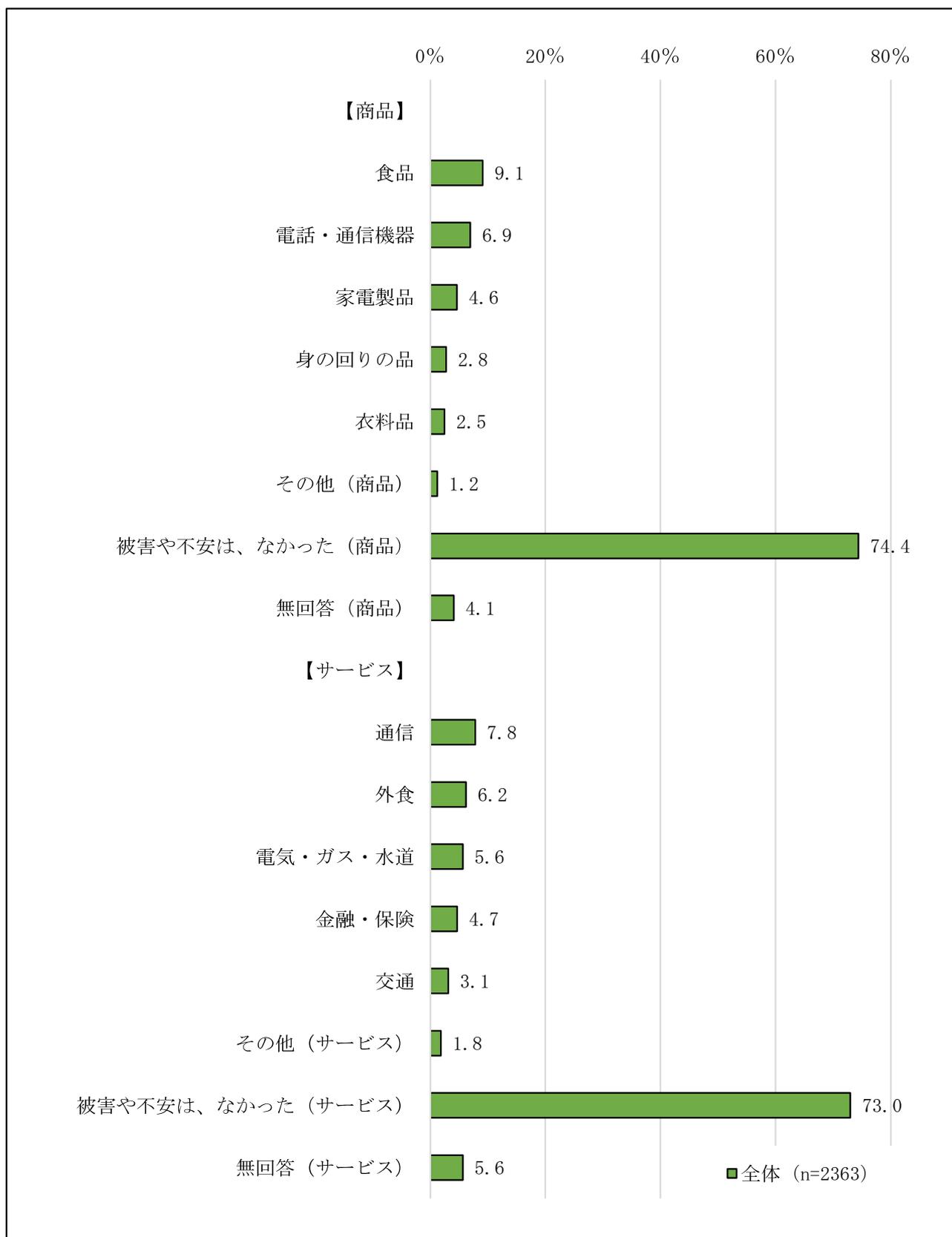
すべての年齢で「悪質、詐欺商法 (振り込め詐欺等)」の割合が最も高かった。「インターネット (通信販売等)」は年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられた。

図 3-2 関心のある消費者問題（地区別/性別/年齢別）



### (3) 購入した商品・サービスからの被害や不安

問13 あなたは、購入した商品や利用したサービスから経済的または身体的な被害を受けたことや、何らかの不安を感じたことはありますか。過去1年間（令和6年1月～12月）に購入した「商品」と「サービス」別に教えてください。（〇はいくつでも）



## — 「何らかの被害や不安があった」人は約4人に1人の割合 —

### 【全体結果】

「被害や不安は、なかった」の割合は、商品では74.4%、サービスでは73.0%となった。商品では「食品」(9.1%)の割合が、サービスでは「通信」(7.8%)の割合が最も高かった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-3-1、3-3-2参照)

#### ① 地区別

「被害や不安は、なかった」の割合は、商品(82.3%)、サービス(78.5%)ともに西蒲区で最も高かった。逆に最も低いのは、商品では江南区(71.6%)、サービスでは東区(70.6%)となった。

#### ② 性別

「被害や不安は、なかった」の割合は、商品(男性:76.3%、女性73.0%)、サービス(男性:74.7%、女性:71.8%)と女性と比較して男性で高かった。

#### ③ 年齢別

商品では、「被害や不安は、なかった」の割合は、年齢が低いほど割合が高い傾向がみられた。一方でサービスでは、「被害や不安は、なかった」の割合は15~17歳(65.4%)で最も低かった。15~17歳では「外食」(34.6%)の割合が他の年齢と比較して高く、差が大きかった。

図 3-3-1 購入した商品・サービスからの被害や不安（地区別/性別/年齢別）

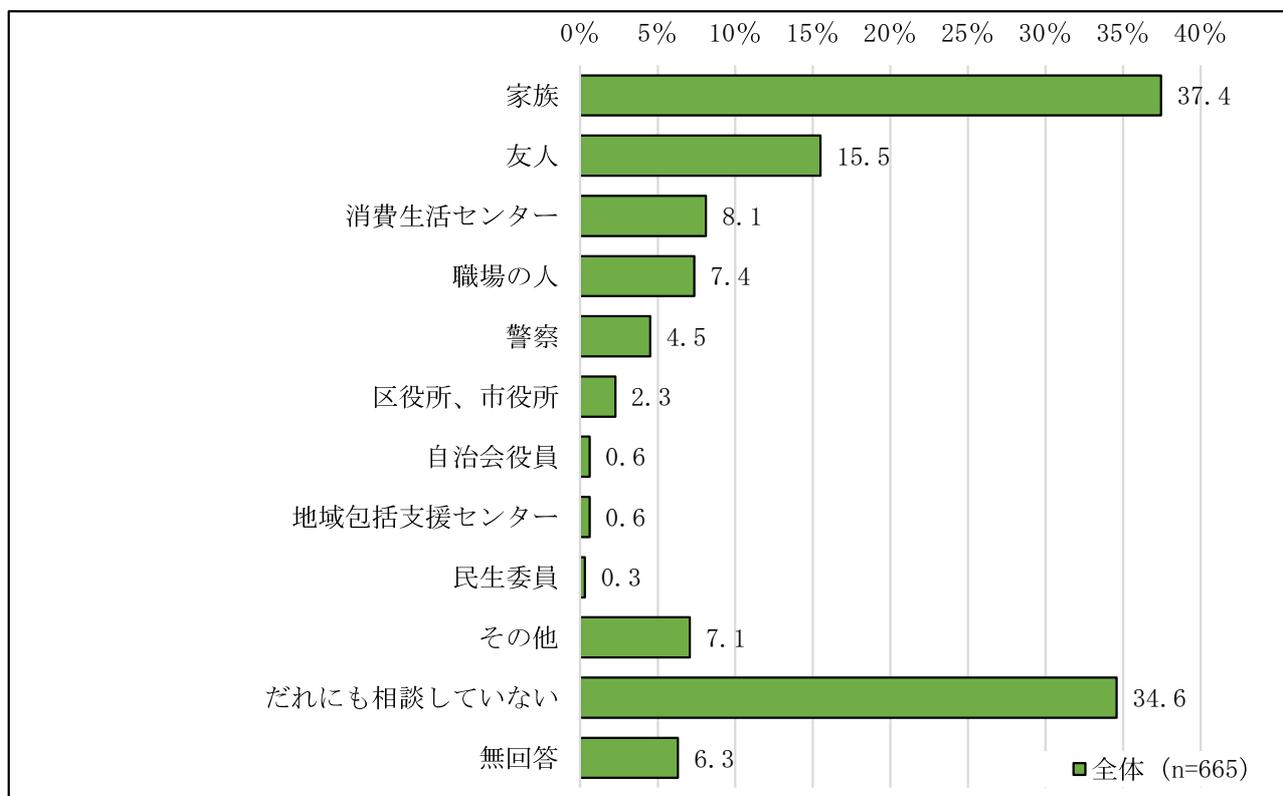
割合 (%)	食品	電話・通信機器	家電製品	身の回りの品	衣料品	その他	被害や不安は、なかった	無回答
全体 (n=2363)	9.1	6.9	4.6	2.8	2.5	1.2	74.4	4.1
<b>【区別】</b>								
北区 (n=215)	6.5	7.0	7.9	3.7	3.7	0.5	73.0	4.2
東区 (n=367)	11.7	6.8	3.5	4.1	2.2	1.1	73.6	3.0
中央区 (n=517)	9.3	5.4	4.3	2.5	3.3	1.0	75.4	4.1
江南区 (n=208)	11.5	9.1	2.4	3.8	2.4	0.5	71.6	3.8
秋葉区 (n=237)	8.9	8.4	3.8	2.1	2.5	1.3	74.7	5.1
南区 (n=129)	8.5	10.1	6.2	0.0	3.1	0.8	75.2	3.1
西区 (n=485)	8.2	7.0	5.8	3.1	1.4	2.1	74.0	3.1
西蒲区 (n=158)	7.0	3.2	3.2	0.6	1.3	0.6	82.3	4.4
<b>【性別】</b>								
男 (n=1059)	7.6	7.5	5.0	2.7	2.0	1.2	76.3	2.6
女 (n=1269)	10.2	6.5	4.3	2.8	2.9	1.1	73.0	5.0
<b>【年齢】</b>								
15～17歳 (n=26)	11.5	3.8	7.7	3.8	7.7	0.0	84.6	0.0
18～29歳 (n=185)	6.5	3.2	2.7	2.2	1.6	1.1	85.9	1.1
30～39歳 (n=246)	13.0	8.5	3.7	1.6	2.8	0.0	75.2	1.6
40～49歳 (n=317)	10.4	8.2	6.6	3.2	2.8	1.6	73.2	1.6
50～59歳 (n=415)	7.7	7.7	5.3	2.9	2.4	1.0	76.1	1.9
60～64歳 (n=235)	4.7	4.7	3.4	3.0	0.9	1.7	78.3	4.7
65～69歳 (n=211)	8.1	6.2	2.8	2.4	1.4	1.9	78.2	2.4
70～74歳 (n=238)	10.1	7.1	5.9	2.5	2.1	0.8	71.4	5.0
75歳以上 (n=469)	10.4	7.5	4.7	3.4	3.6	1.3	66.3	9.8

図 3-3-2 購入した商品・サービスからの被害や不安（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	通信	外食	電気・ガス・水道	金融・保険	交通	その他	被害や不安は、なかった	無回答
全体 (n=2363)	7.8	6.2	5.6	4.7	3.1	1.8	73.0	5.6
<b>【区別】</b>								
北区 (n=215)	7.4	5.1	5.1	4.2	3.3	0.5	72.1	8.4
東区 (n=367)	7.6	8.2	6.8	2.5	3.5	1.9	70.6	4.4
中央区 (n=517)	8.5	6.2	6.2	5.8	3.9	1.5	72.7	5.6
江南区 (n=208)	6.3	6.7	5.3	4.8	3.8	2.4	73.6	5.8
秋葉区 (n=237)	9.3	7.2	5.1	5.1	2.1	1.3	72.2	5.5
南区 (n=129)	7.0	4.7	4.7	7.8	0.8	1.6	75.2	4.7
西区 (n=485)	8.5	6.0	6.0	4.5	3.5	2.5	74.0	3.7
西蒲区 (n=158)	4.4	3.8	3.8	4.4	0.6	1.9	78.5	8.2
<b>【性別】</b>								
男 (n=1059)	8.6	6.4	6.2	4.3	2.7	2.1	74.7	3.2
女 (n=1269)	7.0	5.8	5.2	4.7	3.3	1.5	71.8	7.6
<b>【年齢】</b>								
15～17歳 (n=26)	11.5	34.6	11.5	11.5	11.5	0.0	65.4	0.0
18～29歳 (n=185)	3.8	7.6	3.8	3.8	2.2	1.6	81.6	1.6
30～39歳 (n=246)	9.8	13.4	7.3	4.9	4.1	1.2	69.1	4.1
40～49歳 (n=317)	9.5	9.1	6.0	5.7	4.7	1.6	72.9	2.8
50～59歳 (n=415)	9.6	5.3	5.5	5.8	2.7	1.9	72.5	4.1
60～64歳 (n=235)	7.2	2.1	3.0	4.3	2.1	2.6	78.3	4.7
65～69歳 (n=211)	7.1	2.8	3.8	2.8	1.9	1.4	82.0	2.8
70～74歳 (n=238)	7.6	2.9	7.6	4.2	2.5	1.7	71.8	8.4
75歳以上 (n=469)	6.2	4.3	6.4	4.1	3.2	1.9	66.3	11.7

#### (4) 被害や不安の相談先

問 14 問 13 で「1～6」(被害や不安があった)と答えた方にお聞きします。  
あなたは、購入した商品・サービスからの被害や不安を誰に相談しましたか。  
(〇はいくつでも)



#### — 「家族」が4割弱でトップ —

##### 【全体結果】

「家族」(37.4%)の割合が最も高く4割弱となった。次いで、「だれにも相談しない」(34.6%)、「友人」(15.5%)、「消費生活センター」(8.1%)、「職場の人」(7.4%)の順に続いた。

##### 【属性別結果】(次ページ図3-4参照)

###### ① 地区別

区別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

###### ② 性別

「家族」(男性:34.0%、女性41.2%)、「友人」(男性:12.6%、女性18.1%)の割合は男性と比較して女性で高く、「だれにも相談していない」(男性:39.8%、女性30.1%)の割合は女性と比較して男性で高かった。

###### ③ 年齢別

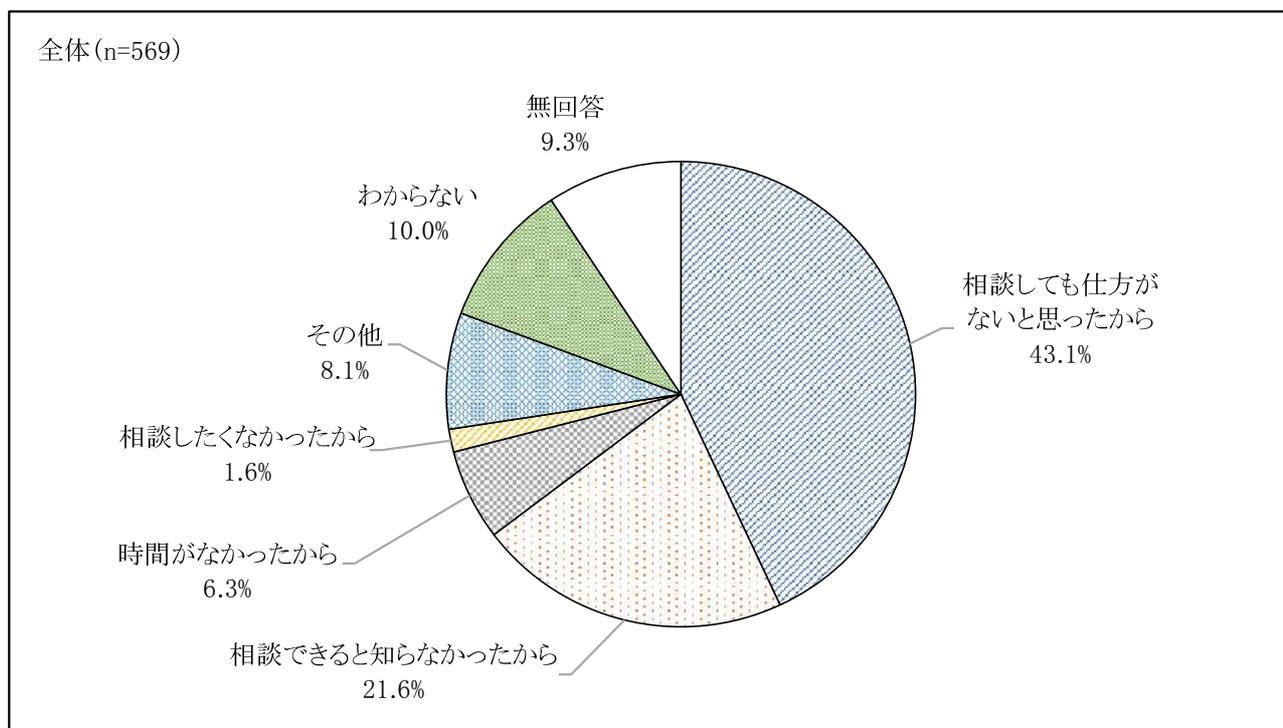
年齢別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

図 3-4 被害や不安の相談先（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	家族	友人	消費生活センター	職場の人	警察	区役所、市役所	自治会役員	地域包括支援センター	民生委員	その他	だれにも相談していない	無回答
全体 (n=665)	37.4	15.5	8.1	7.4	4.5	2.3	0.6	0.6	0.3	7.1	34.6	6.3
【区別】												
北区 (n=57)	33.3	14.0	3.5	12.3	3.5	1.8	0.0	0.0	0.0	7.0	35.1	8.8
東区 (n=119)	33.6	10.1	9.2	4.2	4.2	3.4	1.7	0.8	0.0	5.9	40.3	7.6
中央区 (n=152)	37.5	13.2	4.6	4.6	4.6	2.0	0.7	0.0	0.0	7.9	34.9	9.2
江南区 (n=60)	43.3	16.7	10.0	10.0	3.3	3.3	1.7	1.7	3.3	10.0	31.7	5.0
秋葉区 (n=63)	41.3	14.3	7.9	7.9	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	30.2	7.9
南区 (n=31)	51.6	19.4	6.5	12.9	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	32.3	0.0
西区 (n=139)	37.4	21.6	11.5	10.8	4.3	2.2	0.0	1.4	0.0	6.5	32.4	2.2
西蒲区 (n=30)	26.7	10.0	16.7	0.0	6.7	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	36.7	10.0
【性別】												
男 (n=294)	34.0	12.6	8.8	7.1	4.8	2.0	0.0	0.3	0.7	7.1	39.8	5.4
女 (n=359)	41.2	18.1	7.2	7.8	3.9	2.5	1.1	0.8	0.0	7.0	30.1	7.2
【年齢】												
15～17歳 (n=9)	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
18～29歳 (n=39)	33.3	20.5	15.4	5.1	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	2.6
30～39歳 (n=84)	42.9	10.7	7.1	7.1	6.0	2.4	0.0	0.0	0.0	10.7	38.1	0.0
40～49歳 (n=95)	41.1	17.9	5.3	15.8	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	10.5	33.7	2.1
50～59歳 (n=130)	36.9	13.1	7.7	11.5	3.8	2.3	0.0	0.0	0.0	8.5	36.9	2.3
60～64歳 (n=50)	28.0	6.0	8.0	4.0	4.0	2.0	2.0	0.0	0.0	8.0	46.0	8.0
65～69歳 (n=46)	30.4	17.4	2.2	4.3	8.7	6.5	2.2	0.0	0.0	4.3	43.5	6.5
70～74歳 (n=66)	28.8	19.7	10.6	4.5	4.5	3.0	0.0	1.5	1.5	7.6	34.8	12.1
75歳以上 (n=140)	43.6	17.9	10.7	2.9	4.3	2.1	1.4	2.1	0.7	4.3	23.6	15.0

## (5) 消費生活センターに相談しなかった理由

問 15 問 14 で「1 消費生活センター」に○をつけなかった方にお聞きします。  
あなたが消費生活センターに相談しなかった理由を教えてください。  
(○は1つだけ)



— 「相談しても仕方がないと思ったから」が4割半ばでトップ —

### 【全体結果】

「相談しても仕方がないと思ったから」(43.1%)の割合が最も高く4割半ばとなった。次に「相談できると知らなかったから」(21.6%)が約2割と続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図3-5参照)

#### ① 地区別

区別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

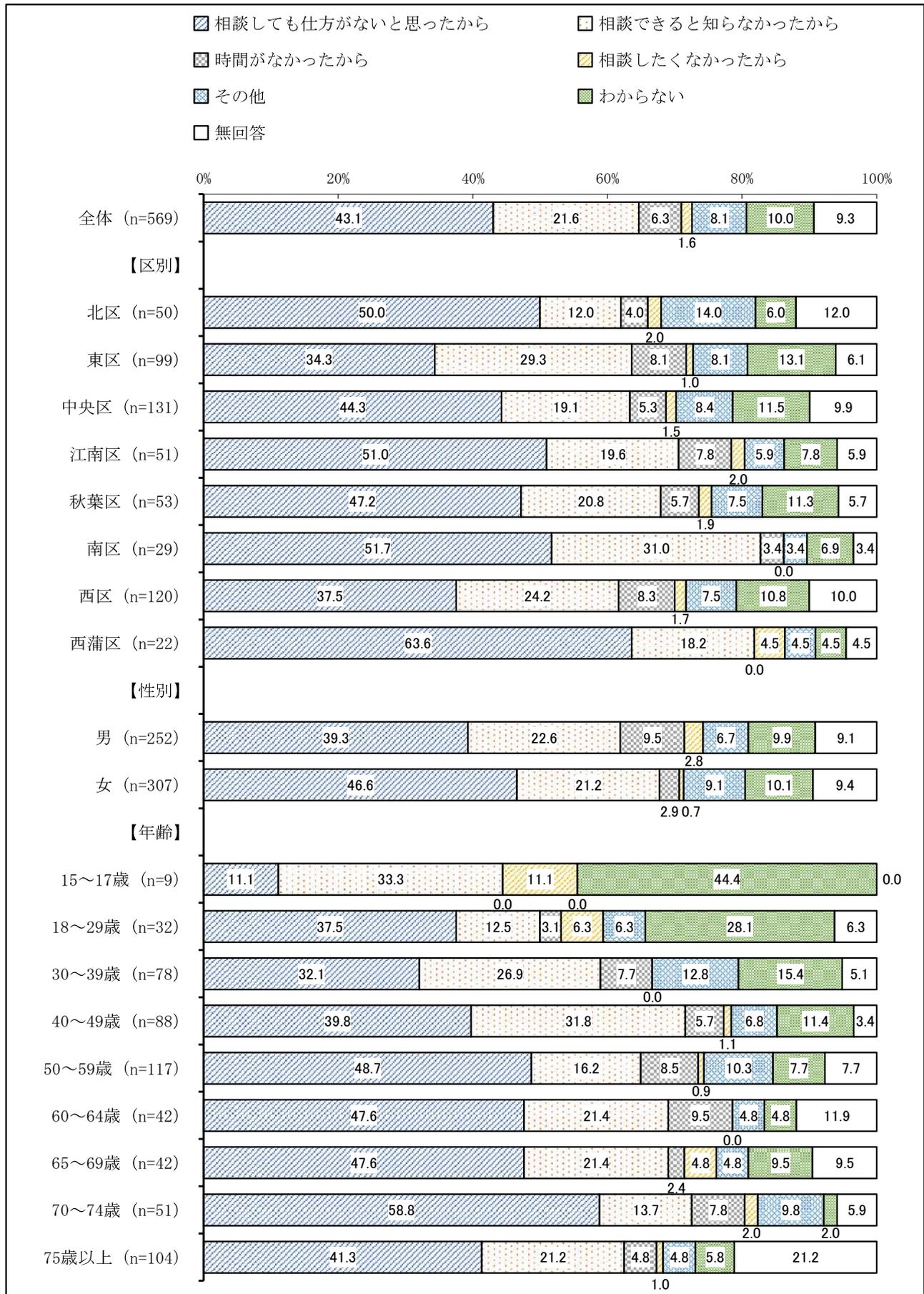
#### ② 性別

「相談しても仕方がないと思ったから」の割合は、男性(39.3%)と比較して女性(46.6%)で高く、「時間がなかったから」の割合は、女性(2.9%)と比較して男性(9.5%)で高かった。

#### ③ 年齢別

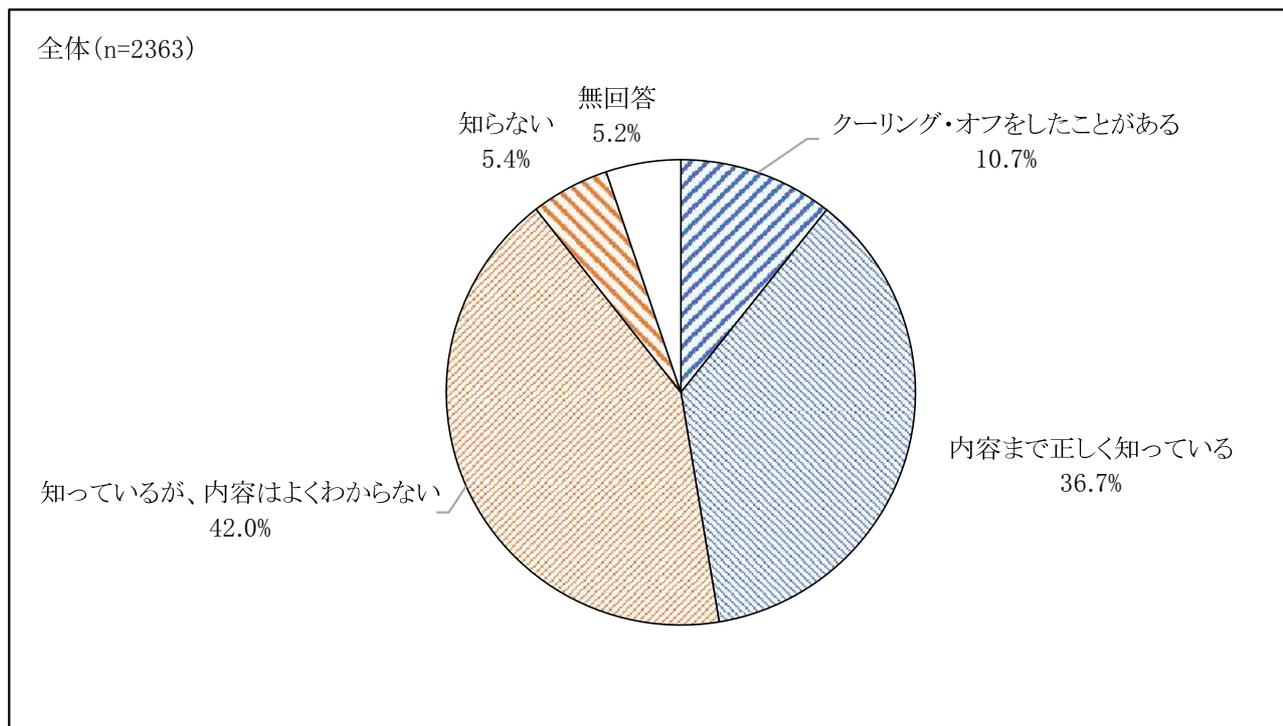
年齢別での回答者数が少ないため図のみ表示する。

図 3-5 消費生活センターに相談しなかった理由（地区別/性別/年齢別）



## (6) クーリング・オフ制度の認知度

問 16 あなたは、クーリング・オフ制度を知っていますか。(○は1つだけ)



— 『名前』は約9割、『内容』は5割弱が知っている —

### 【全体結果】

「クーリング・オフをしたことがある」と「内容まで正しく知っている」を合わせた『内容まで知っている』(47.4%)は5割弱となった。さらに「知っているが、内容はよくわからない」を合わせた『名前は知っている』(89.4%)は、約9割となった。

### 【属性別結果】(次ページ図 3-6 参照)

#### ① 地区別

『内容まで知っている』の割合は、東区(52.3%)、西区(49.7%)、中央区、秋葉区(いずれも48.5%)の順に高かった。

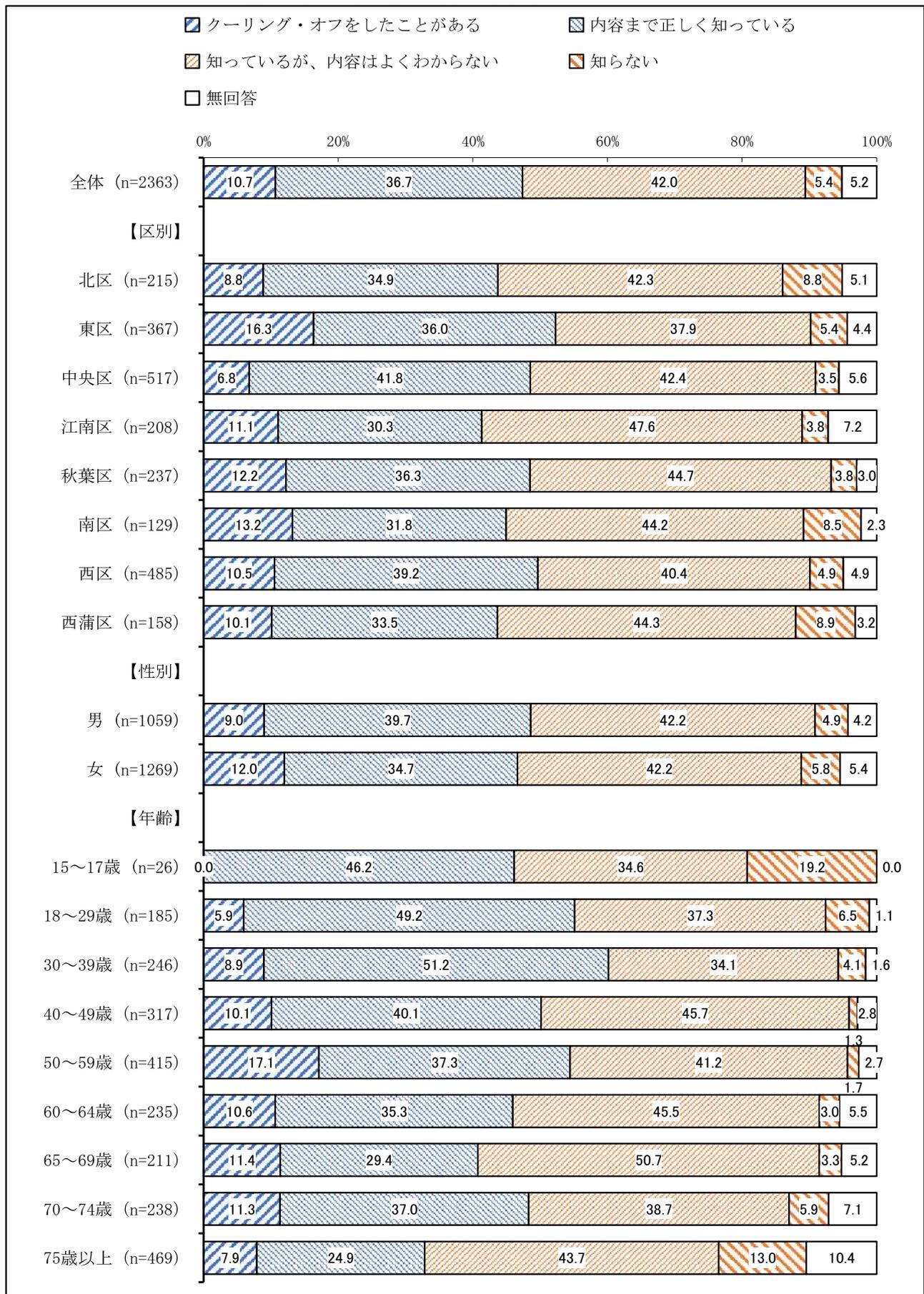
#### ② 性別

『内容まで知っている』、『名前は知っている』の割合に、性別での大きな差はみられなかった。

#### ③ 年齢別

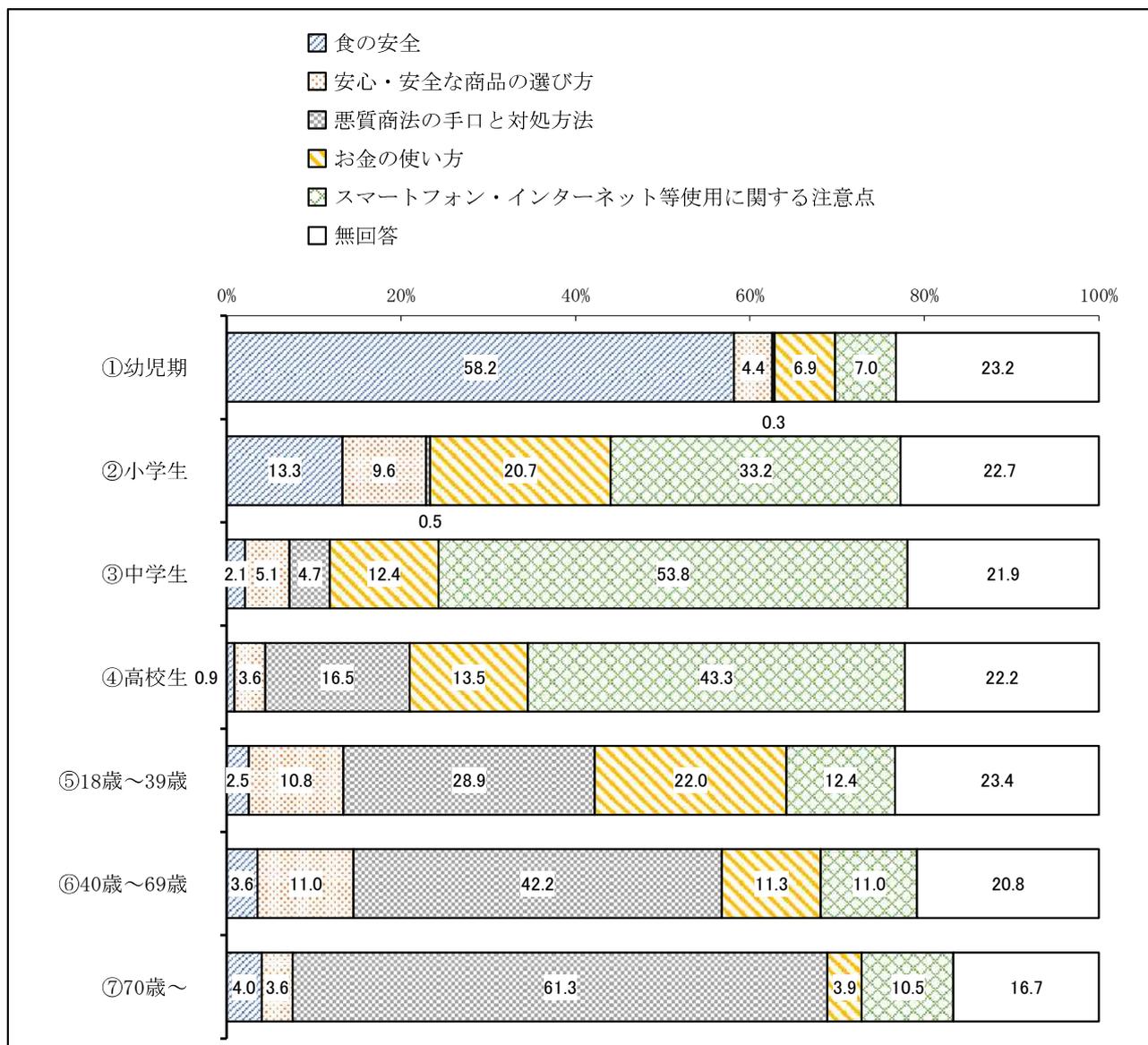
『内容まで知っている』の割合は、30～39歳(60.2%)で最も高い。18～59歳で割合が高く5割以上となった。

図 3-6 クーリング・オフ制度の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (7) 必要な消費者教育（年代別）

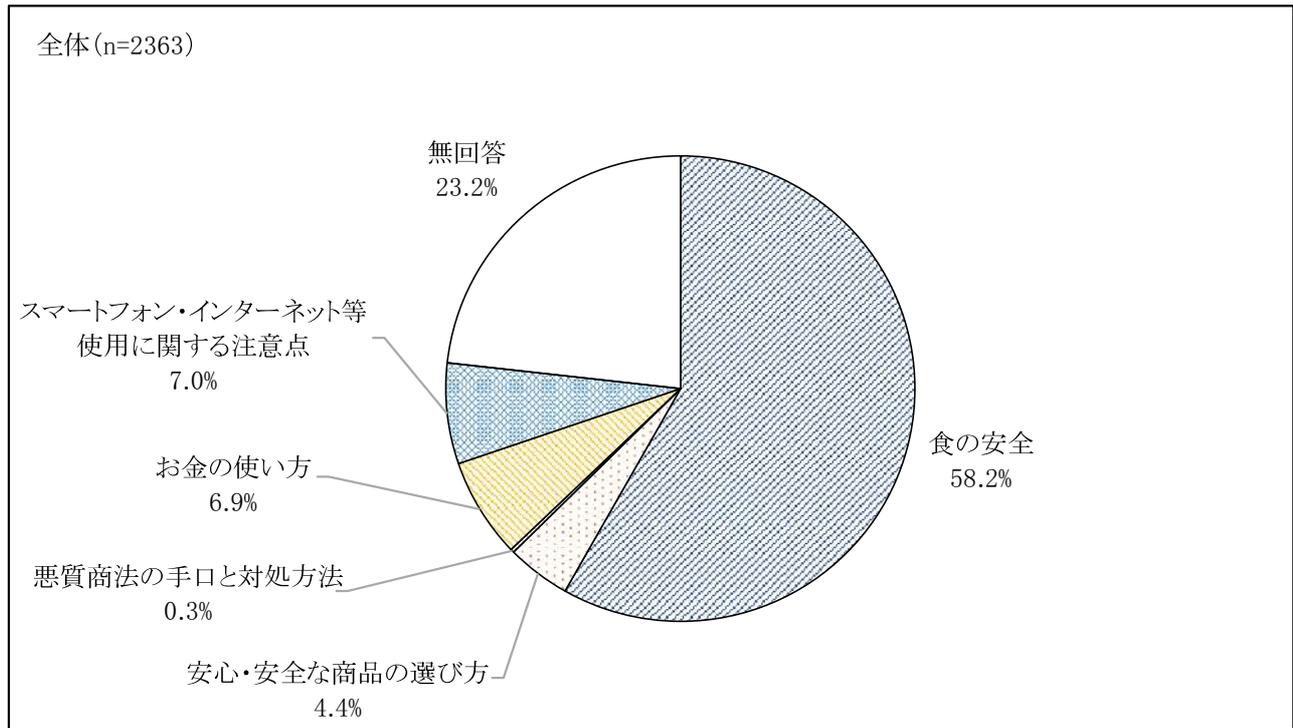
問 17 あなたは、消費生活の被害や不安解消のために、年代別にどのような「消費者教育」活動が最も必要だと思いますか。（各年代それぞれに○は1つだけ）



— 幼児期は「食の安全」、  
小中高生は「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」、  
18歳以上は「悪質商法の手口と対処方法」がトップ —

幼児期は「食の安全」（58.2%）、小中高生は「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」（小学校：33.2%、中学校：53.8%、高校生 43.3%）、18歳以上は「悪質商法の手口と対処方法」（18～39歳：28.9%、40～69歳：42.2%、70歳以上：61.3%）の割合が最も高くなった。「お金の使い方」は小学生（20.7%）と18～39歳（22.0%）で高く2割以上となった。

## ① 幼児期



### 【全体結果】

「食の安全」(58.2%)の割合が最も高く6割弱となった。次いで「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(7.0%)「お金の使い方」(6.9%)、「安心・安全な商品の選び方」(4.4%)の順に続くがいずれも1割未満となった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-7-1参照)

#### ① 地区別

いずれの区でも「食の安全」の割合が最も高く5割を超え、他は1割未満となった。

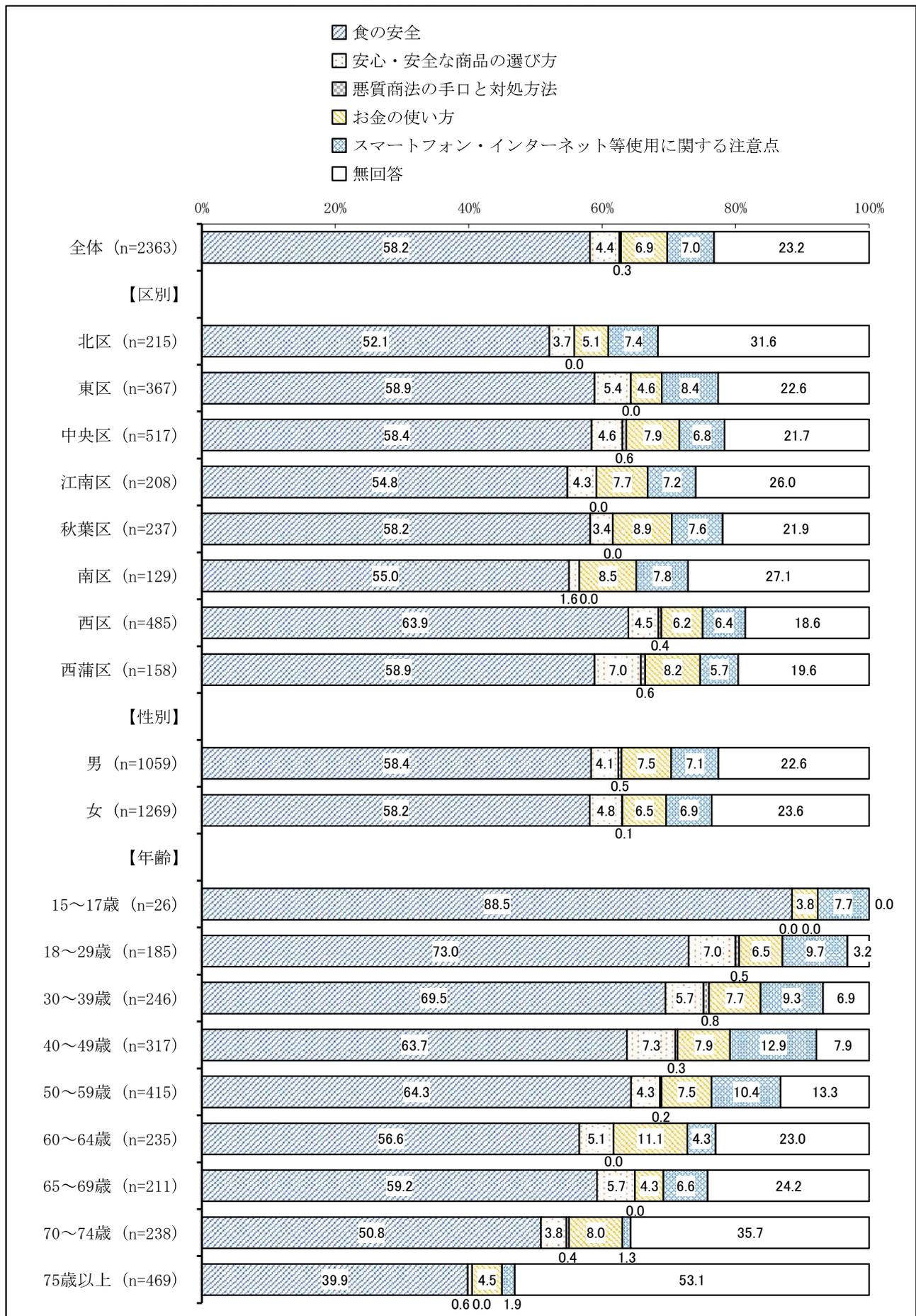
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

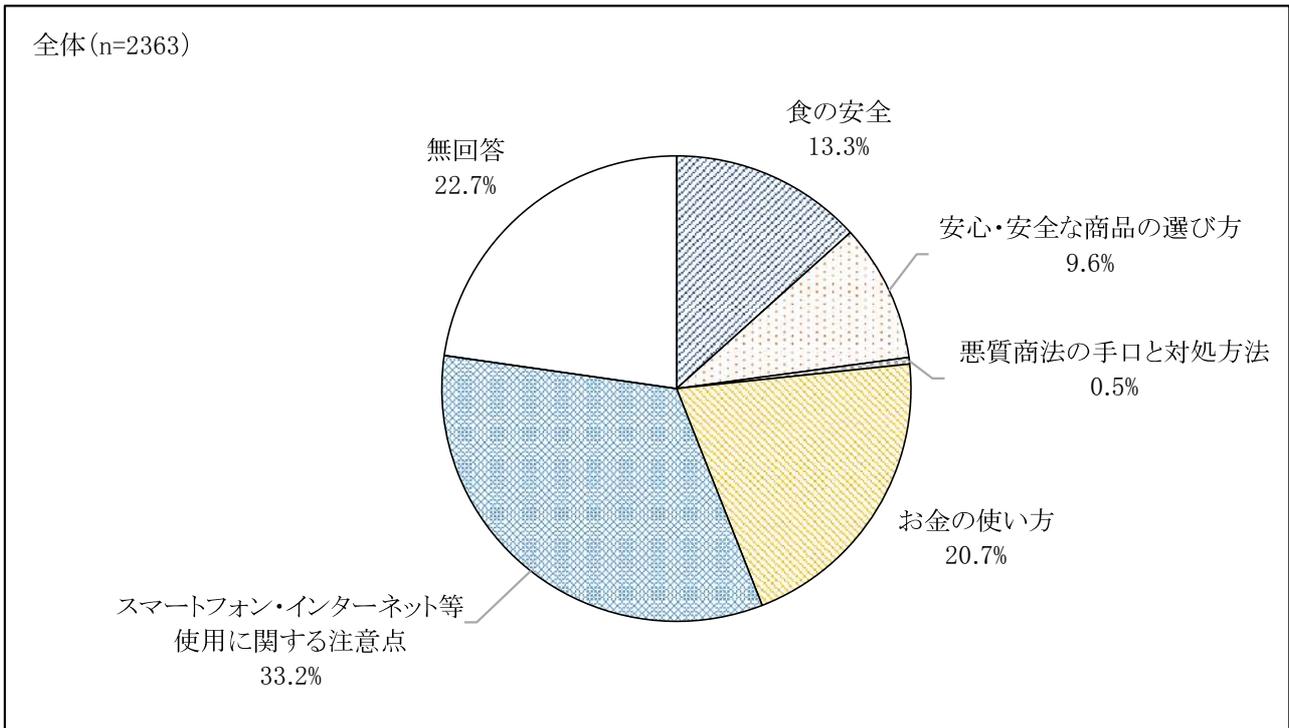
#### ③ 年齢別

いずれの年齢でも「食の安全」の割合が最も高い。「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は、40～49歳(12.9%)、50～59歳(10.4%)で高く1割以上となった。「お金の使い方」の割合は、60～64歳(11.1%)で高く1割以上となった。

図 3-7-1 必要な消費者教育（年代別）①幼児期（地区別/性別/年齢別）



## ②小学生



### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(33.2%)の割合が最も高く約3人に1人の割合となった。次いで「お金の使い方」(20.7%)、「食の安全」(13.3%)、「安心・安全な商品の選び方」(9.6%)の順に続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図3-7-2参照)

#### ① 地区別

いずれの区でも「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高く、次に「お金の使い方」の割合が高かった。

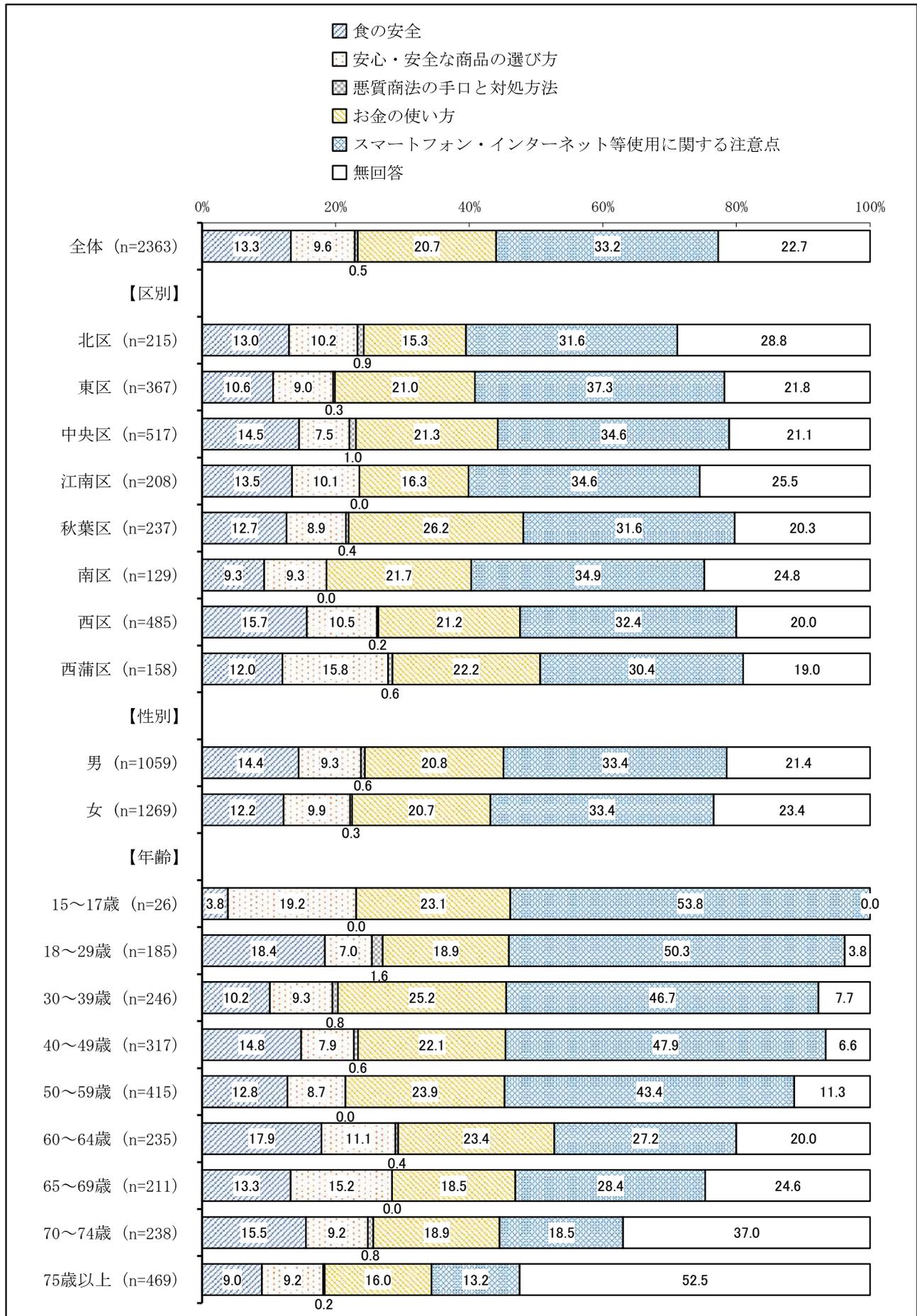
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

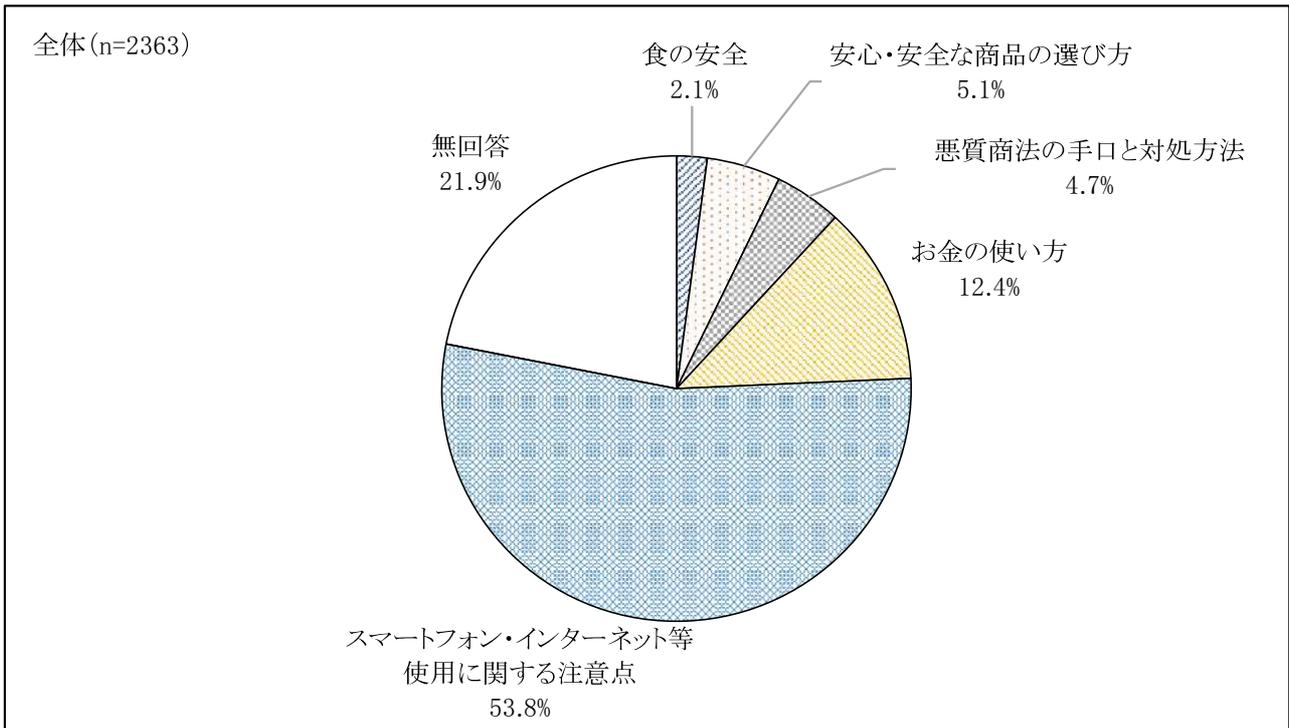
#### ③ 年齢別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は、年齢が低いほど割合が高く、15～17歳(53.8%)、18～29歳(50.3%)では5割以上となった。

図 3-7-2 必要な消費者教育（年代別）②小学生（地区別/性別/年齢別）



### ③中学生



#### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」（53.8%）の割合が最も高く 5 割を超えた。次いで「お金の使い方」（12.4%）が 1 割強、他は 1 割未満となった。

#### 【属性別結果】（次ページ図 3-7-3 参照）

##### ① 地区別

いずれの区でも「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高く、次に「お金の使い方」の割合が高かった。

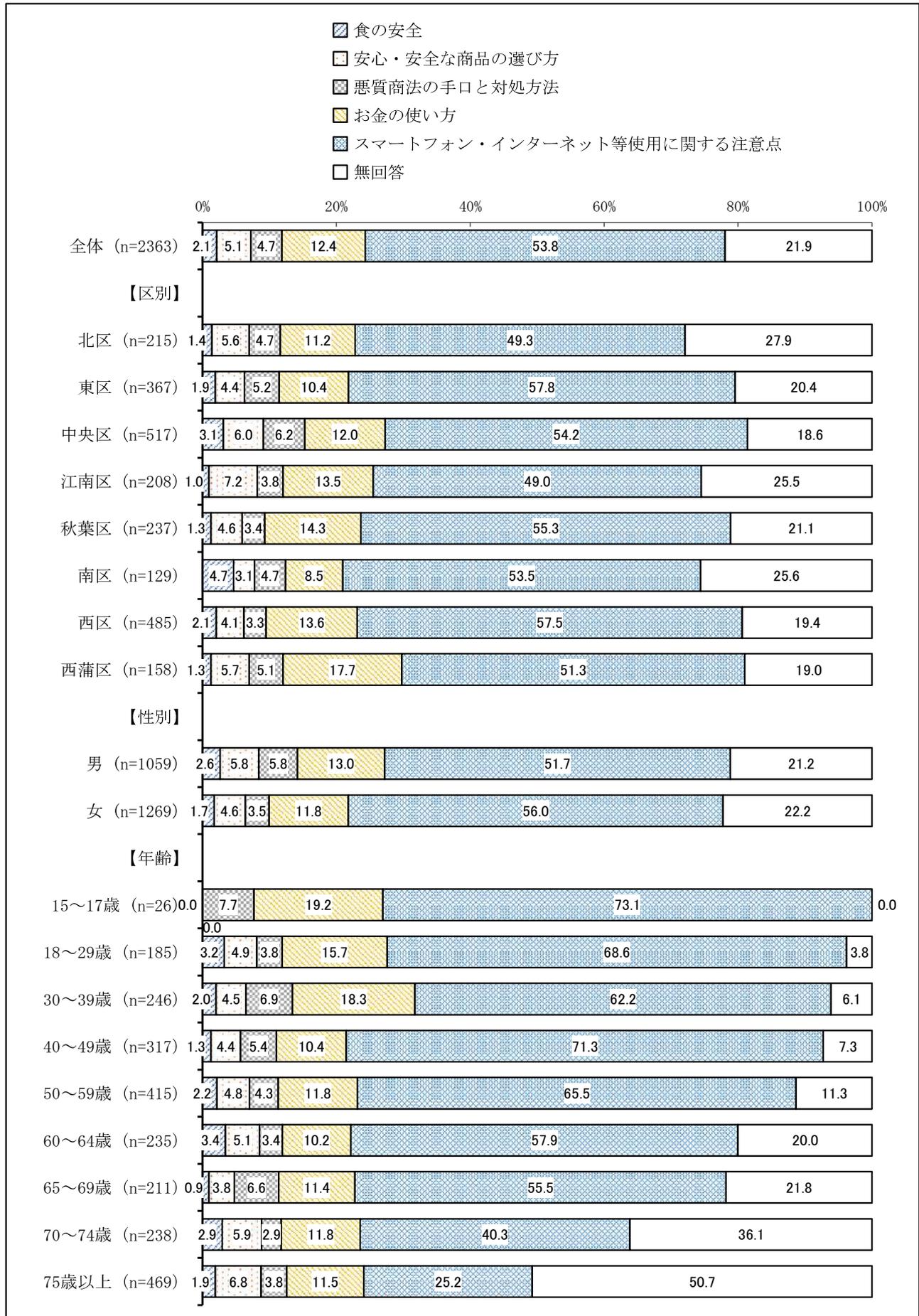
##### ② 性別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は、男性（51.7%）と比較して女性（56.0%）で高かった。

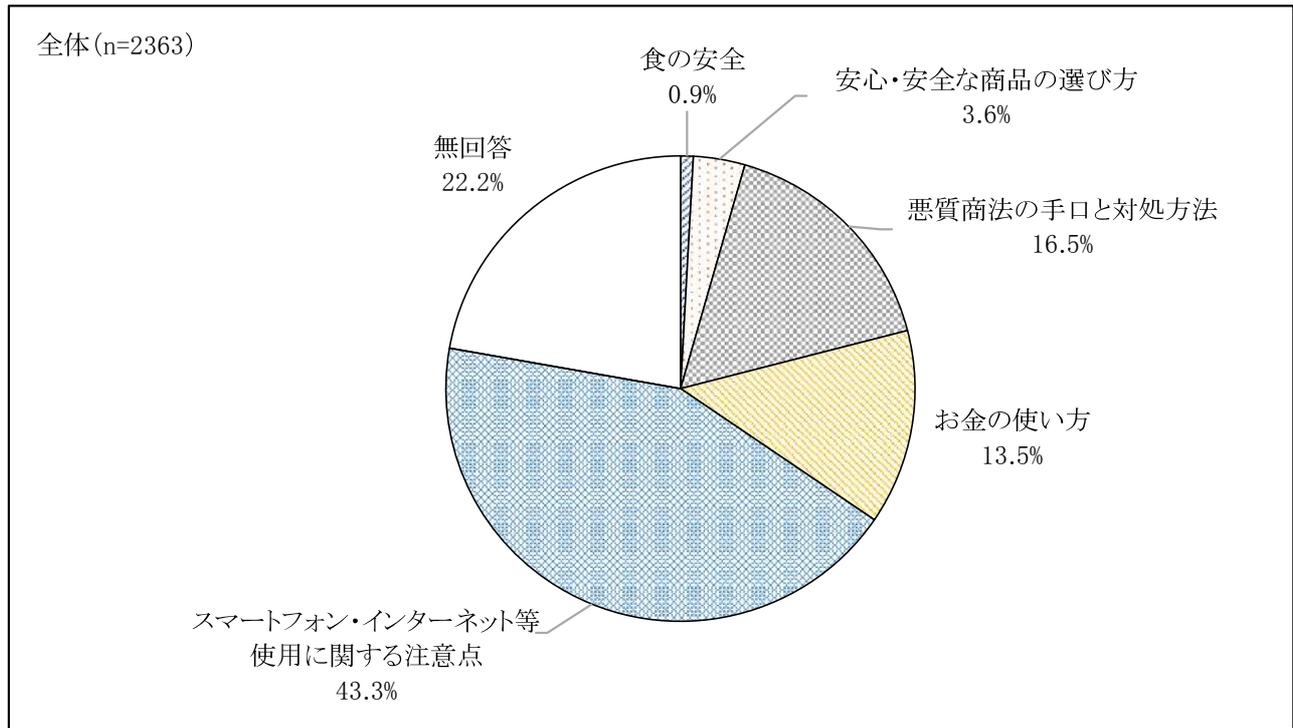
##### ③ 年齢別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は、年齢が低い層で割合が高く、15～59 歳では 6 割以上となった。

図 3-7-3 必要な消費者教育（年代別）③中学生（地区別/性別/年齢別）



#### ④高校生



#### 【全体結果】

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(43.3%)の割合が最も高く4割を超えた。次いで「悪質商法の手口と対処方法」(16.5%)、「お金の使い方」(13.5%)が1割台で続き、他は1割未満となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図3-7-4参照)

##### ① 地区別

いずれの区でも「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高かった。

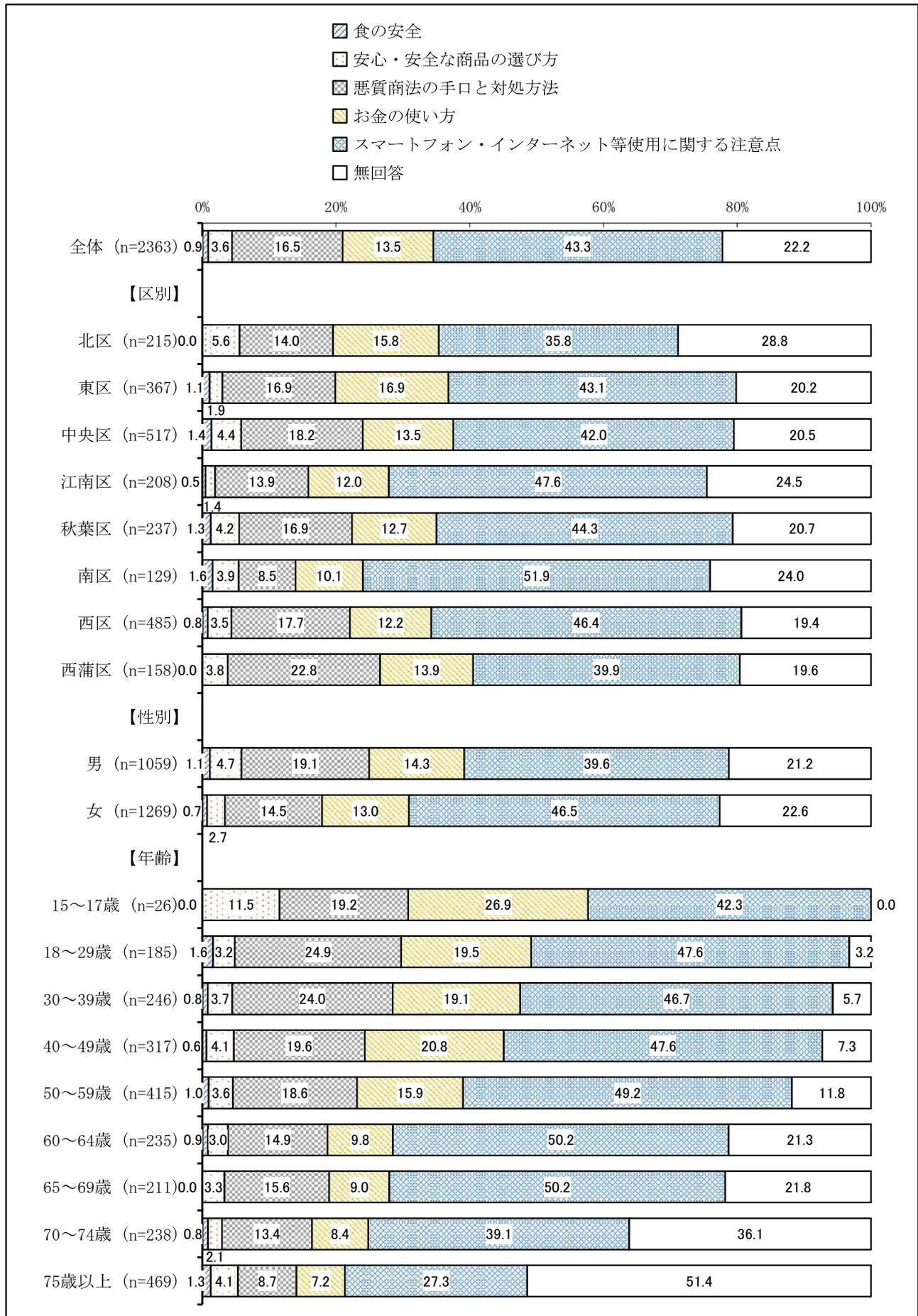
##### ② 性別

「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は、男性(39.6%)と比較して女性(46.5%)で高く、「悪質商法の手口と対処方法」の割合は、女性(14.5%)と比較して男性(19.1%)で高かった。

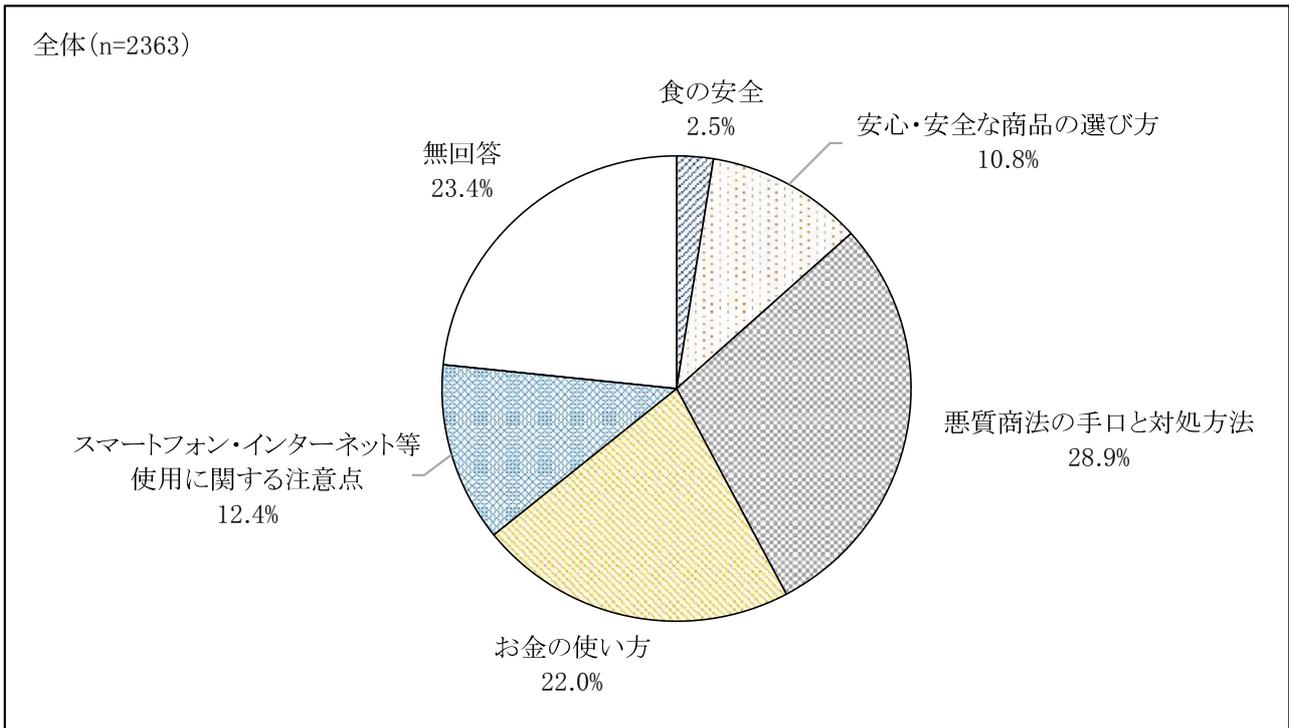
##### ③ 年齢別

いずれの年齢でも「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合が最も高い。「悪質商法の手口と対処方法」と「お金の使い方」は、年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられた。

図 3-7-4 必要な消費者教育（年代別）④高校生（地区別/性別/年齢別）



## ⑤18 歳～39 歳



### 【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(28.9%)の割合が最も高く約3割となった。次いで「お金の使い方」(22.0%)、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(12.4%)、「安心・安全な商品の選び方」(10.8%)の順に割合が高かった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-7-5参照)

#### ① 地区別

南区以外は、「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高く、次に「お金の使い方」の割合が高かった。南区は、「お金の使い方」の割合が最も高く、次に「悪質商法の手口と対処方法」の割合が高かった。

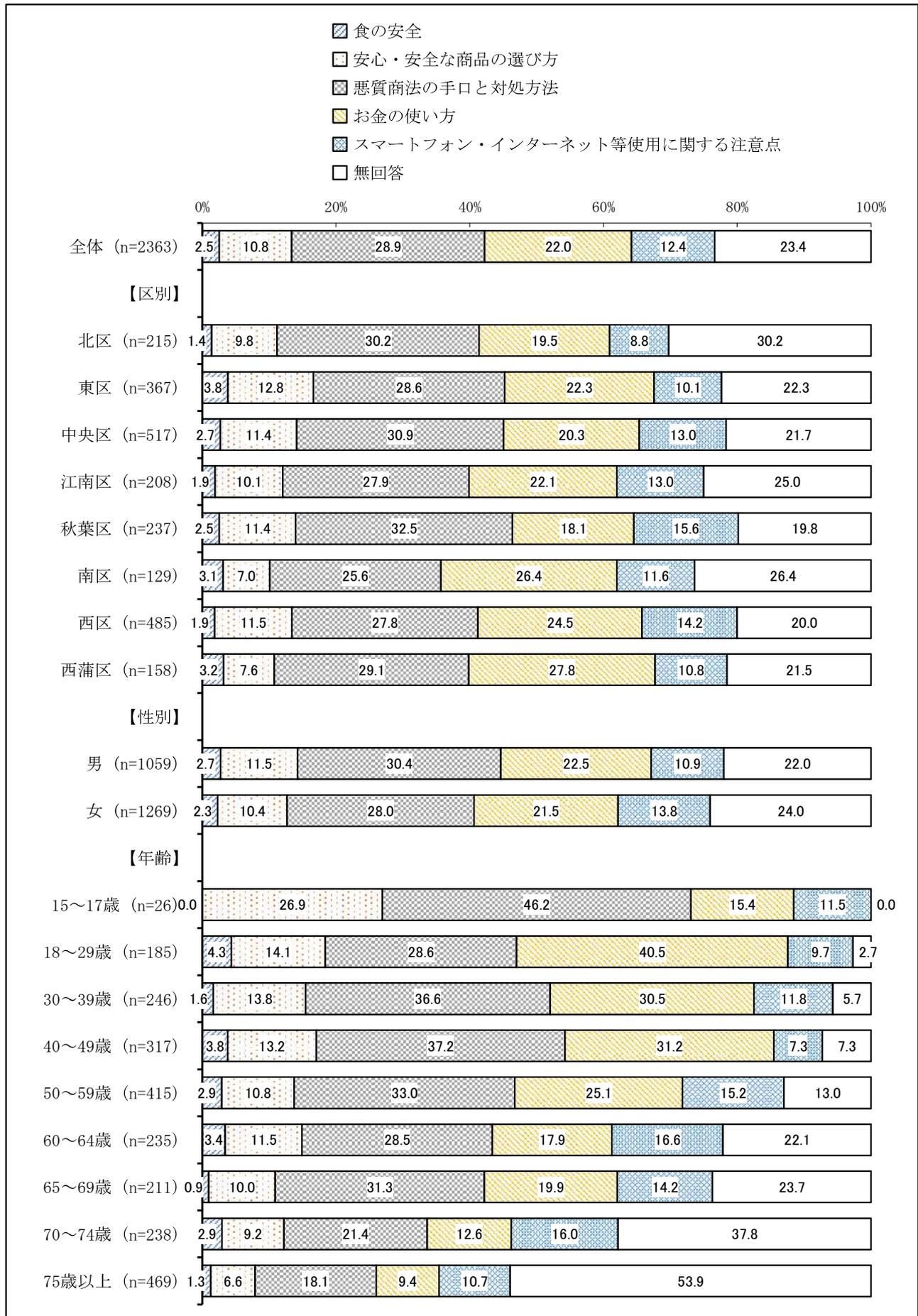
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

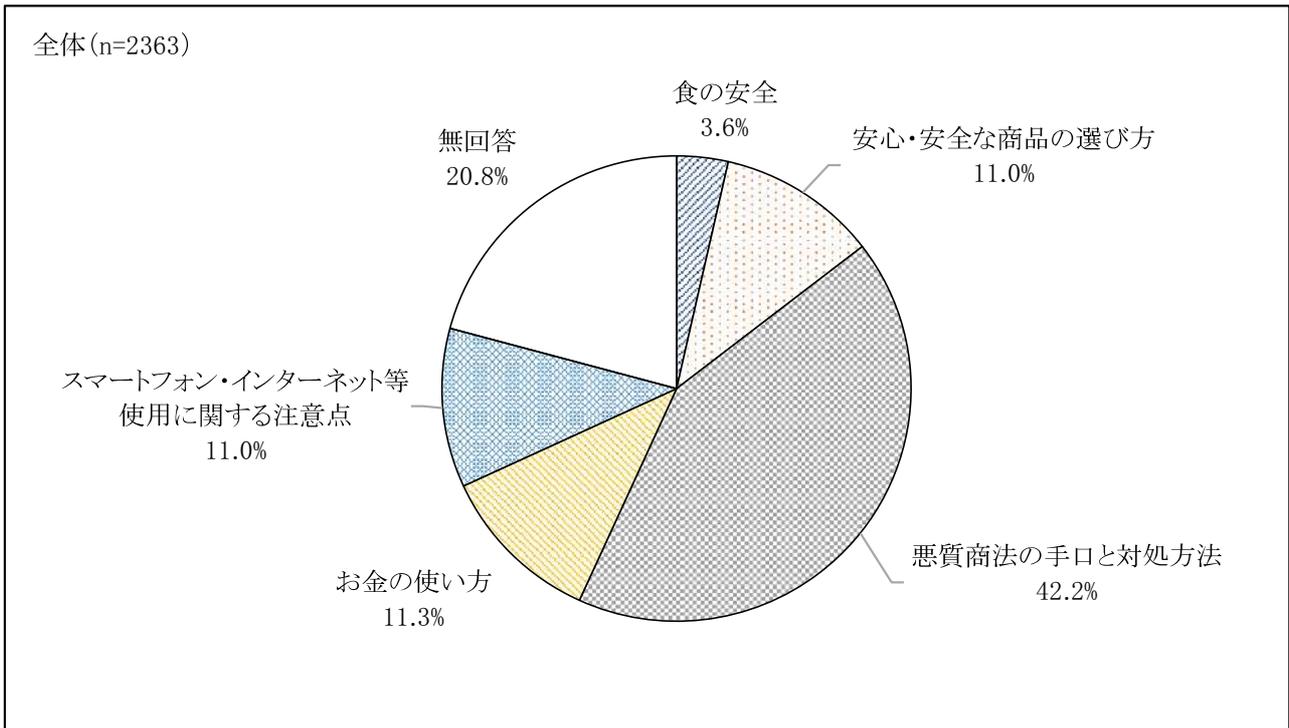
#### ③ 年齢別

18歳～29歳では、「お金の使い方」(40.5%)の割合が最も高かった。他の年齢では「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高かった。

図 3-7-5 必要な消費者教育（年代別）⑤18歳～39歳（地区別/性別/年齢別）



## ⑥40歳～69歳



### 【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(42.2%)の割合が最も高く4割強となった。次いで「お金の使い方」(11.3%)、「安心・安全な商品の選び方」と「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(いずれも11.0%)の順に割合が高かった。

### 【属性別結果】(次ページ図3-7-6参照)

#### ① 地区別

すべての区で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高かった。

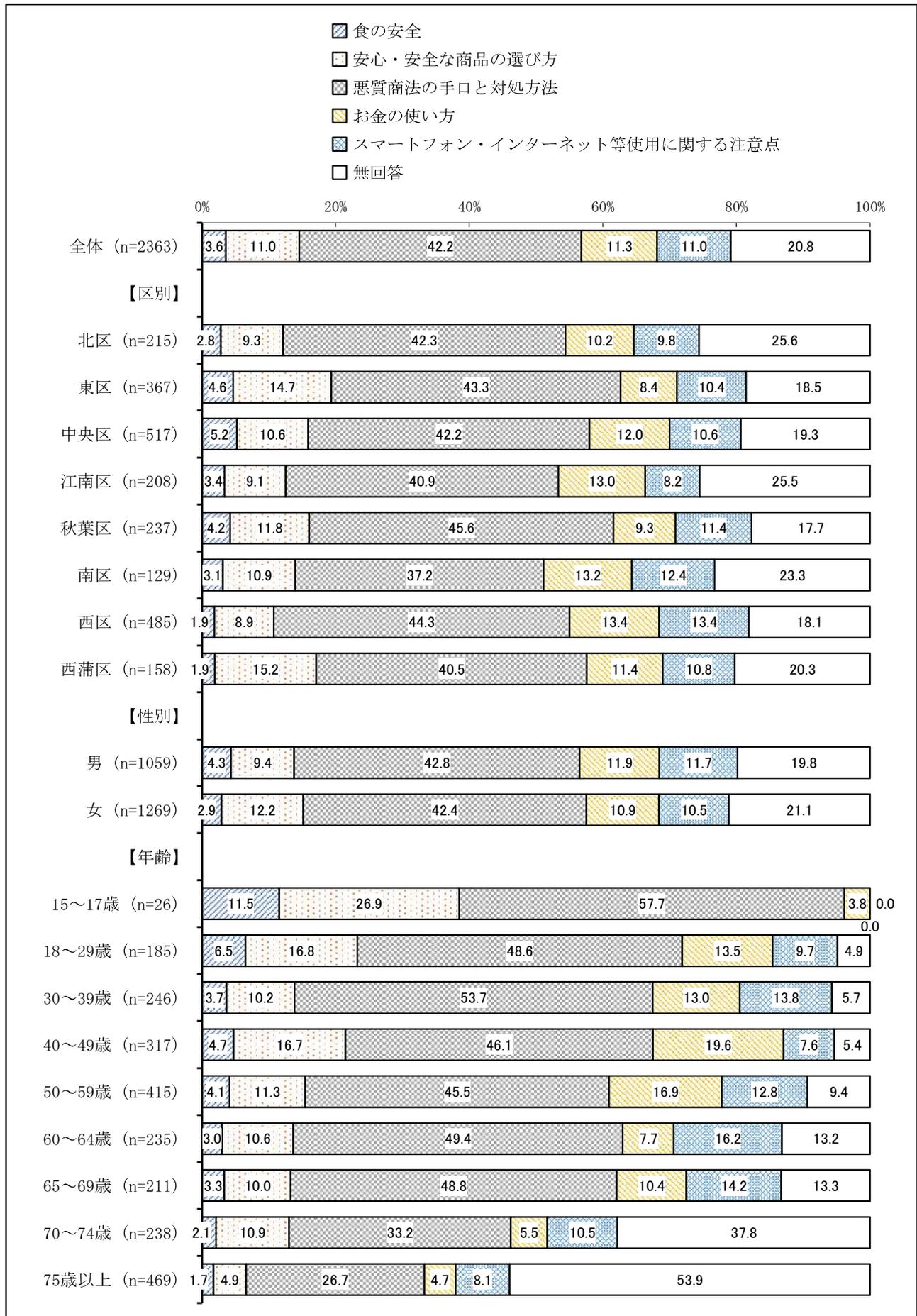
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

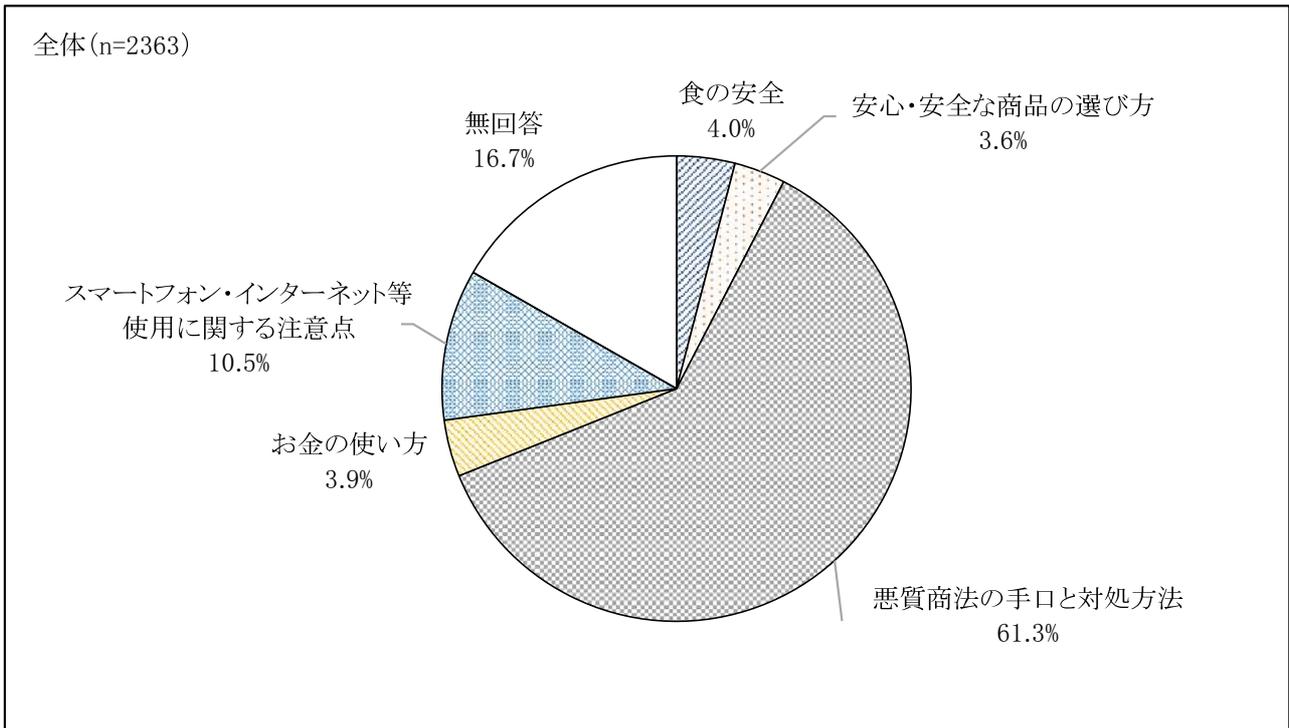
#### ③ 年齢別

すべての年齢で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高かった。

図 3-7-6 必要な消費者教育（年代別）⑥40歳～69歳（地区別/性別/年齢別）



⑦70 歳～



【全体結果】

「悪質商法の手口と対処方法」(61.3%)の割合が最も高く約6割となった。次に「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」(10.5%)の割合が高く、他は1割未満となった。

【属性別結果】(次ページ図3-7-7参照)

① 地区別

すべての区で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高かった。

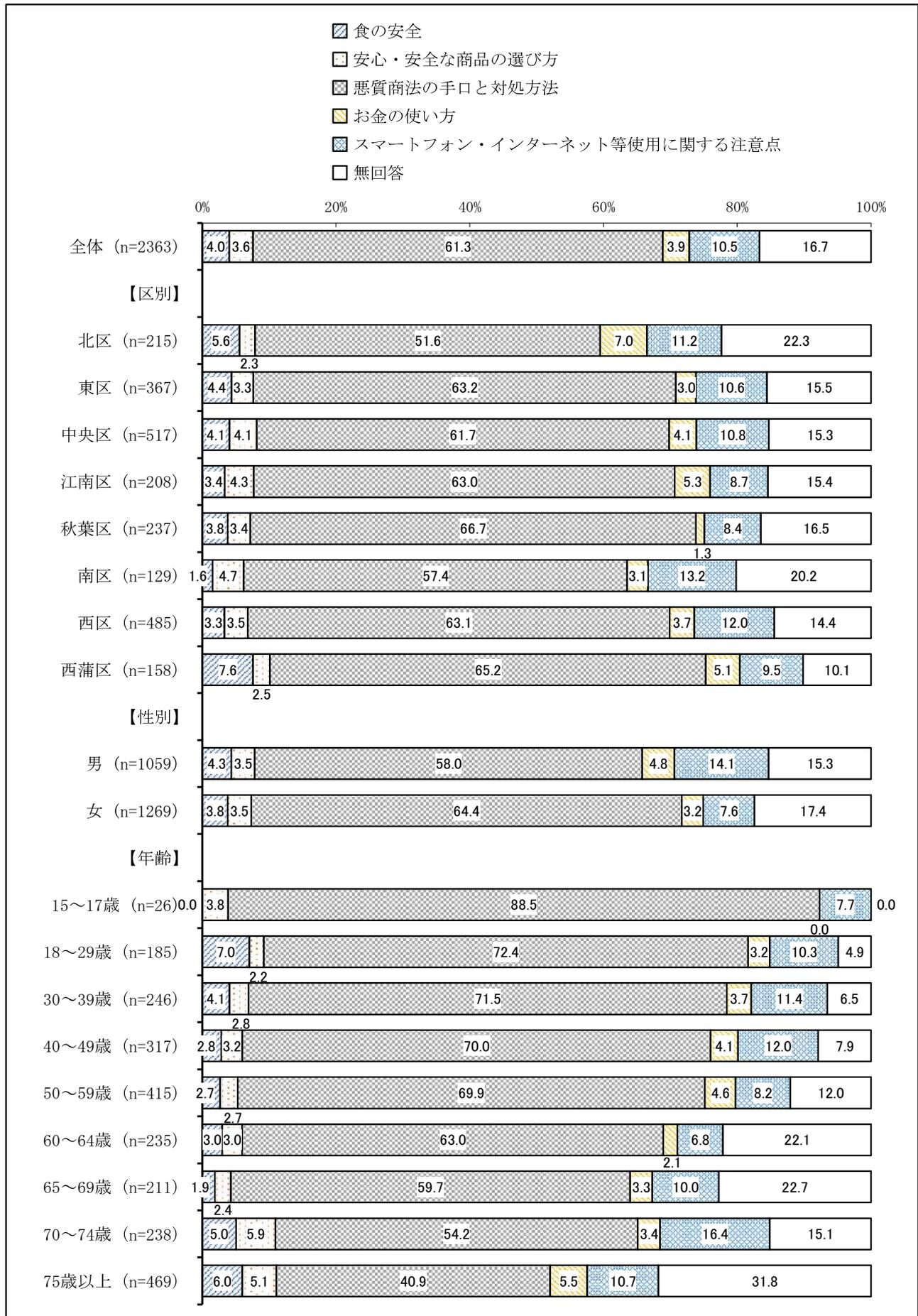
② 性別

「悪質商法の手口と対処方法」の割合は、男性(58.0%)と比較して女性(64.4%)で高く、「スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点」の割合は女性(7.6%)と比較して男性(14.1%)で高かった。

③ 年齢別

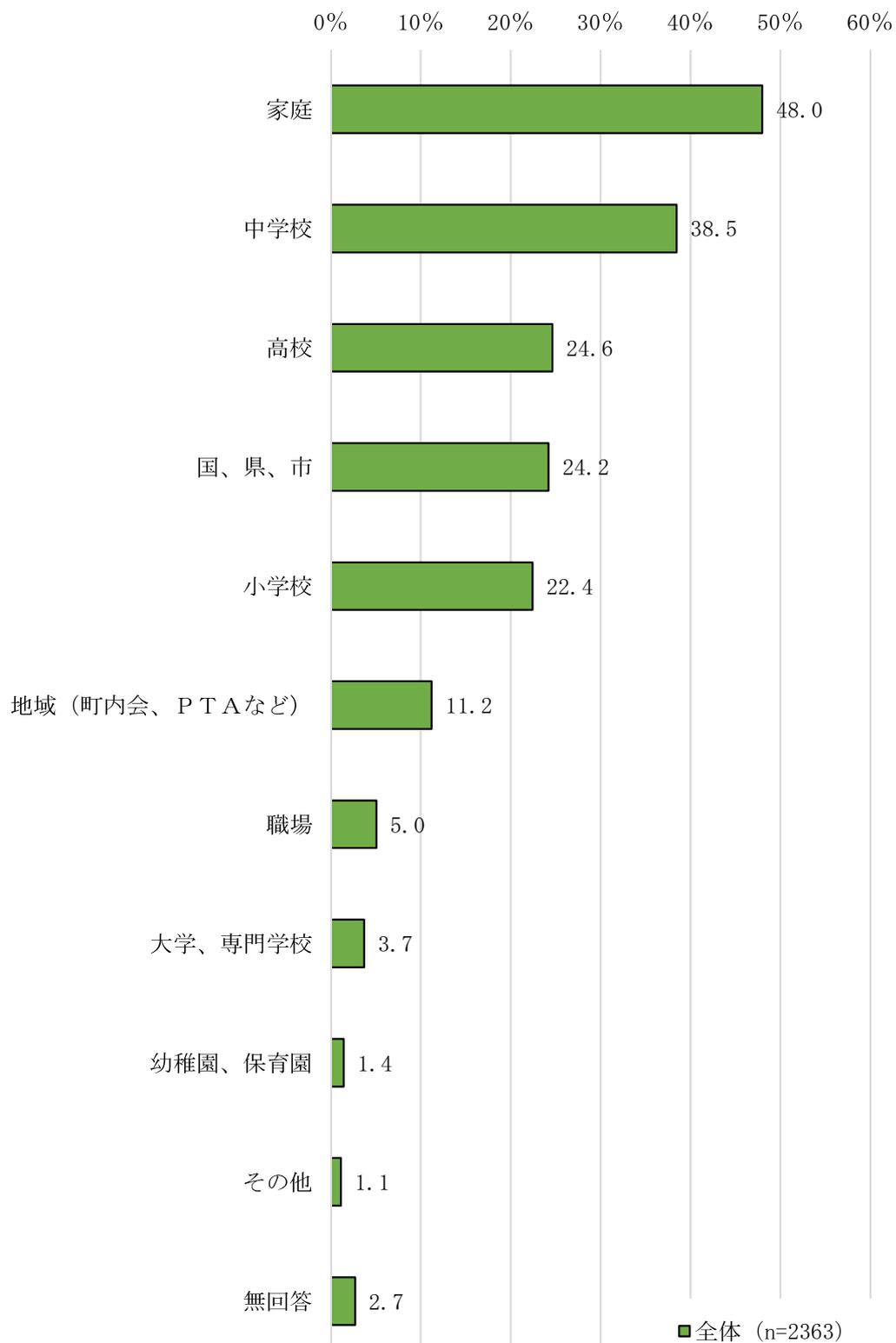
すべての年齢で「悪質商法の手口と対処方法」の割合が最も高かった。

図 3-7-7 必要な消費者教育（年代別）⑦70歳～（地区別/性別/年齢別）



## (8) 消費者教育を行う上で重要な場

問 18 あなたが消費者教育を行う場として重要だと思うものはどれですか。(〇は2つまで)



## — 「家庭」が5割弱でトップ —

### 【全体結果】

「家庭」(48.0%)の割合が5割弱で最も高かった。次いで、「中学校」(38.5%)、「高校」(24.6%)、「国、県、市」(24.2%)、「小学校」(22.4%)、「地域(町内会、PTAなど)」(11.2%)の順に続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図3-8参照)

#### ① 地区別

南区以外のすべての区で「家庭」の割合が最も高く、「中学校」の割合が次に高い。南区は「家庭」と「中学校」が同率(46.5%)だった。

#### ② 性別

「家庭」(男性:45.7%、女性:50.3%)と「地域(町内会、PTAなど)」(男性:9.4%、女性:12.7%)の割合は男性と比較して女性で高く、「中学校」と答えた割合は、女性(35.7%)と比較して男性(41.9%)で高い。

#### ③ 年齢別

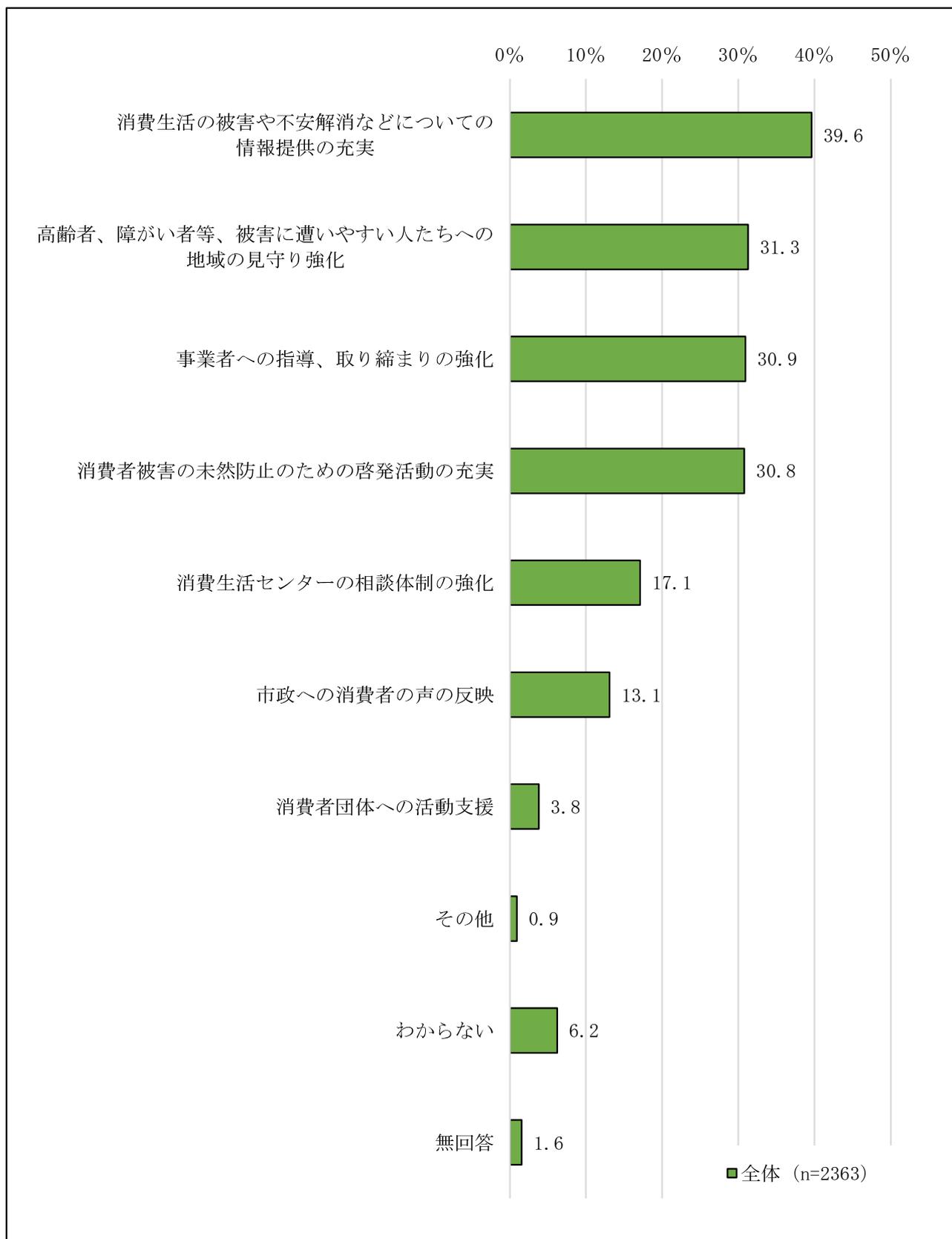
50歳以上では、「家庭」の割合が最も高く、49歳以下では「中学校」と答えた割合が最も高い。家庭は年齢が高いほど、「中学校」と「高校」は、年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられた。

図 3-8 消費者教育を行う上で重要な場（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	家庭	中学校	高校	国、 県、 市	小学 校	ど 地 域 ( 町 内 会 、 P T A な	職 場	大 学 、 専 門 学 校	幼 稚 園 、 保 育 園	そ の 他	無 回 答
全体 (n=2363)	48.0	38.5	24.6	24.2	22.4	11.2	5.0	3.7	1.4	1.1	2.7
<b>【区別】</b>											
北区 (n=215)	44.2	35.8	25.1	25.6	20.5	12.6	7.4	2.3	1.4	0.9	4.2
東区 (n=367)	48.2	38.1	22.1	25.1	21.8	11.2	4.6	3.8	1.4	2.2	2.5
中央区 (n=517)	48.4	38.7	27.9	21.7	19.9	10.6	7.5	4.8	1.2	0.8	2.1
江南区 (n=208)	50.0	38.5	27.4	26.9	24.0	13.0	3.4	3.4	1.4	0.5	1.4
秋葉区 (n=237)	44.7	34.2	22.4	30.4	25.3	9.3	6.3	5.1	2.1	0.8	3.0
南区 (n=129)	46.5	46.5	15.5	27.9	27.1	10.1	3.9	3.1	0.0	0.8	1.6
西区 (n=485)	50.7	41.4	27.4	21.4	23.7	12.4	3.3	2.7	1.4	0.8	1.0
西蒲区 (n=158)	49.4	36.7	22.2	20.9	20.3	10.1	1.3	3.2	2.5	1.9	4.4
<b>【性別】</b>											
男 (n=1059)	45.7	41.9	25.6	23.4	22.6	9.4	6.3	3.3	1.9	1.7	1.8
女 (n=1269)	50.3	35.7	24.0	24.6	22.2	12.7	4.1	3.9	0.9	0.6	3.3
<b>【年齢】</b>											
15～17歳 (n=26)	34.6	61.5	42.3	3.8	30.8	0.0	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0
18～29歳 (n=185)	32.4	48.1	44.3	15.7	22.7	6.5	6.5	7.0	1.6	0.0	0.5
30～39歳 (n=246)	45.5	47.2	33.7	14.6	30.9	3.7	3.7	6.9	3.3	1.2	0.8
40～49歳 (n=317)	37.9	47.6	29.0	21.8	29.3	8.2	4.7	4.1	1.3	0.6	2.8
50～59歳 (n=415)	49.6	43.4	28.9	21.7	25.1	6.3	6.0	2.4	1.0	1.9	0.5
60～64歳 (n=235)	48.9	40.0	23.4	23.4	23.8	12.8	6.0	3.0	1.7	1.7	1.3
65～69歳 (n=211)	57.8	34.1	20.9	29.9	16.1	17.5	4.7	1.9	0.0	0.5	1.4
70～74歳 (n=238)	53.8	24.8	11.8	33.6	20.6	18.9	3.8	2.5	0.8	0.4	2.9
75歳以上 (n=469)	54.2	26.4	13.9	30.1	13.4	16.8	4.7	3.2	1.7	1.3	7.2

## (9) 市に期待する消費生活の取り組み

問 19 あなたは、消費生活の安定や向上のために、市にどのような取り組みを期待していますか。  
(〇は2つまで)



### 【全体結果】

「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」(39.6%)の割合が約4割で最も高かった。次いで、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」(31.3%)、「事業者への指導、取り締まりの強化」(30.9%)、「消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実」(30.8%)が、いずれも約3割で続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図3-9参照)

#### ① 地区別

いずれの区でも「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実」の割合が最も高かった。次に割合が高かったのは、北区(35.3%)、東区(34.3%)、西区(30.5%)、西蒲区(34.2%)では、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」、中央区(34.4%)、秋葉区(33.8%)、南区(30.2%)では、「事業者への指導、取り締まりの強化」、江南区(37.5%)では、「消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実」となった。

#### ② 性別

「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」の割合は、男性(28.0%)と比較して女性(33.9%)で、「事業者への指導、取り締まりの強化」の割合は、女性(28.9%)より男性(33.4%)で高かった。

#### ③ 年齢別

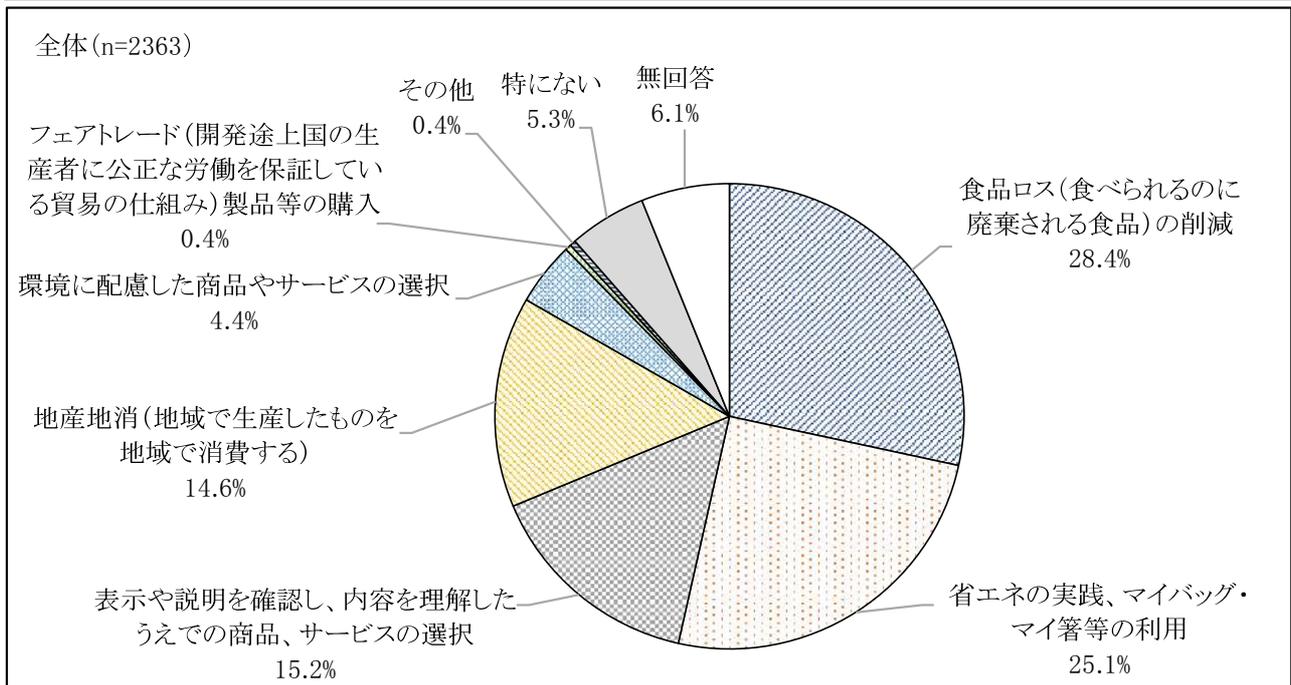
74歳以下では「消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充」の割合が最も高かった。75歳以上では、「高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化」(42.6%)の割合が最も高かった。

図 3-9 市に期待する消費生活の取り組み（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	て消費生活の情報提供の充実	い高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化	事業者への指導、取り締まりの強化	動消費者被害の未然防止のための啓発活動	消費生活センターの相談体制の強化	市政への消費者の声の反映	消費者団体への活動支援	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	39.6	31.3	30.9	30.8	17.1	13.1	3.8	0.9	6.2	1.6
<b>【区別】</b>										
北区 (n=215)	43.3	35.3	27.9	25.1	17.2	12.1	3.7	0.5	5.6	3.3
東区 (n=367)	38.7	34.3	30.8	33.2	14.2	13.6	3.3	1.6	7.1	1.4
中央区 (n=517)	37.5	30.0	34.4	34.2	17.4	13.0	3.7	0.8	5.2	0.4
江南区 (n=208)	38.0	32.2	30.8	37.5	15.4	11.5	4.3	0.0	5.8	1.9
秋葉区 (n=237)	43.5	27.0	33.8	28.7	19.0	12.2	3.8	0.4	6.8	1.3
南区 (n=129)	48.8	26.4	30.2	24.0	17.1	10.1	3.9	0.8	6.2	0.8
西区 (n=485)	39.4	30.5	28.5	29.1	20.6	14.2	4.1	1.6	5.8	0.8
西蒲区 (n=158)	38.6	34.2	28.5	29.7	13.3	14.6	4.4	0.6	9.5	0.6
<b>【性別】</b>										
男 (n=1059)	39.8	28.0	33.4	32.2	16.8	13.4	4.1	1.6	5.5	1.0
女 (n=1269)	39.4	33.9	28.9	29.7	17.2	12.8	3.6	0.4	6.9	1.8
<b>【年齢】</b>										
15～17歳 (n=26)	50.0	30.8	19.2	23.1	15.4	11.5	3.8	0.0	11.5	0.0
18～29歳 (n=185)	33.0	28.1	29.2	27.0	14.6	17.3	4.3	0.0	11.9	0.0
30～39歳 (n=246)	36.6	25.6	30.1	29.7	16.7	18.3	2.0	1.6	9.8	0.8
40～49歳 (n=317)	38.5	21.5	32.5	29.7	22.4	16.4	4.7	0.9	6.6	0.3
50～59歳 (n=415)	40.0	32.3	32.5	30.6	16.1	13.5	2.2	1.9	6.5	1.0
60～64歳 (n=235)	45.5	28.1	33.6	34.0	17.4	12.3	3.4	1.3	3.0	1.7
65～69歳 (n=211)	41.2	33.2	30.8	37.0	19.0	12.8	5.2	0.0	2.4	1.4
70～74歳 (n=238)	41.2	29.8	31.1	35.7	17.2	9.2	4.6	0.4	6.7	1.7
75歳以上 (n=469)	39.2	42.6	29.2	27.7	14.1	8.3	4.7	0.6	4.5	3.4

## (10) 最も心がけている消費行動

問 20 あなたが、今、最も心がけている消費行動を教えてください。(〇は1つだけ)



— 「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」が3割弱でトップ —

### 【全体結果】

「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」(28.4%)の割合が最も高く、次いで、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」(25.1%)、「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」(15.2%)、「地産地消(地域で生産したものを地域で消費する)」(14.6%)の順に続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図 3-10 参照)

#### ① 地区別

江南区と西蒲区以外は、「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」の割合が最も高かった。江南区と西蒲区では「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」の割合が最も高かった。

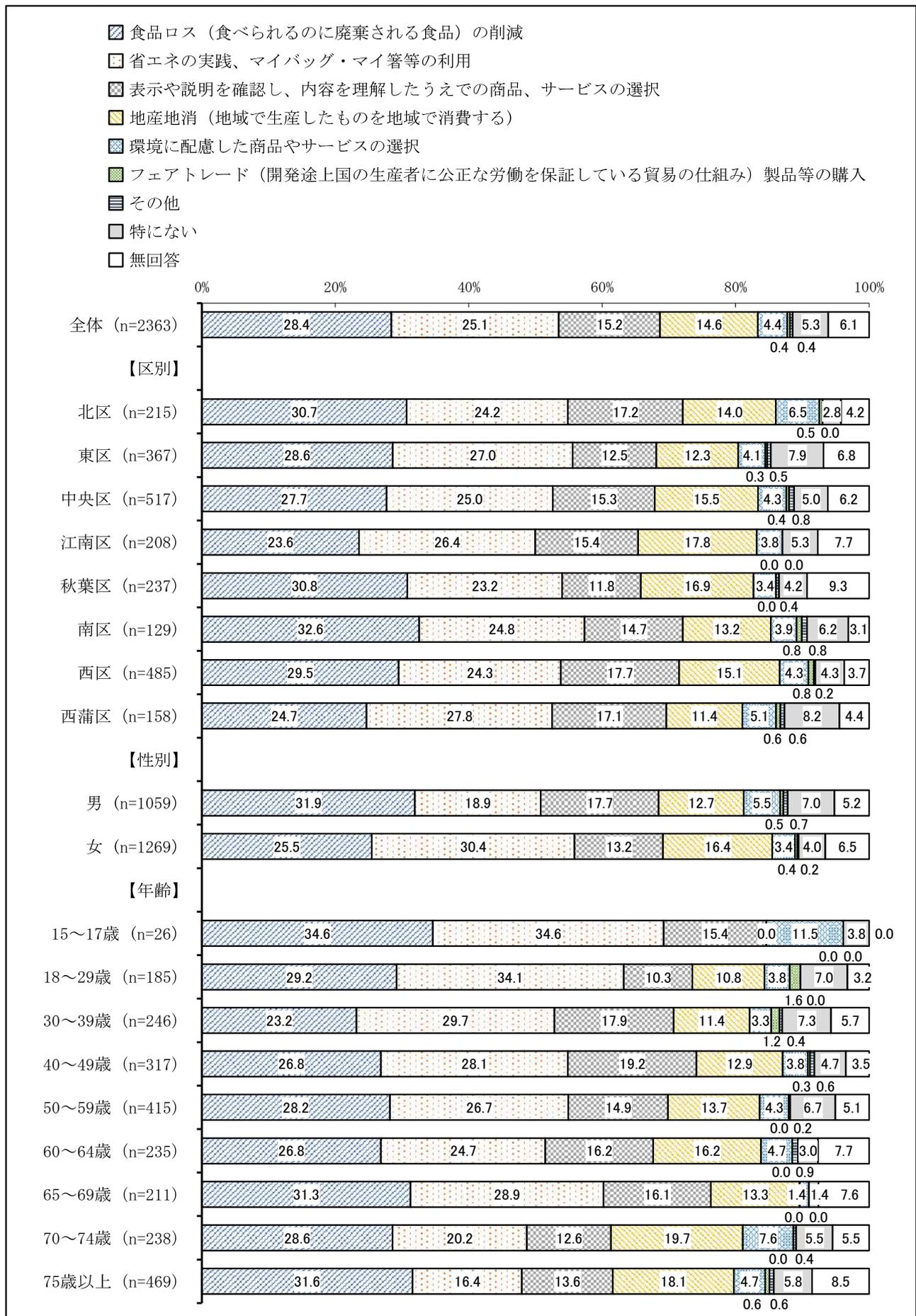
#### ② 性別

「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」の割合は女性(25.5%)と比較して男性(31.9%)で、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」の割合は男性(18.9%)と比較して女性(30.4%)で高かった。

#### ③ 年齢別

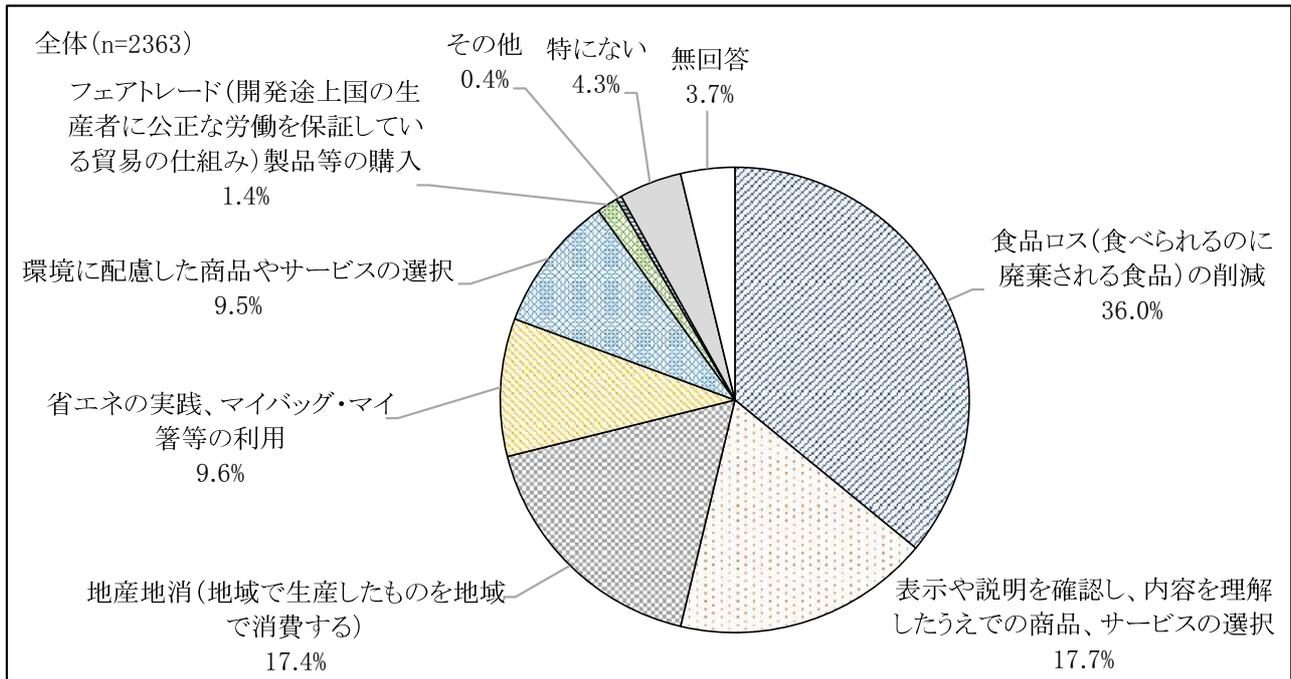
50歳以上では「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」の割合が最も高く、49歳以下では「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」の割合が最も高かった(15~17歳は同率)。

図 3-10 最も心がけている消費行動（地区別/性別/年齢別）



## (11) 今後、最も心がけたい消費行動

問 21 あなたが、今後、最も 心がけたい消費行動を教えてください。(○は1つだけ)



— 「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」が3割半ばでトップ —

### 【全体結果】

「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」（36.0%）の割合が最も高く、次いで、「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」（17.7%）、「地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）」（17.4%）、「省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用」（9.6%）の順に続いた。

### 【属性別結果】（次ページ図 3-11 参照）

#### ① 地区別

すべての区で「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」の割合が最も高かった。北区では、「地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）」（24.2%）の割合が他の区と比較して高かった。

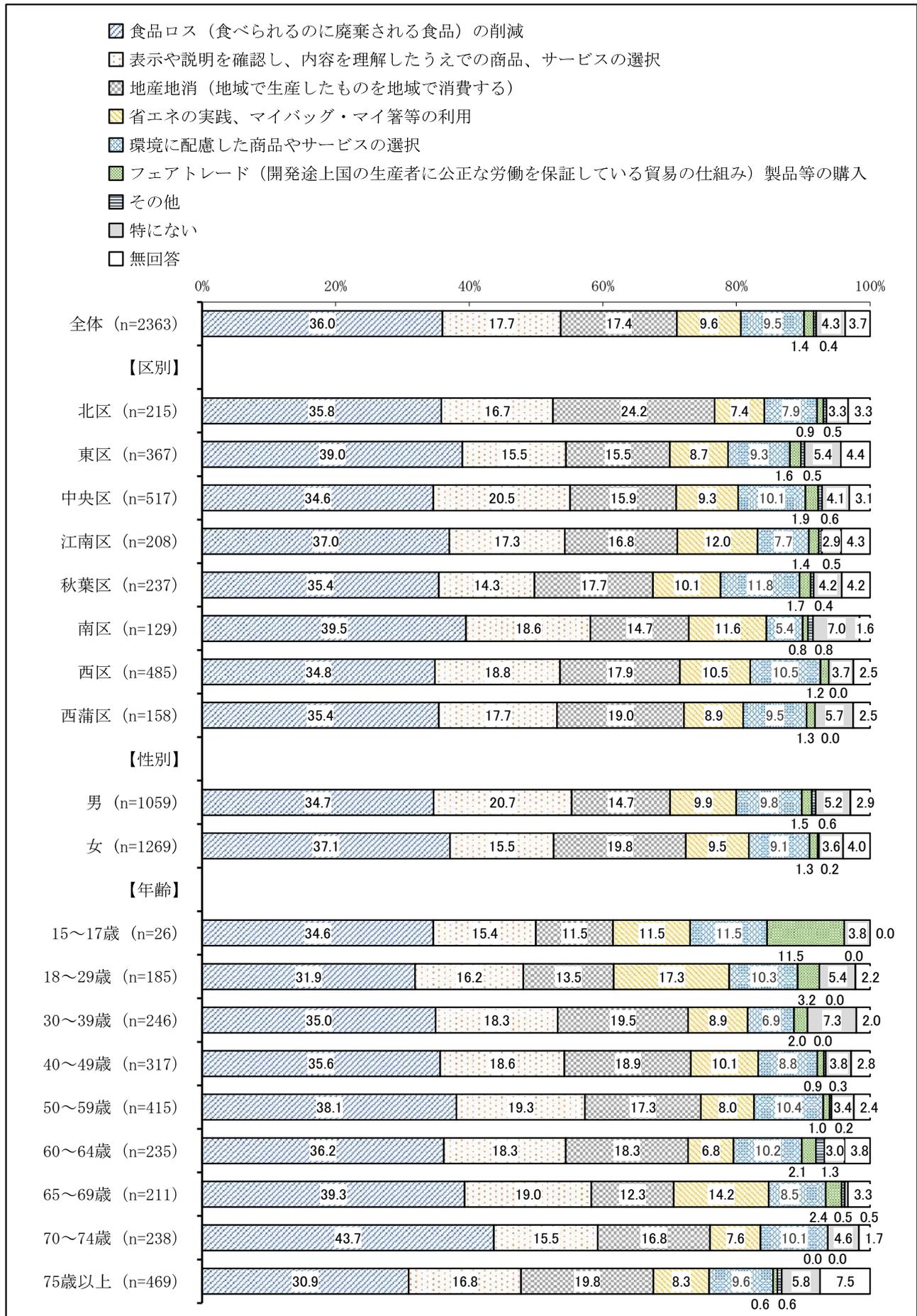
#### ② 性別

「表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択」の割合は女性（15.5%）と比較して男性（20.7%）で、「地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）」の割合は男性（14.7%）と比較して女性（19.8%）で高かった。

#### ③ 年齢別

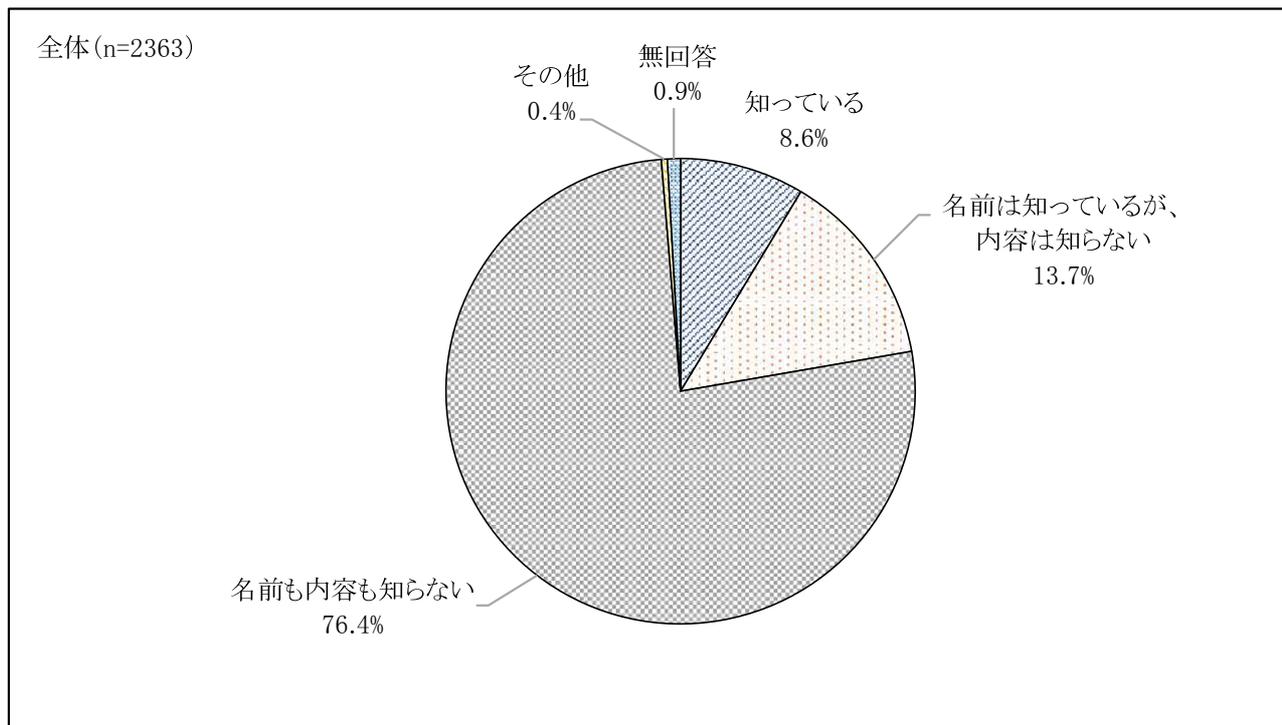
すべての年齢で「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」の割合が最も高かった。

図 3-11 今後、最も心がけたい消費行動（地区別/性別/年齢別）



## (12) エシカル消費の認知度

問 22 あなたは「エシカル消費」を知っていますか。(○は1つだけ)



— 『名前』は2割強、『内容』は1割弱が知っている —

### 【全体結果】

「知っている」(8.6%)の割合は1割に満たなかった。「知っている」と「名前を知っているが、内容は知らない」を合わせた『名前を知っている』(22.3%)は、2割強となった。

### 【属性別結果】(次ページ図 3-12 参照)

#### ① 地区別

「知っている」の割合は、西蒲区(11.4%)、中央区(10.8%)、秋葉区(10.1%)の順に高く1割以上となった。最も低いのは北区で3.7%に留まった。

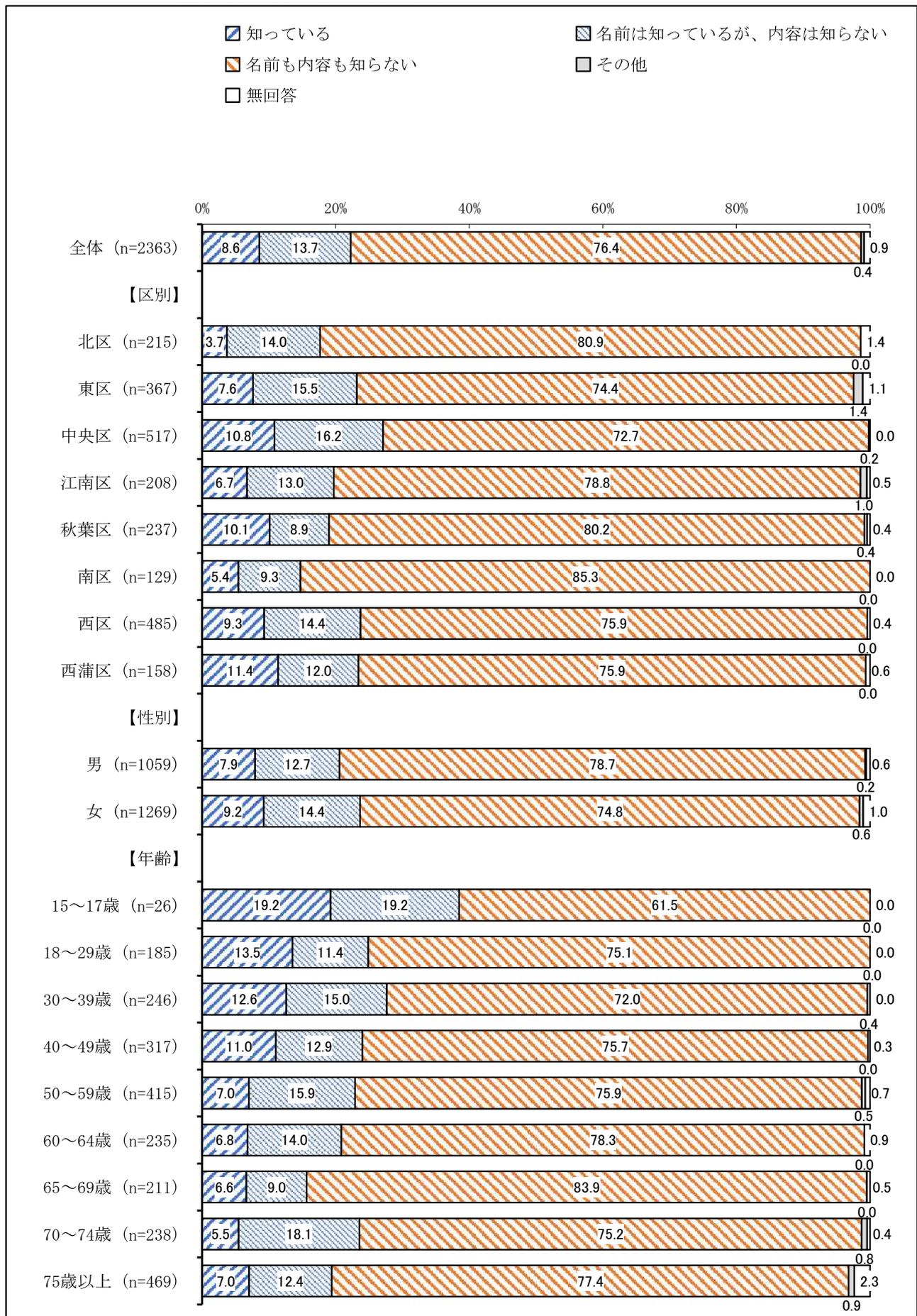
#### ② 性別

性別での大きな差はみられなかった。

#### ③ 年齢別

「知っている」の割合は、年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられた。

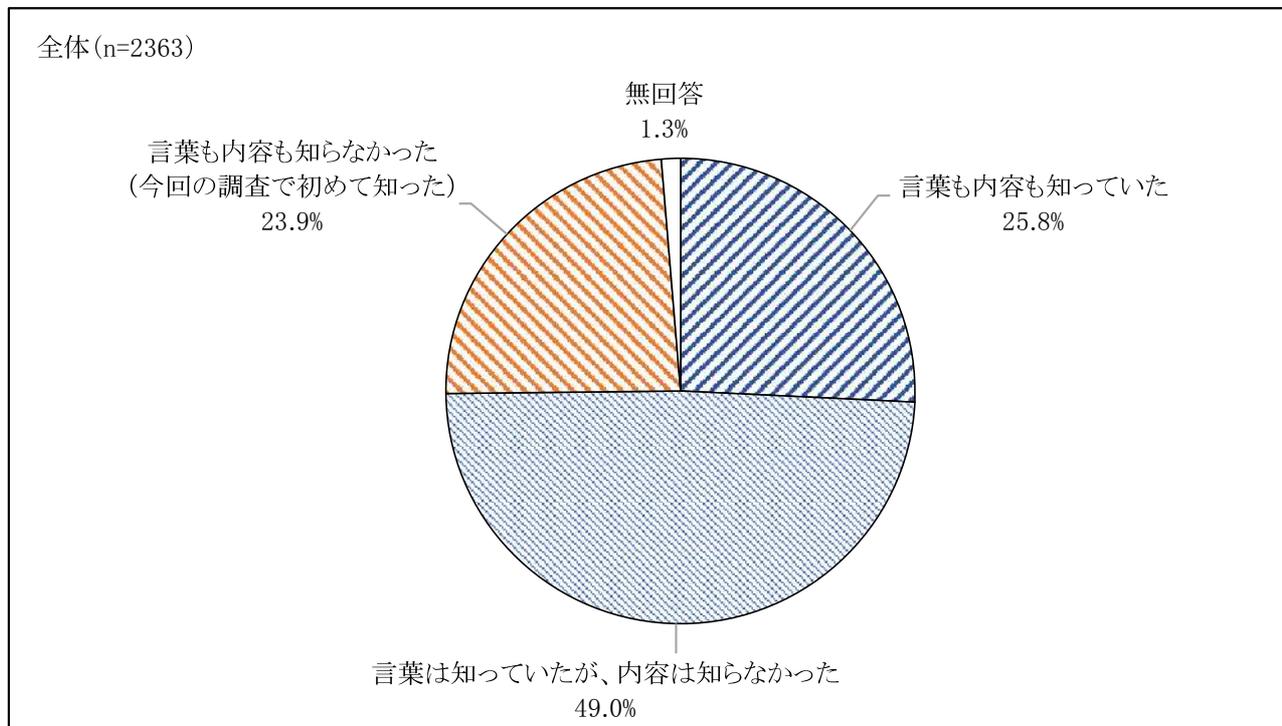
図 3-12 エシカル消費の認知度（地区別/性別/年齢別）



## 4. ラムサール条約湿地都市認証について

### (1) ラムサール条約の認知度

問 23 「ラムサール条約」という言葉やその内容を知っていますか。(〇は1つだけ)



— 『名前』は7割半ば、『内容』は2割半ばが知っていた —

#### 【全体結果】

「言葉も内容も知っていた」(25.8%)の割合は2割半ばとなった。「言葉も内容も知っていた」と「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」を合わせた『言葉は知っている』(74.8%)は、7割半ばとなった。

#### 【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

##### ① 地区別

「言葉も内容も知っていた」の割合は、西区(31.5%)で最も高かった。最も低かったのは南区(17.1%)で差がみられた。

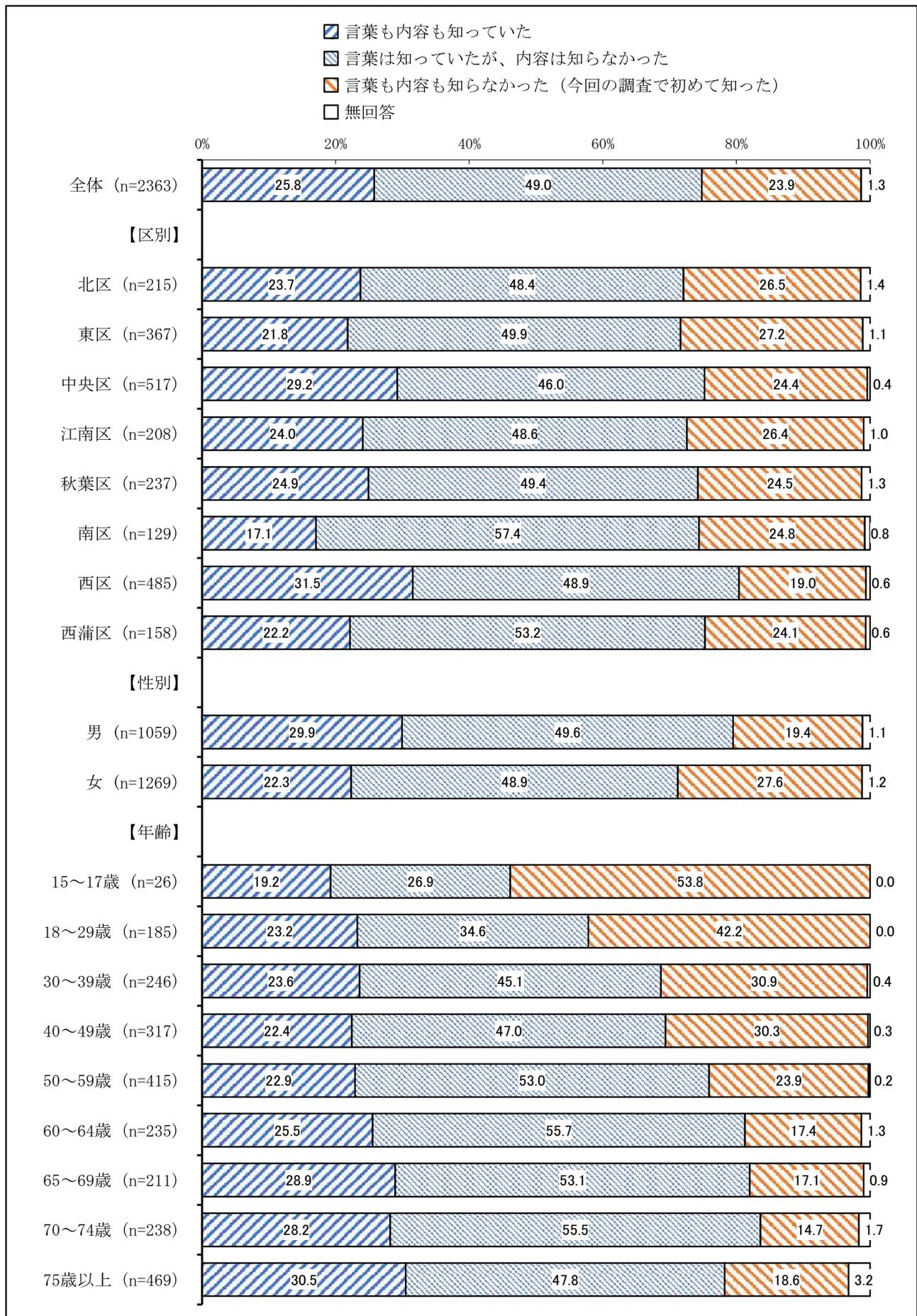
##### ② 性別

「言葉も内容も知っていた」の割合は、女性(22.3%)と比較して男性(29.9%)で高かった。

##### ③ 年齢別

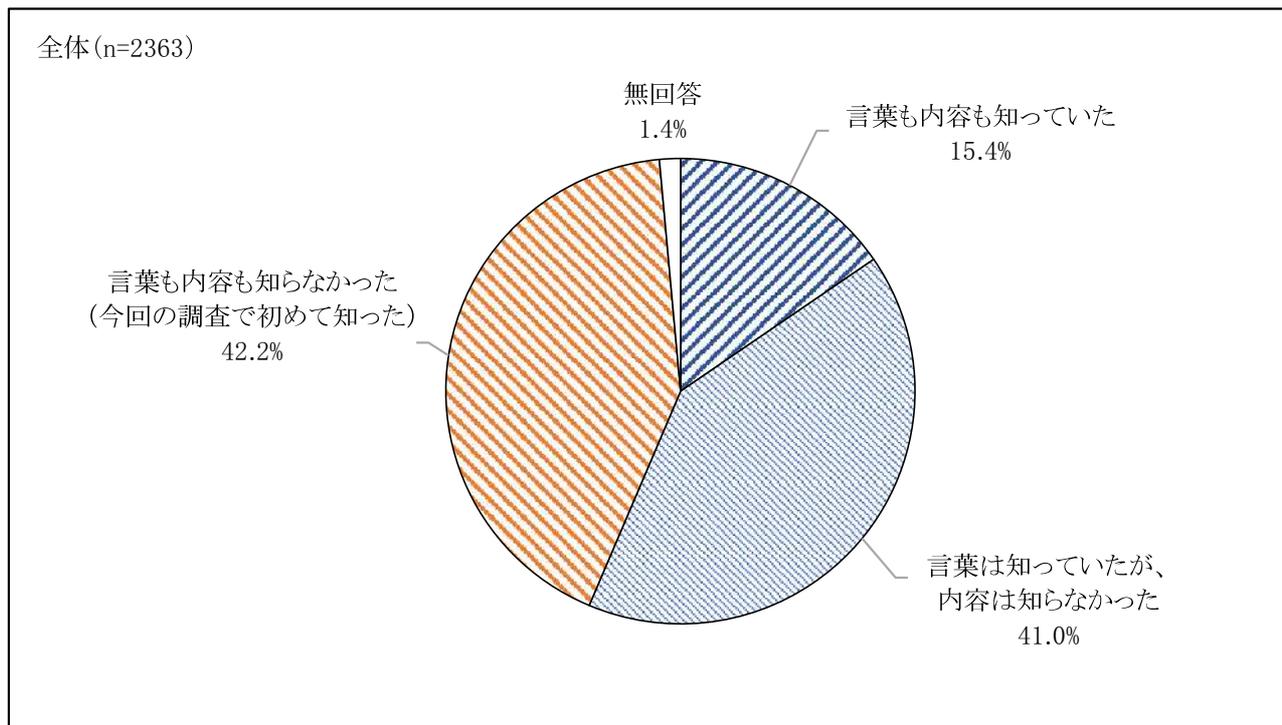
「言葉も内容も知っていた」の割合は、年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられた。

図 4-1 ラムサール条約の認知度（地区別/性別/年齢別）



## (2) ラムサール条約湿地都市認証の認知度

問 24 新潟市は2022（令和4）年11月に、国内初の「ラムサール条約湿地都市認証（当時は「ラムサール条約湿地自治体認証）」を受けたことを知っていますか。（○は1つだけ）



— 『名前』は5割半ば、『内容』は1割半ばが知っていた —

### 【全体結果】

「言葉も内容も知っていた」（15.4％）の割合は1割半ばとなった。「言葉も内容も知っていた」と「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」を合わせた『言葉は知っていた』（56.4％）は、5割半ばとなった。

### 【属性別結果】（次ページ図4-2参照）

#### ① 地区別

「言葉も内容も知っていた」の割合は、西区（21.0％）で最も高かった。最も低かったのは南区（11.6％）で差がみられた。

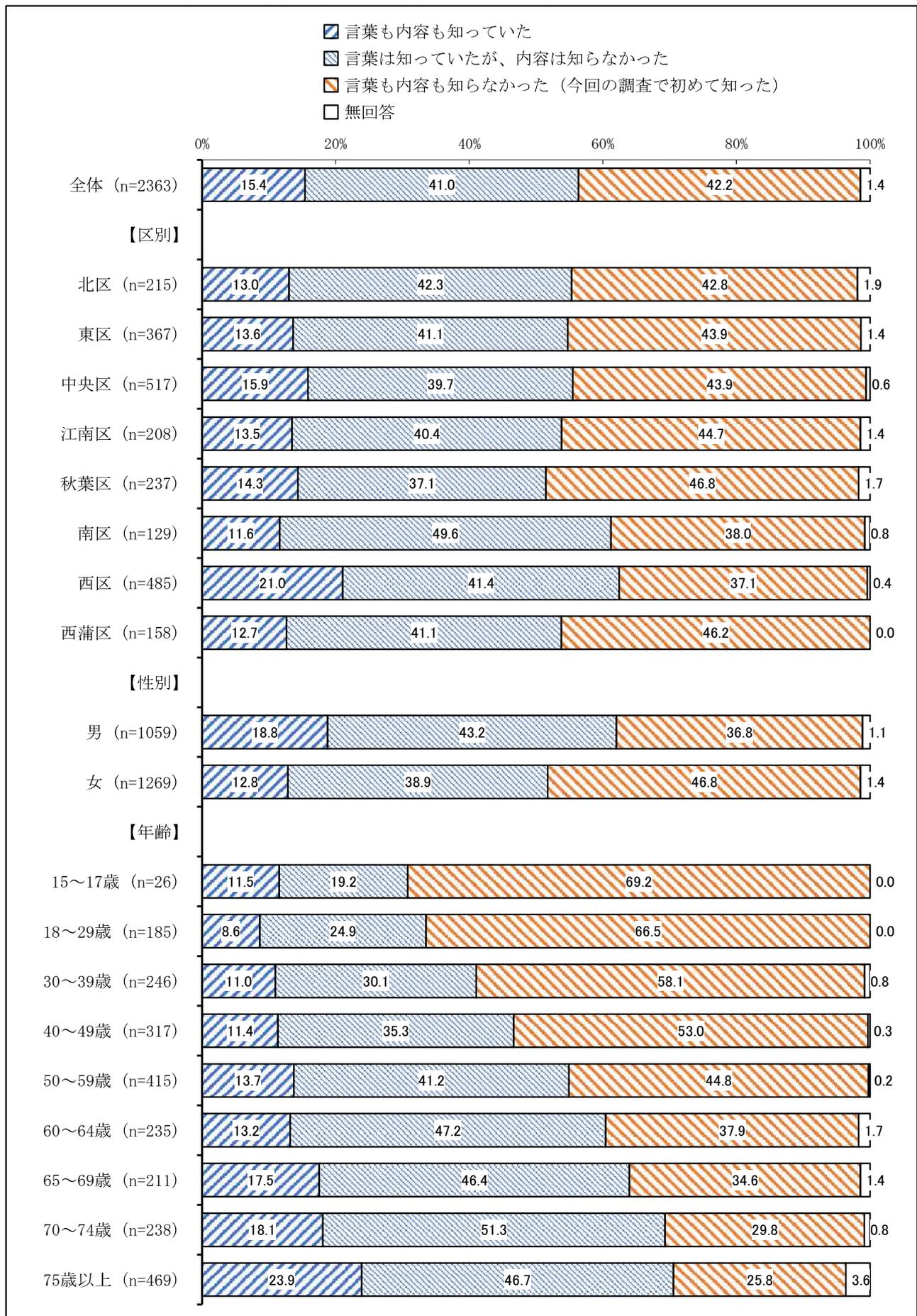
#### ② 性別

「言葉も内容も知っていた」の割合は、女性（12.8％）と比較して男性（18.8％）が高かった。

#### ③ 年齢別

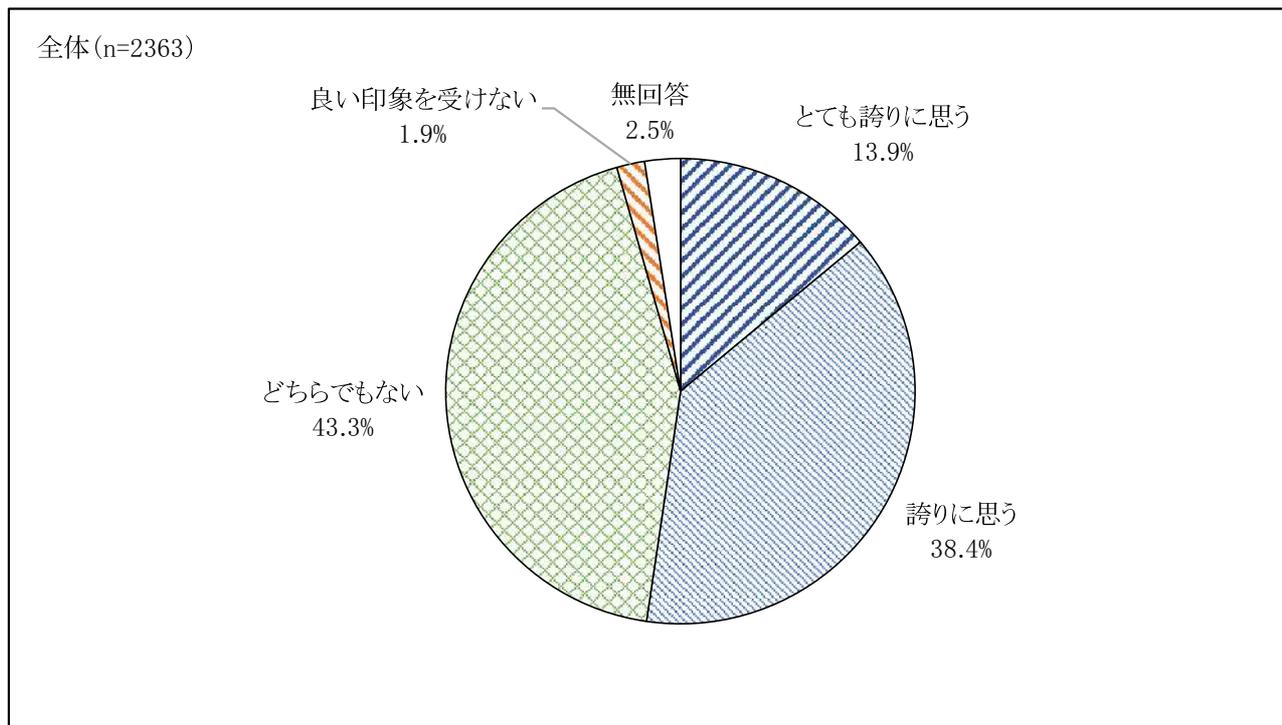
「言葉も内容も知っていた」の割合は、年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられた。

図 4-2 ラムサール条約湿地都市認証の認知度（地区別/性別/年齢別）



### (3) ラムサール条約湿地都市認証を受けたことへの感想

問 25 新潟市が国内初の「ラムサール条約湿地都市認証」を受けたことについて、どう思いますか。  
(○は1つだけ)



— 『誇りに思う』は5割強 —

#### 【全体結果】

「とても誇りに思う」と「誇りに思う」を合わせた『誇りに思う』(52.3%)は5割強となった。「どちらでもない」は43.3%、「良い印象を受けない」は1.9%となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図4-3参照)

##### ① 地区別

『誇りに思う』の割合は、西区(56.9%)で最も高かった。最も低いのは南区(42.6%)で差がみられた。

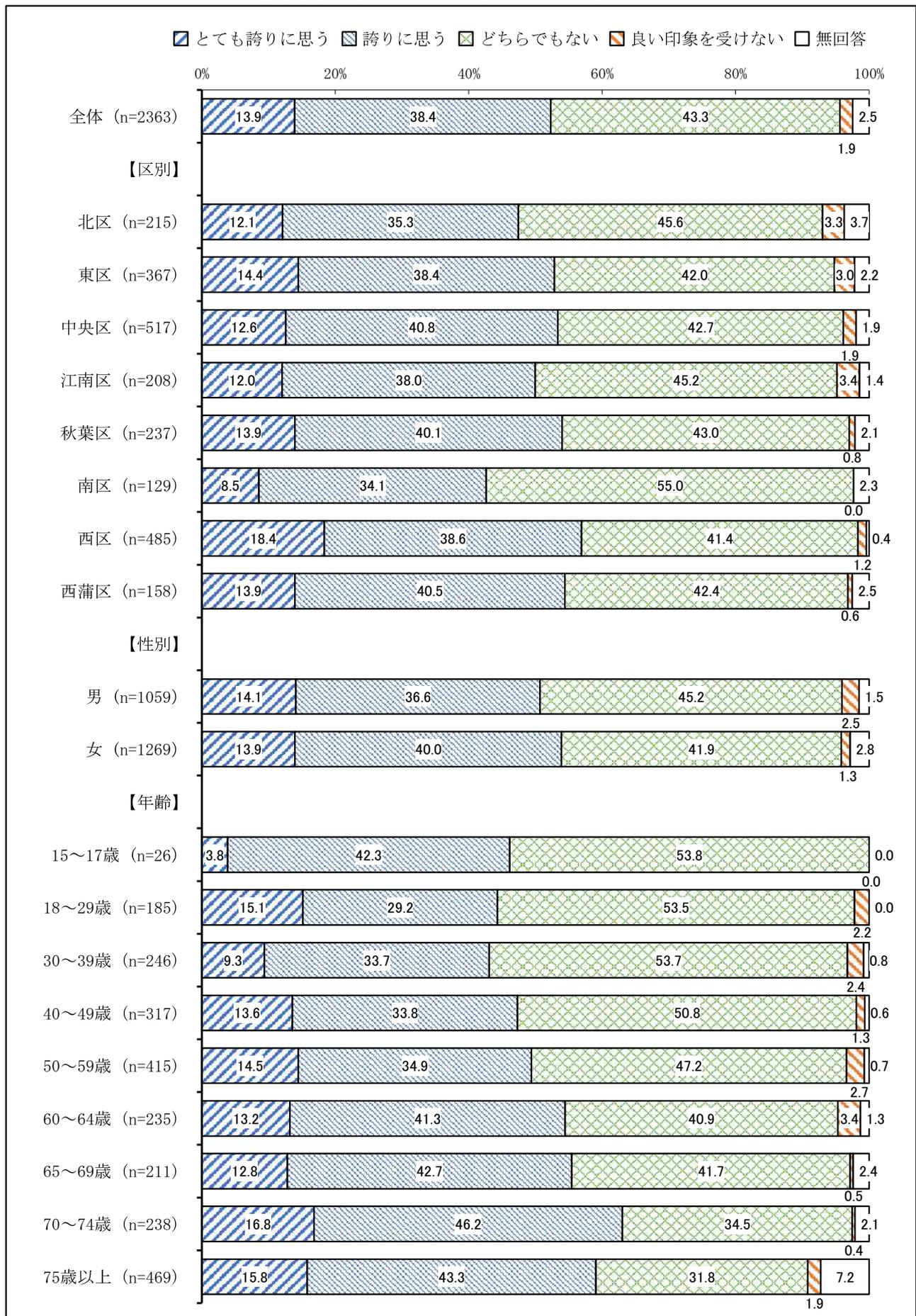
##### ② 性別

『誇りに思う』の割合は、男性(50.7%)と比較して女性(53.9%)で高かった。

##### ③ 年齢別

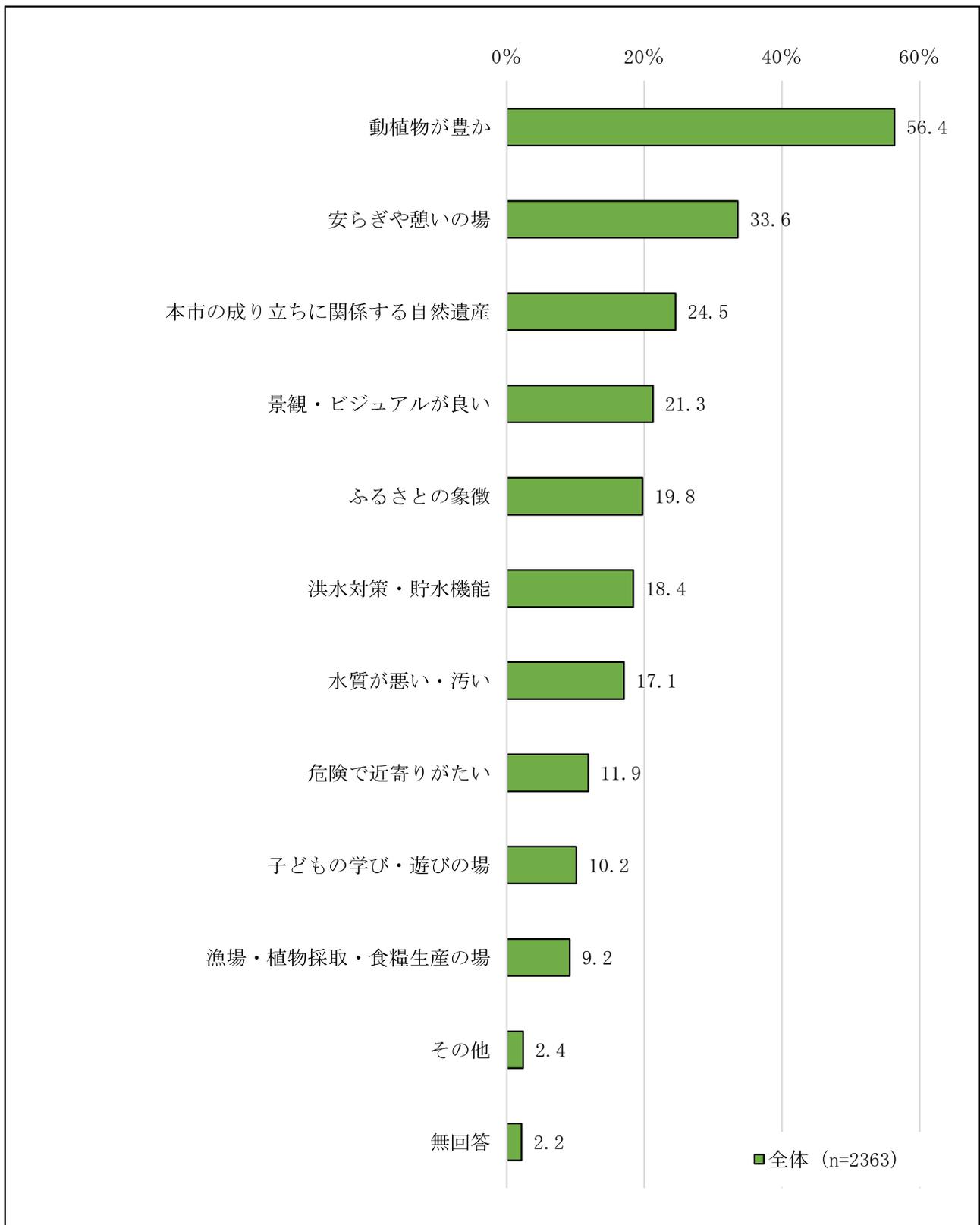
『誇りに思う』の割合は、60歳以上では5割以上となっているが、59歳以下では4割台となった。

図 4-3 ラムサール条約湿地都市認証を受けたことの感想（地区別/性別/年齢別）



#### (4) 潟や湿地のイメージ

問 26 「潟や湿地」という言葉を聞いて思い浮かぶイメージはどれですか。(〇は3つまで)



## — 「動植物が豊か」が5割半ばトップ —

### 【全体結果】

「動植物が豊か」(56.4%)が最も割合が高く、5割半ばとなった。次いで、「安らぎや憩いの場」(33.6%)、「本市の成り立ちに関する自然遺産」(24.5%)、「景観・ビジュアルが良い」(21.3%)、「ふるさとの象徴」(19.8%)、「洪水対策・貯水機能」(18.4%)、「水質が悪い・汚い」(17.1%)の順で続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図4-4参照)

#### ① 地区別

すべての区で、「動植物が豊か」の割合が最も高く、次に「安らぎや憩いの場」の割合が高い。

#### ② 性別

「本市の成り立ちに関する自然遺産」(男性22.0%、女性26.2%)と「ふるさとの象徴」(男性18.3%、女性21.0%)は、男性と比較して女性で割合が高く、「景観・ビジュアルが良い」(男性:24.0%、女性:19.2%)、「水質が悪い・汚い」(男性19.9%、女性14.7%)の割合は、女性より男性で高かった。

#### ③ 年齢別

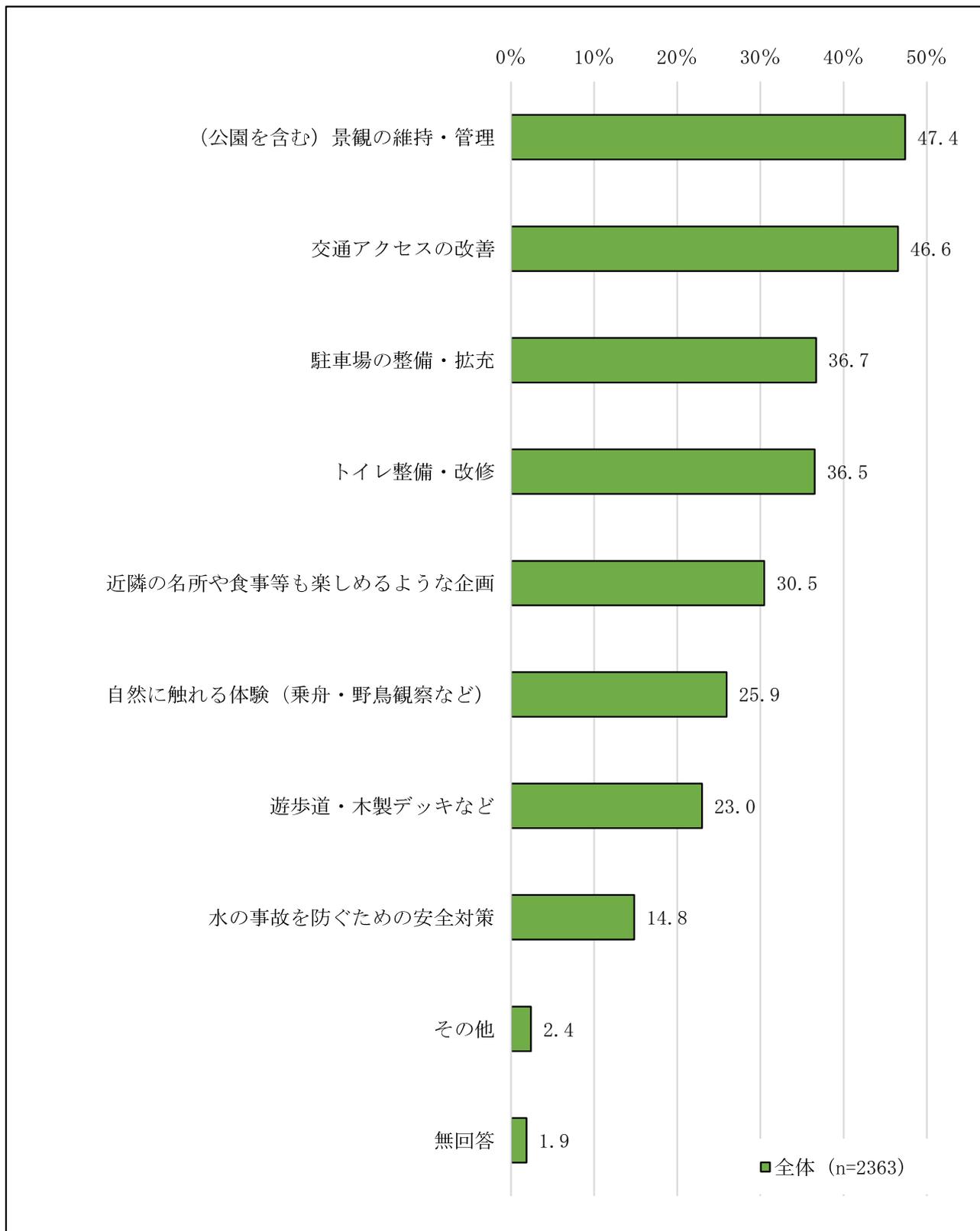
すべての年齢で、「動植物が豊か」の割合が最も高く、次に「安らぎや憩いの場」の割合が高い。

図 4-4 潟や湿地のイメージ（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	動植物が豊か	安らぎや憩いの場	本市の成り立ちに関係する自然遺産	景観・ビジュアルが良い	ふるさとの象徴	洪水対策・貯水機能	水質が悪い・汚い	危険で近寄りづらい	子どもの学び・遊びの場	漁場・植物採取・食糧生産の場	その他	無回答
全体 (n=2363)	56.4	33.6	24.5	21.3	19.8	18.4	17.1	11.9	10.2	9.2	2.4	2.2
【区別】												
北区 (n=215)	56.3	34.4	22.8	22.3	27.4	20.0	14.0	7.0	18.1	7.9	1.9	2.8
東区 (n=367)	52.3	32.4	22.6	17.7	20.2	20.7	17.7	12.8	8.2	9.0	3.0	2.2
中央区 (n=517)	60.0	29.8	24.4	20.7	15.1	18.0	19.5	13.5	9.1	9.9	2.7	1.9
江南区 (n=208)	51.4	36.5	24.0	20.7	21.2	19.7	15.4	16.3	7.7	10.1	2.9	1.4
秋葉区 (n=237)	59.9	38.4	26.6	25.7	24.5	13.5	14.8	9.3	11.0	11.0	1.7	1.7
南区 (n=129)	55.0	27.9	23.3	20.9	16.3	21.7	14.7	10.1	12.4	9.3	3.1	1.6
西区 (n=485)	58.1	37.1	27.4	22.7	19.0	15.5	19.0	12.2	9.3	7.0	2.3	0.6
西蒲区 (n=158)	56.3	34.8	22.8	23.4	21.5	22.2	11.4	8.9	10.8	12.7	1.9	1.9
【性別】												
男 (n=1059)	57.0	34.6	22.0	24.0	18.3	19.6	19.9	11.7	9.8	9.1	2.4	1.8
女 (n=1269)	55.6	32.9	26.2	19.2	21.0	17.6	14.7	12.1	10.6	9.5	2.4	2.1
【年齢】												
15～17歳 (n=26)	53.8	42.3	26.9	23.1	30.8	3.8	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8	0.0
18～29歳 (n=185)	51.9	29.2	13.0	12.4	23.8	17.8	15.7	9.2	8.6	14.1	4.3	0.5
30～39歳 (n=246)	57.7	26.8	19.1	19.1	20.3	17.5	19.1	14.6	9.3	12.2	4.5	0.8
40～49歳 (n=317)	50.2	23.7	23.3	16.4	18.3	16.7	19.2	18.0	9.8	7.3	4.4	1.3
50～59歳 (n=415)	59.0	31.6	19.5	20.5	16.9	15.9	17.6	13.5	11.3	10.8	2.7	0.7
60～64歳 (n=235)	63.0	32.3	23.0	26.4	14.0	19.1	17.4	11.9	11.9	8.5	1.7	1.3
65～69歳 (n=211)	60.2	36.0	26.1	25.1	20.4	27.0	16.1	14.2	9.0	8.1	1.4	2.4
70～74歳 (n=238)	63.9	41.2	33.6	21.0	23.9	18.9	15.1	6.3	10.1	6.3	0.4	1.3
75歳以上 (n=469)	50.5	42.6	31.6	25.6	21.7	19.0	16.0	8.3	10.2	8.3	0.9	5.5

### (5) 潟（湖沼）への来訪者を増やす・楽しむための施策

問 27 市民や観光客など多くの方から潟（湖沼）に来ていただく（楽しんでいただく）ために必要だと考える施策はどれですか。（〇は3つまで）



## — 「(公園を含む) 景観の維持・管理」と「交通アクセスの改善」が 4割台後半強で2トップ —

### 【全体結果】

「(公園を含む) 景観の維持・管理」(47.4%)の割合が最も高い。次に差がなく「交通アクセスの改善」(46.6%)が続き、次いで「駐車場の整備・拡充」(36.7%)、「トイレ整備・改修」(36.5%)、「近隣の名所や食事等も楽しめるような企画」(30.5%)、「自然に触れる体験(乗舟・野鳥観察など)」(25.9%)、「遊歩道・木製デッキなど」(23.0%)の順に続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図4-5参照)

#### ① 地区別

中央区、江南区、秋葉区、南区、西蒲区では、「(公園を含む) 景観の維持・管理」の割合が最も高い。北区、東区、西区では、「交通アクセスの改善」の割合が最も高い。

#### ② 性別

「交通アクセスの改善」(男性:44.4%、女性:48.5%)と「近隣の名所や食事等も楽しめるような企画」(男性:26.3%、女性:34.3%)の割合は男性と比較して女性で高く、「駐車場の整備・拡充」の割合は女性(34.4%)と比較して男性(39.8%)で高かった。

#### ③ 年齢別

15~17歳では「自然に触れる体験(乗舟・野鳥観察など)」(57.7%)の割合が最も高かった。18~29歳(61.6%)と30~39歳(49.2%)では、「交通アクセスの改善」の割合が最も高かった。40歳以上では、「(公園を含む) 景観の維持・管理」の割合が最も高かった。

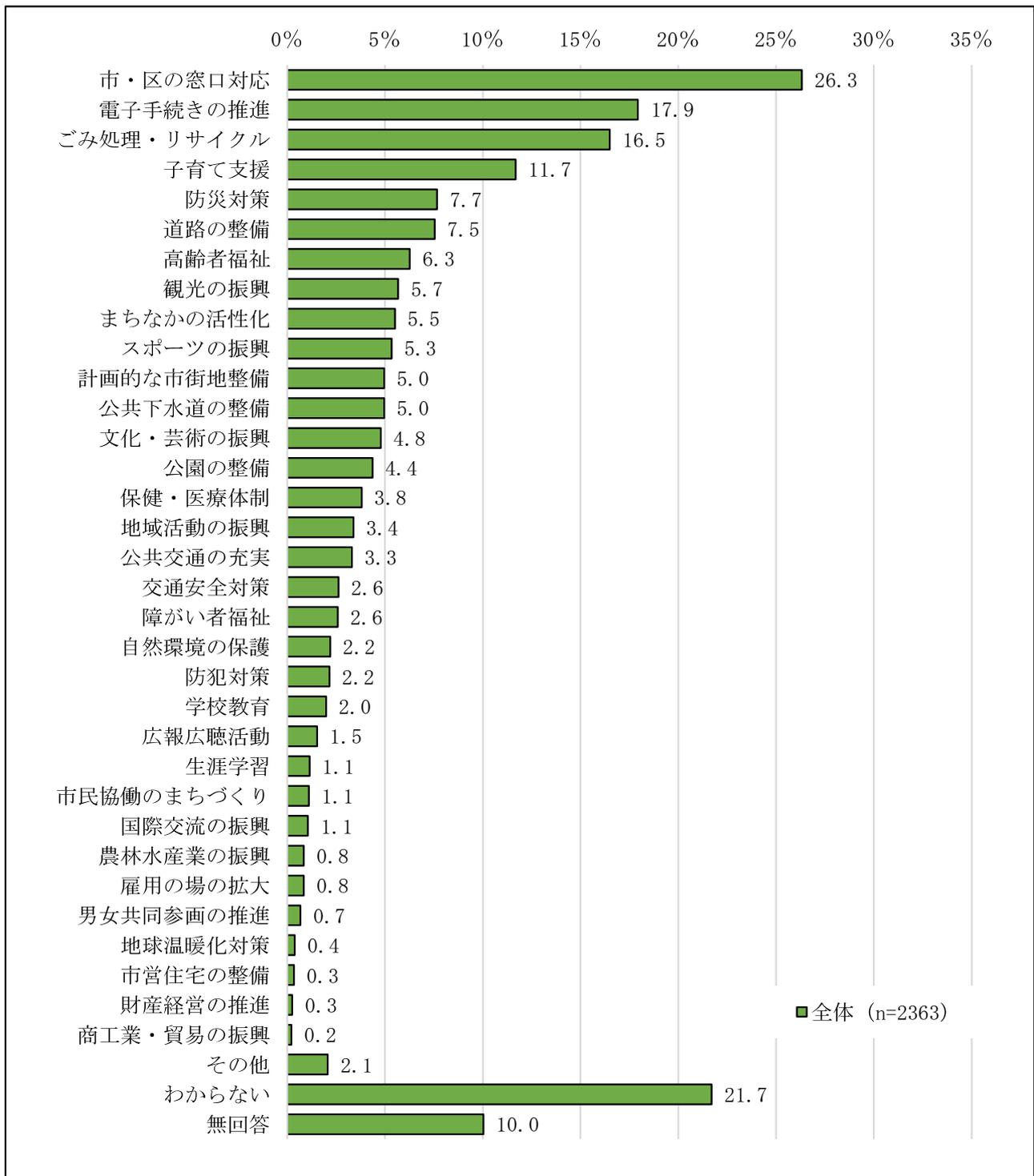
図 4-5 潟（湖沼）への来訪者を増やす・楽しむための施策（地区別/性別/年齢別）

割合 (%)	(公園を含む) 景観の維持・管理	交通アクセスの改善	駐車場の整備・拡充	トイレ整備・改修	近隣の名所や食事等も楽しめるような企画	自然に触れる体験（乗舟・野鳥観察など）	遊歩道・木製デッキなど	水の事故を防ぐための安全対策	その他	無回答
全体 (n=2363)	47.4	46.6	36.7	36.5	30.5	25.9	23.0	14.8	2.4	1.9
<b>【区別】</b>										
北区 (n=215)	46.5	47.4	35.3	37.2	31.6	27.0	21.4	14.4	3.3	1.9
東区 (n=367)	42.2	45.2	39.2	37.9	26.4	28.1	24.8	16.1	3.3	1.9
中央区 (n=517)	49.7	46.0	36.9	33.1	32.3	23.8	25.3	14.9	3.3	1.2
江南区 (n=208)	46.6	41.3	40.9	41.3	28.4	27.9	21.6	18.3	1.4	1.9
秋葉区 (n=237)	49.8	46.8	39.2	35.0	30.0	30.4	23.6	13.1	0.4	1.7
南区 (n=129)	55.8	51.2	31.0	38.0	29.5	26.4	20.9	12.4	0.0	0.8
西区 (n=485)	46.8	53.4	33.4	34.6	35.1	24.9	23.1	12.8	2.1	0.6
西蒲区 (n=158)	49.4	38.0	38.6	45.6	25.3	21.5	17.7	17.1	3.8	2.5
<b>【性別】</b>										
男 (n=1059)	49.1	44.4	39.8	36.9	26.3	25.2	24.5	13.1	2.8	1.4
女 (n=1269)	46.2	48.5	34.4	36.2	34.3	26.4	21.8	16.3	2.0	1.9
<b>【年齢】</b>										
15～17歳 (n=26)	50.0	42.3	30.8	26.9	23.1	57.7	19.2	15.4	3.8	0.0
18～29歳 (n=185)	35.7	61.6	27.6	27.6	38.4	28.6	16.8	14.6	2.7	1.1
30～39歳 (n=246)	48.4	49.2	42.3	33.7	30.5	26.0	19.9	14.2	4.1	0.8
40～49歳 (n=317)	49.2	46.1	35.6	35.3	33.1	25.9	21.1	15.1	2.8	0.6
50～59歳 (n=415)	47.5	45.8	38.1	36.4	29.6	26.3	24.6	15.9	2.9	0.5
60～64歳 (n=235)	51.5	40.4	42.1	38.7	31.9	25.5	26.0	9.8	2.6	2.1
65～69歳 (n=211)	48.8	47.4	37.9	43.1	30.8	22.3	27.0	16.1	0.9	0.5
70～74歳 (n=238)	49.2	45.0	39.1	37.4	24.8	26.5	27.7	15.5	2.5	0.8
75歳以上 (n=469)	46.5	44.6	32.8	38.6	29.9	24.5	21.1	15.6	1.1	5.1

## 5. 市政全般と区政について

### (1) 新潟市として良くなっているもの

問28 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを  
 選んで、次のページの回答欄に番号（1～35）をご記入ください。



## — 「市・区の窓口対応」が2割半ばでトップ —

### 【全体結果】

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(26.3%)の割合が最も高く、2割半ばとなった。次いで、「電子手続きの推進」(17.9%)、「ごみ処理・リサイクル」(16.5%)、「子育て支援」(11.7%)の順で続いた。

### 【属性別結果】(次ページ図5-1参照)

#### ① 地区別

「市・区の窓口対応」の割合は、北区(31.2%)で最も高く、南区(19.4%)で最も低かった。

#### ② 性別

「市・区の窓口対応」の割合は、女性(23.0%)より男性(30.2%)で高かった。

#### ③ 年齢別

「市・区の窓口対応」の割合は、75歳以上(38.4%)で最も高く、15～17歳(3.8%)で最も低い。年齢が高くなるほど、割合が高くなる傾向がみられた。

「ごみ処理・リサイクル」の割合は、年齢が高いほど高くなる傾向がみられた。

「子育て支援」の割合は、30～49歳の子育て世代で高かった。

図 5-1 ①「新潟市として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 1/2

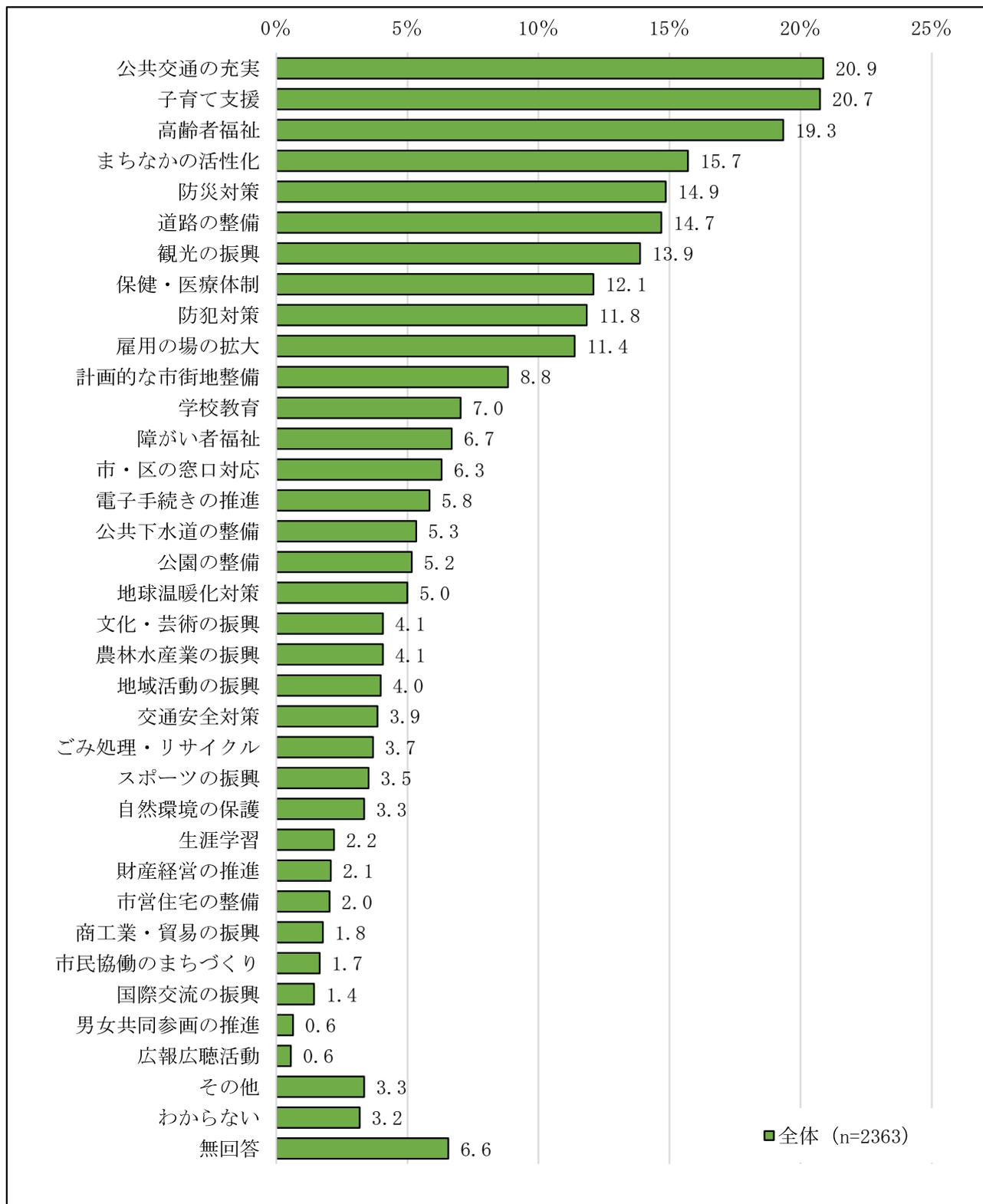
割合 (%)	市・区の窓口対応	電子手続きの推進	ごみ処理・リサイクル	子育て支援	防災対策	道路の整備	高齢者福祉	観光の振興	まちなかの活性化	スポーツの振興	計画的な市街地整備	公共下水道の整備	文化・芸術の振興	公園の整備	保健・医療体制	地域活動の振興	公共交通の充実	交通安全対策
全体 (n=2363)	26.3	17.9	16.5	11.7	7.7	7.5	6.3	5.7	5.5	5.3	5.0	5.0	4.8	4.4	3.8	3.4	3.3	2.6
【区別】																		
北区 (n=215)	31.2	8.8	17.2	6.0	7.0	4.7	7.9	4.7	6.0	6.0	5.1	6.0	4.7	5.6	3.7	4.7	3.7	2.3
東区 (n=367)	28.9	16.9	18.8	12.0	9.5	7.4	6.5	7.1	5.7	7.1	5.7	3.8	4.6	6.5	2.2	2.7	3.3	3.0
中央区 (n=517)	26.1	21.1	19.7	13.0	7.4	7.7	5.4	6.4	5.8	5.0	4.4	4.6	5.0	3.7	4.1	3.1	3.7	2.9
江南区 (n=208)	28.8	19.7	18.3	11.5	5.8	8.7	6.7	4.8	5.8	7.7	4.3	1.4	5.8	6.3	3.8	1.9	3.8	2.9
秋葉区 (n=237)	21.9	19.0	13.9	13.5	9.3	7.6	7.2	4.2	7.6	5.1	6.3	4.6	4.6	1.7	3.4	3.8	5.5	3.0
南区 (n=129)	19.4	14.0	13.2	10.9	9.3	9.3	5.4	7.0	5.4	1.6	3.9	3.9	6.2	3.9	3.1	3.1	3.9	0.8
西区 (n=485)	28.2	21.9	15.3	12.6	6.8	8.5	6.0	4.5	5.2	4.9	4.7	7.4	4.5	4.1	4.7	3.9	1.9	2.1
西蒲区 (n=158)	20.9	13.3	10.1	11.4	8.2	7.6	6.3	7.6	2.5	3.8	5.7	6.3	4.4	3.2	5.7	5.1	2.5	3.8
【性別】																		
男 (n=1059)	30.2	18.0	17.5	10.3	8.9	9.2	6.6	4.3	4.0	5.9	4.4	5.9	3.7	4.2	4.4	3.0	3.8	2.5
女 (n=1269)	23.0	18.0	15.8	12.7	6.7	6.2	5.8	6.9	6.9	4.8	5.3	4.2	5.8	4.6	3.3	3.8	3.0	2.5
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	3.8	15.4	3.8	11.5	3.8	7.7	7.7	11.5	7.7	11.5	11.5	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	15.4
18～29歳 (n=185)	14.1	18.4	10.3	12.4	7.6	10.8	2.2	8.1	5.9	7.0	5.9	1.6	4.9	3.2	2.7	4.9	8.6	2.7
30～39歳 (n=246)	11.8	30.9	5.7	19.9	5.3	12.2	2.4	6.5	7.7	4.5	4.9	2.0	2.0	4.1	2.0	2.8	3.7	2.0
40～49歳 (n=317)	20.2	27.1	9.5	11.7	10.4	9.8	4.1	5.7	5.0	6.9	6.3	1.9	4.1	4.4	3.2	3.2	3.5	2.2
50～59歳 (n=415)	21.4	21.7	14.5	13.3	5.8	5.1	5.1	4.3	6.0	6.5	5.3	2.7	6.0	4.6	1.9	2.4	2.7	1.4
60～64歳 (n=235)	27.7	16.2	17.0	8.5	6.8	6.4	6.8	4.7	7.2	5.5	4.7	6.8	3.4	3.8	2.1	3.8	3.4	1.3
65～69歳 (n=211)	34.6	17.5	20.4	11.8	7.6	7.6	5.7	6.6	4.3	5.2	4.3	5.7	4.7	2.4	4.3	4.7	1.9	1.9
70～74歳 (n=238)	35.3	12.6	24.4	12.2	10.9	6.3	8.0	7.6	6.7	4.6	6.3	5.9	8.0	5.9	8.4	2.1	5.0	4.6
75歳以上 (n=469)	38.4	5.8	26.2	6.4	8.1	6.0	11.1	4.3	3.2	3.0	2.6	10.4	4.7	5.3	5.5	4.1	1.3	3.2

図 5-1 ①「新潟市として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 2/2

割合 (%)	障がい者福祉	自然環境の保護	防犯対策	学校教育	広報広聴活動	生涯学習	市民協働のまちづくり	国際交流の振興	農林水産業の振興	雇用の場の拡大	男女共同参画の推進	地球温暖化対策	市営住宅の整備	財産経営の推進	商工業・貿易の振興	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	2.6	2.2	2.2	2.0	1.5	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.7	0.4	0.3	0.3	0.2	2.1	21.7	10.0
【区別】																		
北区 (n=215)	4.2	3.3	1.4	1.9	1.9	1.9	1.4	2.8	0.0	2.3	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	2.3	22.3	12.1
東区 (n=367)	3.0	1.9	3.5	2.5	1.6	0.8	1.4	0.3	0.8	1.1	0.5	1.1	0.3	0.3	0.0	0.8	20.4	9.0
中央区 (n=517)	2.3	2.9	1.7	1.4	1.4	1.0	0.8	1.0	0.6	0.6	1.4	0.8	0.4	0.4	0.2	1.9	21.5	6.4
江南区 (n=208)	2.9	2.4	2.4	1.4	1.4	1.9	1.0	1.0	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	3.4	19.7	10.1
秋葉区 (n=237)	1.3	2.1	1.3	2.5	2.1	0.4	0.8	1.3	1.3	0.8	0.4	0.0	0.0	0.4	0.8	3.8	21.9	9.3
南区 (n=129)	3.1	2.3	4.7	3.1	2.3	0.8	3.1	1.6	0.8	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	25.6	10.9
西区 (n=485)	2.7	1.0	1.6	2.7	1.4	1.2	1.0	0.8	0.8	0.8	0.2	0.2	0.6	0.2	0.2	1.9	22.1	7.4
西蒲区 (n=158)	1.9	3.2	1.9	0.6	0.6	1.9	0.6	1.3	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.6	13.9
【性別】																		
男 (n=1059)	3.3	1.9	3.0	1.9	1.8	1.2	0.8	1.0	1.3	1.0	0.8	0.3	0.7	0.4	0.3	2.5	20.2	8.3
女 (n=1269)	1.9	2.4	1.5	2.0	1.3	1.1	1.3	1.0	0.4	0.7	0.5	0.5	0.1	0.2	0.2	1.7	23.2	11.0
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	3.8	3.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	38.5	0.0
18～29歳 (n=185)	1.1	3.2	2.2	5.4	0.5	1.6	2.7	1.6	1.1	1.1	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	2.7	28.1	1.6
30～39歳 (n=246)	1.6	2.4	0.8	3.3	1.2	0.0	0.8	0.8	0.0	0.4	1.2	0.0	0.0	1.2	0.8	2.4	28.9	4.9
40～49歳 (n=317)	1.3	0.3	1.9	1.6	0.6	0.6	0.6	0.9	0.6	1.3	0.9	0.6	0.6	0.3	0.0	1.6	27.4	3.2
50～59歳 (n=415)	2.9	2.4	1.4	2.2	1.0	0.7	0.0	0.5	1.0	1.4	0.2	0.5	0.2	0.0	0.0	2.7	26.3	6.3
60～64歳 (n=235)	2.6	1.3	2.6	0.9	0.9	0.4	0.9	1.3	0.9	0.9	1.3	0.4	0.4	0.0	0.0	2.6	23.8	8.5
65～69歳 (n=211)	1.9	2.4	1.4	0.9	2.4	0.9	0.5	0.9	1.9	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	1.9	18.5	13.3
70～74歳 (n=238)	2.1	2.9	2.5	1.7	3.4	2.5	2.1	1.7	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	1.3	14.7	10.9
75歳以上 (n=469)	4.9	2.8	3.0	1.5	2.1	2.1	1.9	1.1	0.9	0.6	0.6	0.4	0.2	0.2	0.2	1.5	11.5	22.6

## (2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問28 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3までを  
 選んで、次のページの回答欄に番号(1~35)をご記入ください。



## — 「公共交通の充実」と「子育て支援」が約2割で2トップ —

### 【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「公共交通の充実」(20.9%)の割合が最も高く、約2割となった。次いで、「子育て支援」(20.7%)、「高齢者福祉」(19.3%)、「まちなかの活性化」(15.7%)、「防災対策」(14.9%)の順で続く。

### 【属性別結果】(次ページ図5-2参照)

#### ① 地区別

北区では「高齢者福祉」(23.7%)の割合が最も高い。

東区では、「公共交通の充実」と「高齢者福祉」(いずれも21.5%)の割合が最も高かった。

中央区(23.4%)と江南区(19.7%)、西区(21.2%)では、「公共交通の充実」の割合が最も高かった。

秋葉区(23.2%)と南区(28.7%)、西蒲区(22.8%)では、「子育て支援」の割合が最も高かった。

#### ② 性別

「公共交通の充実」の割合は、男性(18.5%)と比較して女性(23.0%)で高く、「道路の整備」(男性18.0%、女性12.1%)と答えた割合は、女性と比較して男性で高かった。

#### ③ 年齢別

「子育て支援」と答えた割合は、49歳以下の若い世代で高く、特に30~39歳(51.2%)で高く、5割を超えている。「高齢者福祉」と答えた割合は、60歳以上で高かった。

図 5-2 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」（地区別/性別/年齢別）1/2

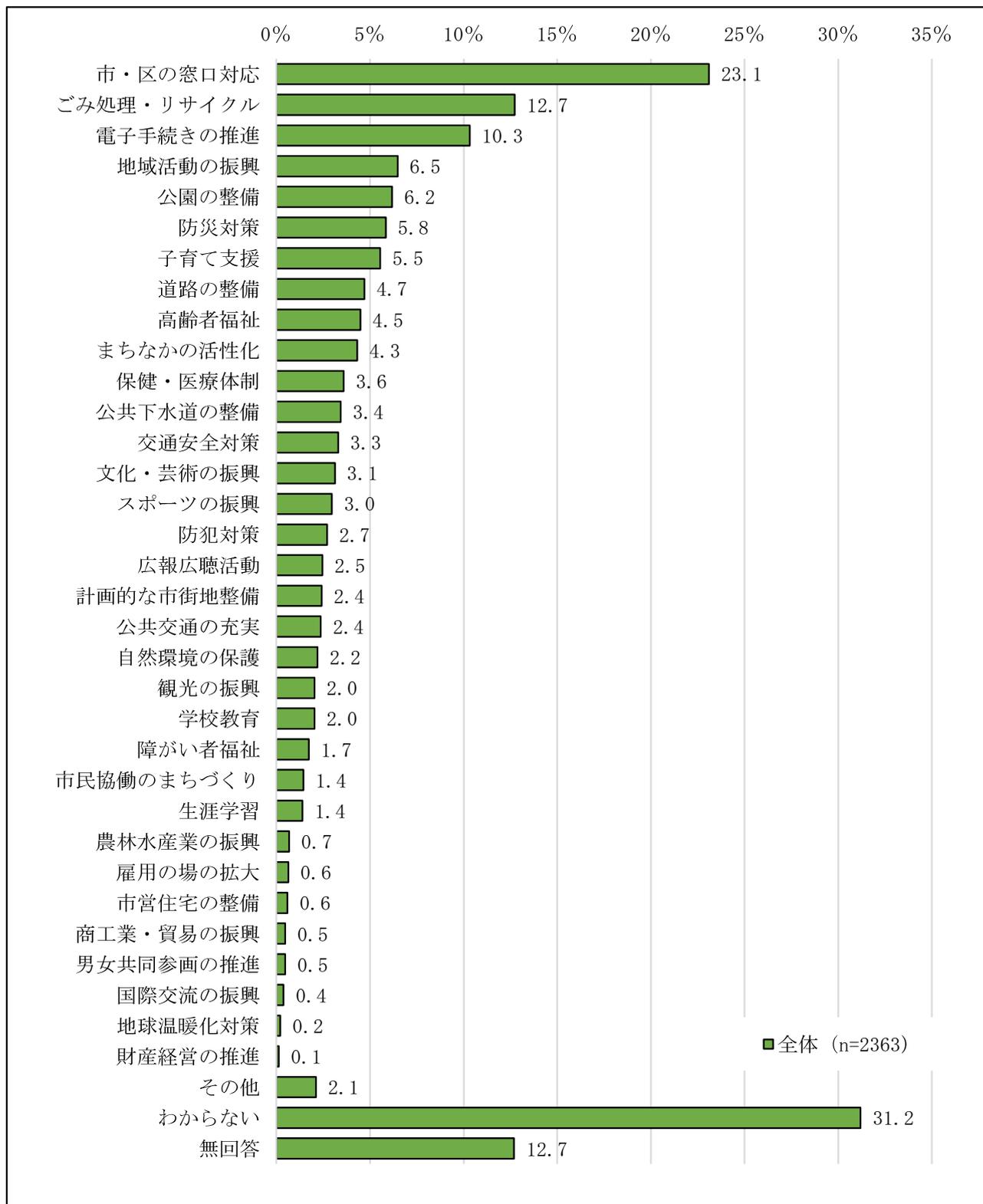
割合 (%)	公共交通の充実	子育て支援	高齢者福祉	まちなかの活性化	防災対策	道路の整備	観光の振興	保健・医療体制	防犯対策	雇用の場の拡大	計画的な市街地整備	学校教育	障がい者福祉	市・区の窓口対応	電子手続きの推進	公共下水道の整備	公園の整備	地球温暖化対策
全体 (n=2363)	20.9	20.7	19.3	15.7	14.9	14.7	13.9	12.1	11.8	11.4	8.8	7.0	6.7	6.3	5.8	5.3	5.2	5.0
【区別】																		
北区 (n=215)	18.1	20.9	23.7	14.9	13.5	16.3	10.7	12.6	13.5	10.2	6.5	7.0	7.0	8.4	6.0	5.6	7.9	5.1
東区 (n=367)	21.5	18.3	21.5	15.3	13.9	17.4	14.4	12.5	13.6	13.6	7.1	6.5	8.7	7.9	5.4	4.9	6.0	5.7
中央区 (n=517)	23.4	22.2	17.8	22.8	14.3	13.2	15.9	10.3	9.5	11.0	9.1	7.2	4.6	4.8	8.5	6.6	5.2	2.9
江南区 (n=208)	19.7	16.8	18.8	10.6	13.0	16.3	13.9	12.5	13.0	13.9	10.1	7.2	5.3	5.8	3.8	6.3	3.8	6.7
秋葉区 (n=237)	16.5	23.2	18.6	11.4	13.1	9.7	14.8	12.2	11.8	9.3	8.4	9.7	9.7	7.6	6.3	3.8	5.1	6.3
南区 (n=129)	27.9	28.7	17.8	9.3	14.0	11.6	13.2	16.3	9.3	10.9	8.5	8.5	8.5	2.3	5.4	7.0	3.1	3.9
西区 (n=485)	21.2	19.6	18.6	16.9	19.0	17.7	13.0	12.0	13.0	9.9	12.2	5.8	6.8	6.0	5.6	4.9	6.0	6.2
西蒲区 (n=158)	19.6	22.8	21.5	10.8	17.1	12.0	11.4	12.7	13.9	14.6	5.1	7.0	5.1	8.9	2.5	4.4	1.9	3.2
【性別】																		
男 (n=1059)	18.5	20.3	18.5	14.2	16.0	18.0	14.0	12.3	13.8	9.8	10.3	6.3	6.3	5.9	7.1	5.4	4.8	3.3
女 (n=1269)	23.0	21.4	19.9	16.9	14.0	12.1	13.6	11.7	10.6	12.8	7.6	7.6	7.0	6.5	4.9	5.4	5.4	6.2
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	23.1	50.0	3.8	3.8	11.5	11.5	19.2	3.8	7.7	3.8	7.7	23.1	3.8	3.8	3.8	0.0	11.5	3.8
18～29歳 (n=185)	25.4	28.1	9.7	17.3	13.0	12.4	17.8	4.9	8.1	10.3	9.7	11.9	5.9	4.3	11.9	2.2	8.1	5.9
30～39歳 (n=246)	17.5	51.2	6.9	14.2	11.8	13.8	16.7	7.7	9.8	10.6	10.2	9.8	3.7	6.1	9.3	4.9	8.9	3.3
40～49歳 (n=317)	16.1	31.5	12.6	15.1	14.2	16.7	15.8	12.9	16.1	10.1	9.1	13.6	7.3	9.5	7.3	5.4	4.1	3.2
50～59歳 (n=415)	22.7	14.5	17.3	15.2	18.1	15.4	16.6	14.0	13.0	13.7	8.7	6.0	8.2	10.4	7.5	6.3	3.1	4.1
60～64歳 (n=235)	23.8	11.9	27.7	15.3	15.3	14.0	11.9	13.2	10.6	14.9	8.1	3.0	7.7	11.1	4.7	6.4	4.7	4.3
65～69歳 (n=211)	22.7	14.7	27.0	18.5	18.0	14.7	12.3	13.7	16.1	12.3	10.4	4.3	8.1	2.4	6.2	6.6	5.7	5.2
70～74歳 (n=238)	23.9	13.0	25.6	15.5	14.3	16.4	9.7	16.0	12.6	12.2	7.6	4.6	7.1	2.5	2.5	5.0	5.0	8.8
75歳以上 (n=469)	19.0	10.0	26.2	16.4	13.6	14.3	10.2	12.2	9.6	9.2	8.1	3.8	5.8	3.0	1.5	5.5	4.3	5.8

図 5-2 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」（地区別/性別/年齢別） 2/2

割合 (%)	文化・芸術の振興	農林水産業の振興	地域活動の振興	交通安全対策	ごみ処理・リサイクル	スポーツの振興	自然環境の保護	生涯学習	財産経営の推進	市営住宅の整備	商工業・貿易の振興	市民協働のまちづくり	国際交流の振興	男女共同参画の推進	広報広聴活動	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	4.1	4.1	4.0	3.9	3.7	3.5	3.3	2.2	2.1	2.0	1.8	1.7	1.4	0.6	0.6	3.3	3.2	6.6
【区別】																		
北区 (n=215)	4.2	2.3	6.5	3.7	6.5	2.8	3.7	1.4	2.8	1.4	1.4	0.5	0.9	0.5	0.0	2.8	5.1	5.6
東区 (n=367)	3.5	3.5	3.3	3.8	3.8	3.3	2.7	2.5	0.3	2.7	1.9	1.4	1.1	0.5	0.5	2.5	1.9	6.0
中央区 (n=517)	6.4	3.1	3.1	3.5	4.1	3.7	3.7	2.3	3.1	2.5	1.5	2.1	0.8	0.2	0.6	3.9	2.7	4.6
江南区 (n=208)	4.8	6.3	4.8	4.8	1.9	5.3	3.8	2.9	2.4	0.5	1.9	2.9	3.4	1.0	1.4	2.4	1.9	7.2
秋葉区 (n=237)	2.5	5.5	7.6	5.1	3.0	2.5	7.2	1.3	3.0	3.0	0.8	2.5	0.8	1.7	0.4	1.7	4.2	6.8
南区 (n=129)	0.0	5.4	3.9	4.7	1.6	2.3	1.6	0.8	2.3	1.6	3.1	1.6	0.8	0.8	0.0	3.9	5.4	7.0
西区 (n=485)	4.1	4.1	2.7	3.7	4.1	3.5	2.1	2.5	1.4	1.9	1.6	0.6	2.5	0.8	0.2	4.5	2.9	4.3
西蒲区 (n=158)	2.5	5.1	3.8	3.2	3.2	4.4	3.2	3.8	1.9	1.9	3.2	3.2	1.3	0.0	1.9	4.4	5.1	7.0
【性別】																		
男 (n=1059)	4.4	4.2	4.8	4.4	4.3	5.4	3.2	2.5	2.2	2.2	2.2	1.8	1.4	0.6	0.8	3.3	2.4	5.1
女 (n=1269)	3.7	3.9	3.3	3.3	3.1	2.0	3.3	2.0	2.0	1.8	1.4	1.5	1.4	0.7	0.4	3.3	3.9	7.6
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	3.8	3.8	3.8	0.0	7.7	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0
18～29歳 (n=185)	3.8	3.8	4.3	5.4	3.2	5.4	1.1	2.2	3.8	1.1	1.6	2.2	3.8	0.0	0.5	3.2	4.9	0.5
30～39歳 (n=246)	5.3	4.1	2.4	4.1	1.2	2.8	1.6	1.6	4.5	1.2	2.0	0.4	0.8	1.2	0.0	4.5	4.9	2.8
40～49歳 (n=317)	2.5	3.5	3.2	3.2	2.2	4.4	2.5	1.6	4.1	0.0	2.5	1.3	0.6	1.3	0.6	4.7	2.2	2.8
50～59歳 (n=415)	5.3	3.1	4.8	3.9	3.9	5.8	3.6	1.2	2.4	3.6	1.4	1.2	1.4	0.2	0.2	2.2	3.1	2.4
60～64歳 (n=235)	3.4	5.5	4.3	3.8	4.3	3.4	3.8	5.1	0.9	1.7	1.3	0.9	1.3	0.4	0.4	5.5	2.6	2.1
65～69歳 (n=211)	5.7	2.4	2.4	1.9	6.6	2.4	1.9	1.4	0.5	2.4	1.4	1.4	1.4	0.9	0.9	3.8	1.4	7.1
70～74歳 (n=238)	4.2	6.7	4.6	3.4	2.1	2.9	5.5	4.2	0.4	0.8	4.2	1.7	2.1	0.4	0.4	2.5	2.1	8.4
75歳以上 (n=469)	3.2	3.8	4.7	4.7	4.9	1.3	4.5	1.9	0.9	3.4	0.6	3.0	1.1	0.6	1.1	1.9	3.6	17.7

### (3) 区として良くなっているもの

問28 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
 ③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを  
 選んで、次のページの回答欄に番号（1～35）をご記入ください。



## — 「市・区の窓口対応」が約2割でトップ —

### 【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」（23.1％）の割合が最も高く約2割となった。次いで、「ごみ処理・リサイクル」（12.7％）、「電子手続きの推進」（10.3％）の順で続いた。

### 【属性別結果】（次ページ図5-3参照）

#### ① 地区別

「市・区の窓口対応」の割合は、西区（27.2％）が最も高い。最も低いのは西蒲区（17.7％）で2割を下回った。

#### ② 性別

「市・区の窓口対応」と答えた割合は、女性（20.5％）と比較して男性（26.3％）で高い。

#### ③ 年齢別

「市・区の窓口対応」、「ごみ処理・リサイクル」の割合は、概ね年齢が高いほど高くなる傾向がみられる。

図 5-3 ③「区として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 1/2

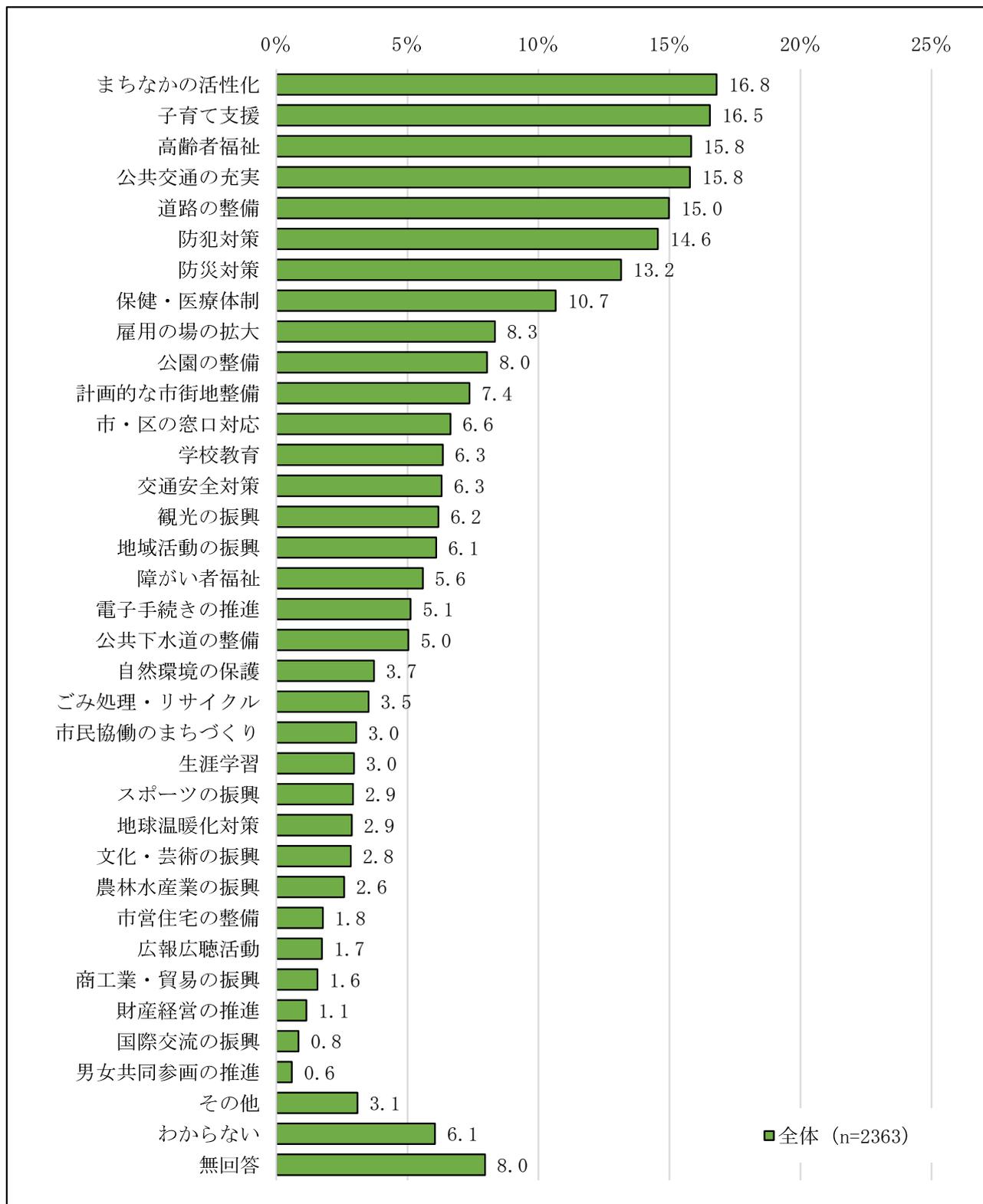
割合 (%)	市・区の窓口対応	ごみ処理・リサイクル	電子手続きの推進	地域活動の振興	公園の整備	防災対策	子育て支援	道路の整備	高齢者福祉	まちなかの活性化	保健・医療体制	公共下水道の整備	交通安全対策	文化・芸術の振興	スポーツの振興	防犯対策	広報広聴活動	計画的な市街地整備	
全体 (n=2363)	23.1	12.7	10.3	6.5	6.2	5.8	5.5	4.7	4.5	4.3	3.6	3.4	3.3	3.1	3.0	2.7	2.5	2.4	
<b>【区別】</b>																			
北区 (n=215)	25.1	13.5	7.4	8.4	4.2	5.1	2.8	2.8	6.5	4.2	2.8	5.6	3.3	5.1	3.3	2.3	2.8	1.4	
東区 (n=367)	23.2	14.2	9.0	6.0	9.5	7.6	6.3	3.0	5.7	5.2	3.3	2.2	4.6	1.6	3.3	4.4	2.2	3.0	
中央区 (n=517)	20.5	11.8	12.0	5.6	5.4	4.6	6.4	7.0	2.9	5.6	3.5	4.3	2.1	4.4	3.9	2.7	2.9	3.5	
江南区 (n=208)	25.0	16.3	12.0	7.7	10.1	7.7	5.3	5.3	2.9	4.3	3.8	1.0	2.9	5.8	3.8	1.9	2.9	1.9	
秋葉区 (n=237)	26.2	12.2	12.2	5.9	5.5	4.2	8.4	3.0	5.9	3.8	4.6	2.5	3.4	3.0	3.4	2.5	3.8	3.0	
南区 (n=129)	17.8	15.5	7.0	5.4	3.9	6.2	6.2	4.7	5.4	1.6	4.7	1.6	1.6	3.1	1.6	4.7	0.8	0.8	
西区 (n=485)	27.2	10.9	12.4	7.0	3.9	6.2	5.2	4.7	3.9	3.7	3.7	4.7	3.9	1.6	1.9	1.9	1.6	1.9	
西蒲区 (n=158)	17.7	13.3	5.7	7.0	8.9	5.7	2.5	5.1	5.7	3.8	3.8	3.2	3.8	1.3	2.5	1.3	3.2	1.9	
<b>【性別】</b>																			
男 (n=1059)	26.3	14.4	11.3	5.9	6.2	6.6	5.6	5.8	4.6	4.3	3.5	4.2	3.8	3.0	3.1	2.8	2.6	2.7	
女 (n=1269)	20.5	11.4	9.7	7.1	5.9	5.3	5.5	3.9	4.3	4.3	3.5	2.8	2.8	3.1	2.7	2.7	2.2	2.2	
<b>【年齢】</b>																			
15～17歳 (n=26)	3.8	7.7	11.5	7.7	0.0	3.8	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	19.2	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	
18～29歳 (n=185)	10.3	8.6	10.3	5.4	3.8	4.9	5.9	6.5	4.3	5.4	4.3	1.6	2.7	3.8	2.7	1.1	1.1	2.2	
30～39歳 (n=246)	17.9	5.7	17.5	6.5	6.9	2.8	7.7	6.1	2.4	6.5	1.6	0.8	3.3	2.0	2.4	1.6	1.6	2.8	
40～49歳 (n=317)	19.2	7.9	13.9	7.3	4.7	5.4	5.4	3.5	3.5	3.8	2.8	2.5	0.9	3.5	2.8	2.2	0.6	1.9	
50～59歳 (n=415)	20.5	7.5	12.3	4.8	6.0	5.1	7.2	4.8	4.3	3.4	1.7	2.4	2.4	2.7	1.7	3.1	1.4	2.2	
60～64歳 (n=235)	24.3	13.6	11.1	6.8	5.5	4.7	6.0	4.3	6.4	4.3	2.1	3.8	2.1	2.1	1.3	1.3	2.1	3.4	
65～69歳 (n=211)	25.1	16.1	10.4	7.1	5.7	5.7	4.3	6.2	3.8	5.2	5.2	6.2	2.4	1.9	3.3	3.8	1.9	2.8	
70～74歳 (n=238)	35.3	21.8	7.6	7.1	8.8	8.8	5.0	3.4	3.8	3.4	4.6	3.8	4.2	4.6	6.3	3.8	6.7	2.1	
75歳以上 (n=469)	29.2	19.8	3.8	7.0	7.0	8.1	3.2	4.5	6.4	4.1	6.2	5.8	5.5	3.6	3.2	3.4	3.6	2.3	

図 5-3 ③「区として良くなっているもの」(地区別/性別/年齢別) 2/2

割合 (%)	公共交通の充実	自然環境の保護	観光の振興	学校教育	障がい者福祉	市民協働のまちづくり	生涯学習	農林水産業の振興	雇用の場の拡大	市営住宅の整備	商工業・貿易の振興	男女共同参画の推進	国際交流の振興	地球温暖化対策	財産経営の推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	2.4	2.2	2.0	2.0	1.7	1.4	1.4	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1	2.1	31.2	12.7
<b>【区別】</b>																		
北区 (n=215)	1.9	5.1	2.3	2.3	4.7	1.9	3.3	1.4	0.5	1.4	0.9	0.0	0.5	0.0	0.0	2.3	32.1	15.3
東区 (n=367)	2.2	2.5	1.6	1.4	1.6	1.4	0.0	0.3	0.8	1.4	0.5	0.3	0.5	0.0	0.3	1.6	32.2	10.1
中央区 (n=517)	3.5	2.5	2.7	1.9	1.0	1.0	1.4	0.0	1.0	0.2	0.8	0.6	0.8	0.8	0.0	1.4	31.3	10.1
江南区 (n=208)	1.9	1.4	1.4	1.0	1.9	0.5	1.4	1.4	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	29.3	10.6
秋葉区 (n=237)	0.8	3.4	1.7	2.1	1.7	1.7	1.7	0.8	0.8	0.4	0.4	0.0	0.8	0.4	0.4	3.0	27.0	11.8
南区 (n=129)	0.8	0.8	7.8	2.3	2.3	1.6	2.3	2.3	0.0	0.8	0.8	2.3	0.0	0.0	0.8	3.9	34.9	13.2
西区 (n=485)	2.1	1.0	0.2	2.7	1.0	1.9	1.9	0.2	0.0	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	2.1	32.8	11.3
西蒲区 (n=158)	3.8	0.6	3.2	2.5	2.5	2.5	0.0	1.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	34.2	16.5
<b>【性別】</b>																		
男 (n=1059)	2.5	2.0	2.4	2.3	2.2	1.4	1.2	0.9	0.6	0.5	0.7	0.8	0.5	0.2	0.1	2.5	29.3	10.4
女 (n=1269)	2.4	2.4	1.7	1.8	1.3	1.3	1.5	0.5	0.7	0.7	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	1.7	33.3	14.1
<b>【年齢】</b>																		
15～17歳 (n=26)	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0
18～29歳 (n=185)	2.7	1.6	2.7	3.2	2.7	2.7	1.6	1.6	1.1	1.1	1.1	1.1	0.5	0.5	0.5	2.2	42.2	2.7
30～39歳 (n=246)	1.2	1.6	2.0	1.6	0.8	1.6	1.2	0.0	0.4	0.4	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	2.4	40.7	6.1
40～49歳 (n=317)	1.9	2.2	2.5	2.8	1.9	1.6	0.6	0.6	0.3	0.6	0.0	0.6	0.6	0.3	0.6	2.5	42.0	5.0
50～59歳 (n=415)	2.2	2.7	1.4	2.2	1.7	0.5	1.4	0.7	1.2	0.5	1.0	0.5	0.2	0.2	0.0	3.1	39.5	7.5
60～64歳 (n=235)	1.7	3.0	2.6	0.9	2.6	0.9	2.6	0.0	0.0	0.9	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	3.4	31.5	11.9
65～69歳 (n=211)	5.2	2.4	2.4	1.4	1.9	0.9	2.4	0.9	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	1.9	26.1	14.2
70～74歳 (n=238)	2.9	1.3	2.5	2.1	2.1	1.3	1.7	0.8	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	21.0	16.0
75歳以上 (n=469)	2.3	2.3	1.3	1.9	1.3	2.1	0.9	0.9	0.9	0.6	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	1.1	14.7	27.3

#### (4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問28 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて  
④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを  
選んで、次のページの回答欄に番号(1~35)をご記入ください。



## — 「まちなかの活性化」と「子育て支援」が1割半ばで2トップ —

### 【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」(16.8%)の割合が最も高く、1割半ばとなった。次いで、「子育て支援」(16.5%)、「高齢者福祉」、「公共交通の充実」(いずれも15.8%)、「道路の整備」(15.0%)の順で続く。

### 【属性別結果】(次ページ図5-4参照)

#### ① 地区別

中央区(23.8%)、秋葉区(23.2%)、北区(19.5%)では、「まちなかの活性化」の割合が最も高かった。

東区(18.3%)では、「防犯対策」の割合が最も高かった。

江南区(16.8%)と西区(19.0%)では、「道路の整備」の割合が最も高かった。

南区(29.5%)では、「公共交通の充実」の割合が最も高かった。

西蒲区(22.8%)では、「高齢者福祉」の割合が最も高かった。

#### ② 性別

「まちなかの活性化」(男性15.1%、女性18.4%)、「公共交通の充実」(男性13.2%、女性17.9%)の割合は、男性と比較して女性で高く、「道路の整備」の割合は、女性(13.1%)と比較して男性(17.2%)で高かった。

#### ③ 年齢別

「子育て支援」と答えた割合は、49歳以下で高く、特に30~39歳(44.7%)で高く、4割を超えた。

図5-4 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」(地区別/性別/年齢別) 1/2

割合 (%)	まちなかの活性化	子育て支援	高齢者福祉	公共交通の充実	道路の整備	防犯対策	防災対策	保健・医療体制	雇用の場の拡大	公園の整備	計画的な市街地整備	市・区の窓口対応	学校教育	交通安全対策	観光の振興	地域活動の振興	障がい者福祉	電子手続きの推進
全体 (n=2363)	16.8	16.5	15.8	15.8	15.0	14.6	13.2	10.7	8.3	8.0	7.4	6.6	6.3	6.3	6.2	6.1	5.6	5.1
【区別】																		
北区 (n=215)	19.5	16.3	17.2	14.4	14.0	14.4	11.6	11.6	7.9	7.4	6.0	6.0	5.1	4.7	3.3	10.2	5.6	5.6
東区 (n=367)	12.0	16.3	15.3	12.8	15.8	18.3	12.8	13.9	9.3	8.4	6.8	6.3	7.1	7.6	4.9	5.4	6.8	4.4
中央区 (n=517)	23.8	16.1	14.1	15.9	13.9	13.9	13.9	8.9	7.9	8.3	7.7	6.2	7.2	5.8	8.9	5.8	5.0	7.0
江南区 (n=208)	16.3	13.5	16.3	15.9	16.8	15.4	14.4	13.5	5.3	7.2	7.2	6.7	8.2	5.3	6.7	7.7	4.3	3.8
秋葉区 (n=237)	23.2	20.7	16.0	14.8	12.2	13.9	8.9	9.3	8.9	10.1	5.5	10.5	5.9	7.2	7.2	6.8	5.1	3.8
南区 (n=129)	15.5	17.1	13.2	29.5	14.0	11.6	6.2	8.5	10.1	4.7	7.8	6.2	7.8	6.2	7.0	7.0	8.5	4.7
西区 (n=485)	10.7	17.7	16.7	15.9	19.0	13.8	16.3	10.1	7.8	8.9	9.3	5.8	4.7	6.4	3.9	3.7	6.6	5.8
西蒲区 (n=158)	14.6	17.1	22.8	18.4	10.1	15.2	17.1	10.1	12.7	6.3	7.6	8.2	7.0	7.0	8.9	7.6	3.2	3.8
【性別】																		
男 (n=1059)	15.1	17.6	15.4	13.2	17.2	15.8	13.6	9.7	9.9	7.6	7.5	6.9	5.0	7.3	5.5	6.6	5.5	6.7
女 (n=1269)	18.4	16.1	16.4	17.9	13.1	13.5	12.8	11.3	7.2	8.4	7.2	6.5	7.6	5.4	6.6	5.5	5.6	3.9
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	23.1	34.6	7.7	11.5	15.4	15.4	23.1	0.0	7.7	11.5	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8
18～29歳 (n=185)	20.5	23.2	9.2	20.0	15.7	11.9	11.4	3.2	7.6	10.3	6.5	8.6	7.6	5.4	12.4	3.8	5.4	8.1
30～39歳 (n=246)	14.2	44.7	6.9	10.2	14.6	15.4	14.2	8.9	10.6	8.1	7.3	8.1	9.3	6.5	7.7	4.1	4.1	8.1
40～49歳 (n=317)	17.0	26.8	11.0	11.4	14.2	17.0	12.6	12.0	7.6	6.3	9.5	9.5	12.6	6.0	6.6	5.4	4.7	6.6
50～59歳 (n=415)	17.6	12.0	16.1	19.3	16.6	14.7	17.3	13.5	10.8	5.8	6.7	8.9	5.1	7.2	6.7	4.8	6.7	7.7
60～64歳 (n=235)	14.0	9.4	25.1	15.7	20.0	17.0	11.5	11.1	8.9	9.4	7.7	7.7	3.0	3.8	5.1	7.2	6.8	4.3
65～69歳 (n=211)	19.4	11.8	18.5	15.6	16.6	12.3	13.3	10.0	9.5	12.3	10.9	5.2	6.6	6.6	5.2	7.6	7.1	3.3
70～74歳 (n=238)	16.0	5.5	18.9	20.2	13.9	11.8	10.5	14.3	10.1	8.4	6.7	3.4	5.0	6.3	3.8	8.4	4.2	1.7
75歳以上 (n=469)	16.2	7.2	19.6	14.9	10.9	14.7	11.3	10.0	4.5	7.2	5.8	3.6	3.8	7.0	4.3	7.2	5.5	2.3

図5-4 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」(地区別/性別/年齢別) 2/2

割合 (%)	公共下水道の整備	自然環境の保護	ごみ処理・リサイクル	市民協働のまちづくり	生涯学習	スポーツの振興	地球温暖化対策	文化・芸術の振興	農林水産業の振興	市営住宅の整備	広報広聴活動	商工業・貿易の振興	財産経営の推進	国際交流の振興	男女共同参画の推進	その他	わからない	無回答
全体 (n=2363)	5.0	3.7	3.5	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8	2.6	1.8	1.7	1.6	1.1	0.8	0.6	3.1	6.1	8.0
【区別】																		
北区 (n=215)	6.0	3.7	5.1	5.6	3.7	2.3	2.8	2.3	3.3	2.8	2.8	3.3	0.9	1.4	0.5	1.9	5.6	8.4
東区 (n=367)	4.9	4.4	4.9	2.5	1.9	2.7	3.3	2.2	1.9	2.5	1.9	1.6	0.5	1.4	1.1	2.2	6.0	8.4
中央区 (n=517)	5.4	2.9	2.1	1.7	4.3	3.7	2.3	3.9	1.4	1.4	0.8	1.5	2.3	0.6	0.8	2.7	6.4	5.8
江南区 (n=208)	4.3	3.8	2.9	4.3	2.9	5.3	2.9	4.3	2.9	1.4	1.0	0.5	1.9	1.0	1.0	1.9	4.3	7.2
秋葉区 (n=237)	3.4	5.5	3.0	3.8	3.0	3.4	3.4	2.5	3.8	1.7	1.3	0.8	0.8	1.3	0.4	5.5	5.5	5.9
南区 (n=129)	7.8	1.6	3.9	3.9	0.8	0.0	2.3	0.0	4.7	3.1	2.3	2.3	0.0	0.0	0.8	3.1	8.5	9.3
西区 (n=485)	6.0	3.5	3.9	2.7	3.1	2.3	3.1	2.5	3.1	1.6	2.7	1.2	0.4	0.8	0.0	3.5	6.6	6.2
西蒲区 (n=158)	2.5	4.4	3.8	2.5	1.9	2.5	1.9	4.4	2.5	0.6	1.3	2.5	0.6	0.0	0.6	4.4	5.7	7.6
【性別】																		
男 (n=1059)	5.0	4.1	4.7	3.4	2.9	3.6	2.5	2.8	3.4	1.7	2.0	2.6	1.4	0.8	0.7	3.1	5.3	6.9
女 (n=1269)	5.1	3.2	2.5	2.7	3.1	2.4	3.2	2.8	1.9	1.9	1.5	0.7	0.9	0.9	0.6	3.0	6.7	8.6
【年齢】																		
15～17歳 (n=26)	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	19.2	0.0
18～29歳 (n=185)	3.2	2.7	4.9	4.3	2.2	5.9	4.3	2.7	2.2	2.2	0.5	2.2	1.6	1.1	0.5	3.8	9.2	1.6
30～39歳 (n=246)	4.9	1.2	2.4	2.8	2.4	1.6	1.2	4.1	2.8	2.0	0.4	2.0	1.6	0.4	0.0	2.8	7.3	2.4
40～49歳 (n=317)	5.4	2.5	1.6	0.3	3.8	4.1	2.5	1.9	2.2	0.3	0.6	2.2	2.2	0.3	0.3	4.7	5.4	3.2
50～59歳 (n=415)	4.3	2.9	3.4	2.9	1.9	4.1	2.9	3.9	1.0	2.7	1.0	1.4	1.7	1.7	0.2	1.9	7.0	1.7
60～64歳 (n=235)	6.0	5.5	5.1	2.6	2.1	1.7	0.9	1.3	3.8	1.7	2.1	3.0	0.0	0.4	0.4	4.7	6.8	3.8
65～69歳 (n=211)	4.7	3.3	4.7	3.8	5.2	2.8	2.4	3.8	2.4	0.0	1.4	0.5	0.9	1.4	0.5	4.7	3.3	8.5
70～74歳 (n=238)	5.9	5.5	2.9	3.4	5.5	2.9	3.4	2.5	2.9	2.5	3.8	0.8	0.0	0.8	2.1	1.7	5.0	12.6
75歳以上 (n=469)	5.3	4.9	3.8	4.3	2.1	1.3	4.1	2.8	3.6	2.3	3.0	1.1	0.6	0.4	0.9	1.7	4.5	21.3



### Ⅲ 調査票様式



# 令和7年度 第52回市政世論調査

## 「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新潟市では、市民の皆さまの市政に対する意識・満足度などをお聞きし、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの15歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、お願いすることになりました。

お答えいただいた結果は、統計的な数値として集計する以外には使用せず、個人のお名前が出ることや調査対象者の名簿、個人を特定できる回答内容が外部に漏れることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、お答えいただきますようよろしくお願いいたします。

令和7年8月25日

新潟市長 なかはら やいち  
中原 八一

### ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、あて名のご本人がご記入ください。  
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。  
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。  
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。  
万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
5. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

新潟市市民生活部 こうちょうそうだんか 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

◎回答は令和7年9月15日(月)までにお願ひします。

郵送の場合、切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

◎今回の調査は、新潟市が下記の業者に委託して実施しております。

《委託業者》株式会社スピードリサーチ(新潟市東区小金町1丁目7番1号)

### 本アンケートは、インターネットでもご回答いただけます

次のアドレスまたは右の二次元コードからアンケート画面へお入りください。

アドレス <https://e-quest.e-c/a/7yron>

最初に表示される入力欄に以下のIDを入力してお答えください。

※このIDは、重複回答を防ぐためのものでランダムに設定されています。  
個人を特定するものではありません。



※インターネットからご回答いただく場合、本調査票の返信は不要です。

## 【空き家について】

人口減少や少子高齢化等を背景に全国的に空き家が増加しています。空き家が老朽化した場合、倒壊や部材の飛散などの危険性が高まるほか、草木の繁茂や動物の棲みつきなど衛生的な環境悪化や景観の悪化につながるおそれがあります。そこであなたの考えをお聞きします。

問1 あなたは、地域の空き家を今後どうしていきべきだと思いますか。  
(〇はいくつでも)

- 1 所有者に対して空き家の適切な管理を促す
- 2 売買や賃貸化などにより、住宅としてそのまま活用する
- 3 空き家を解体して、土地を売却・活用する
- 4 住宅以外の用途（交流施設、福祉施設など）で活用する
- 5 所有者から管理料を徴収するなどして、地域で空き家を管理する
- 6 その他（ )
- 7 わからない

問2 あなたは、市で行われている空き家対策の取り組みについて知っていますか。  
(〇はいくつでも)

- 1 空き家問題に関する周知・啓発パンフレットの配布（区役所など）
- 2 市のホームページによる空き家対策に関する情報発信
- 3 出前講座（市政さわやかトーク宅配便）での空き家に関する周知・啓発
- 4 空き家無料相談会の開催
- 5 空き家の購入やリフォームへの助成
- 6 自治会などが行う空き家活用への助成
- 7 問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起など
- 8 その他（ )
- 9 知らない

問3 あなたは、空き家問題を解決するために、市の空き家対策としてどのようなことが必要であると思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 空き家に関するさまざまな情報提供など情報発信の強化
- 2 空き家を所有・管理している人の意識改革
- 3 空き家を所有・管理している人が専門家に相談できる環境の整備
- 4 空き家活用の助成制度の充実
- 5 空き家問題に取り組む民間団体の増加
- 6 問題のある空き家の所有者への情報提供・注意喚起などの強化
- 7 1～6及びその他の対策の具体例など、ご意見があればお聞かせください  
( )
- 8 特にない・わからない

問4 あなたは、様々な理由で誰もが空き家の所有者(管理者)になる可能性があることを知っていますか。(〇は1つだけ)  
(例 親族からの相続や親の介護施設等への入所に伴う実家の空き家化など)

- 1 はい
- 2 いいえ

問5 ご自身やご家族が所有している住宅が、将来空き家にならないように家族と話し合ったり、ご自身で考えたりしたことがありますか。(〇は1つだけ)

- 1 家族で話し合ったこともあり、自分でも考えている
- 2 家族で話し合ったことはないが、自分で考えている
- 3 自分では考えていないが、家族で話し合ったことはある
- 4 自分で考えたことも、家族で話し合ったこともない
- 5 自身や家族が所有する住宅がない

《上記の2～4を選んだ方》

家族で話し合ったり、自分で考えたりしていない理由は何ですか。

( )

## 【交通施策に関する取り組みについて】

問6 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を、次の①～⑦についてそれぞれ教えてください。

(①～⑦について、それぞれ〇は1つずつ)

① 自動車（走りやすい道路かなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

② バイク（原付含む）（走りやすい道路かなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

③ 自転車（個人所有）（自転車で走りやすい道路かなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

④ シェアサイクル（利用しやすいかなど）※

※「ポート」と呼ばれる複数の駐輪拠点において、自転車をレンタルし、好きなポートに返却可能なシェアリングサービス

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

⑤ バス（利用しやすいかなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

⑥ タクシー（利用しやすいかなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない

⑦ 電車（利用しやすいかなど）

1 満足    2 やや満足    3 やや不満    4 不満    5 利用しない



問 10 都心部における交通結節点（複数の交通手段の接続が行われる場所）の整備※に関する取り組みについてお聞きします。

取り組み内容に対するあなたの満足度を教えてください。（○は1つだけ）

※取り組み例：新潟駅バスターミナル・万代広場の整備、JR新駅（上所駅）の整備、バス停上屋整備、バス停バリアフリー化など

- 1 満足している
- 2 ある程度満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満
- 6 わからない

### 【消費生活について】

問 11 あなたは、消費生活センターを知っていますか。（○は1つだけ）

- 1 知らない
- 2 知っているが、何をしているところかよくわからない
- 3 何をしているところか知っている
- 4 相談や利用したことがある

問 12 あなたは、どのような消費者問題に最も関心がありますか。（○は1つだけ）

- 1 食品の安全性（偽装表示等）
- 2 商品などの欠陥や不具合等による事故
- 3 悪質、詐欺商法（振り込め詐欺等）
- 4 インターネット（通信販売等）
- 5 資源、エネルギー（食品ロス等）
- 6 多重債務（消費者金融等）
- 7 その他（）
- 8 消費者問題に関心がない



問 15 問 14 で「1 消費生活センター」に○をつけなかった方にお聞きします。  
あなたが消費生活センターに相談しなかった理由を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 時間がなかったから
- 2 相談できると知らなかったから
- 3 相談したくなかったから
- 4 相談しても仕方がないと思ったから
- 5 その他 ( )
- 6 わからない

問 16 あなたは、クーリング・オフ制度を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 クーリング・オフをしたことがある
- 2 内容まで正しく知っている
- 3 知っているが、内容はよくわからない
- 4 知らない

問 17 あなたは、消費生活の被害や不安解消のために、年代別にどのような「消費者教育※」活動が最も必要だと思いますか。  
(各年代それぞれに○は1つだけ)

※消費者自立を支援するために行われる、消費生活に関する教育およびこれに準ずる活動  
(具体的な事例)

- ・消費生活に関する知識（下記表中の1、2、5 等）
- ・消費者トラブルとその対処法（下記表中の3、4 等）

		1 食の安全	2 安心・安全な商品の選び方	3 悪質商法の手口と対処方法	4 お金の使い方	5 スマートフォン・インターネット等使用に関する注意点
①	幼児期	1	2	3	4	5
②	小学生	1	2	3	4	5
③	中学生	1	2	3	4	5
④	高校生	1	2	3	4	5
⑤	18歳～39歳	1	2	3	4	5
⑥	40歳～69歳	1	2	3	4	5
⑦	70歳～	1	2	3	4	5

問 18 あなたが消費者教育を行う場として重要だと思うものはどれですか。  
(○は2つまで)

1 家庭	6 大学、専門学校
2 幼稚園、保育園	7 職場
3 小学校	8 国、県、市
4 中学校	9 地域（町内会、PTAなど）
5 高校	10 その他（ ）

問 19 あなたは、消費生活の安定や向上のために、市にどのような取り組みを期待していますか。(○は2つまで)

- 1 消費生活の被害や不安解消などについての情報提供の充実
- 2 消費者被害の未然防止のための啓発活動の充実
- 3 消費生活センターの相談体制の強化
- 4 市政への消費者の声の反映
- 5 高齢者、障がい者等、被害に遭いやすい人たちへの地域の見守り強化
- 6 事業者への指導、取り締まりの強化
- 7 消費者団体への活動支援
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

問 20 あなたが、今、最も心がけている消費行動を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 環境に配慮した商品やサービスの選択
- 2 省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用
- 3 フェアトレード（開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み）製品等の購入
- 4 地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）
- 5 食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減
- 6 表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択
- 7 その他 ( )
- 8 特にない

問 21 あなたが、今後、最も心がけたい消費行動を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 環境に配慮した商品やサービスの選択
- 2 省エネの実践、マイバッグ・マイ箸等の利用
- 3 フェアトレード（開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み）製品等の購入
- 4 地産地消（地域で生産したものを地域で消費する）
- 5 食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減
- 6 表示や説明を確認し、内容を理解したうえでの商品、サービスの選択
- 7 その他（ )
- 8 特にない

問 22 あなたは「エシカル消費※」を知っていますか。(○は1つだけ)

※地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動  
(具体的な事例)

- ・エコ商品を選ぶ
- ・フェアトレード商品を選ぶ
- ・地元の産品を買う
- ・障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ

- 1 知っている
- 2 名前は知っているが、内容は知らない
- 3 名前も内容も知らない
- 4 その他（ )

## 【ラムサール条約湿地都市認証について】

本市では、国内初となる「ラムサール条約湿地都市認証※」を受け、認証の周知・PRのほか、潟をはじめとする本市の湿地の魅力や「国際湿地都市 NIIGATA」のイメージを広く市内外に発信するため、様々なプロモーションを展開しています。そこであなたの考えをお聞きします。

オリジナルロゴマーク

※湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等に関する国際基準を満たす自治体に対して行う国際的な認証。



問 23 「ラムサール条約」という言葉やその内容を知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も内容も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
- 3 言葉も内容も知らなかった(今回の調査で初めて知った)

問 24 新潟市は2022(令和4)年11月に、国内初の「ラムサール条約湿地都市認証(当時は「ラムサール条約湿地自治体認証」)」を受けたことを知っていますか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も内容も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった
- 3 言葉も内容も知らなかった(今回の調査で初めて知った)

問 25 新潟市が国内初の「ラムサール条約湿地都市認証」を受けたことについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

- 1 とても誇りに思う
- 2 誇りに思う
- 3 どちらでもない
- 4 良い印象を受けない

問 26 「潟や湿地」という言葉を聞いて思い浮かぶイメージはどれですか。

(○は3つまで)

- 1 景観・ビジュアルが良い
- 2 動植物が豊か
- 3 安らぎや憩いの場
- 4 ふるさとの象徴
- 5 漁場・植物採取・食糧生産の場
- 6 子どもの学び・遊びの場
- 7 本市の成り立ちに関係する自然遺産
- 8 洪水対策・貯水機能
- 9 危険で近寄りがたい
- 10 水質が悪い・汚い
- 11 その他 ( )

問 27 市民や観光客など多くの方から潟（湖沼）に来ていただく（楽しんでいただく）ために必要だと考える施策はどれですか。(○は3つまで)

- 1 交通アクセスの改善
- 2 (公園を含む) 景観の維持・管理
- 3 駐車場の整備・拡充
- 4 トイレ整備・改修
- 5 水の事故を防ぐための安全対策
- 6 遊歩道・木製デッキなど
- 7 自然に触れる体験(乗舟・野鳥観察など)
- 8 近隣の名所や食事等も楽しめるような企画
- 9 その他 ( )

## 【市政全般と区政について】

問 28 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、次のページの回答欄に番号（1～35）をご記入ください。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 市・区の窓口対応    | 18 観光の振興      |
| 2 電子手続きの推進    | 19 まちなかの活性化   |
| 3 地域活動の振興     | 20 公共交通の充実    |
| 4 防災対策        | 21 計画的な市街地整備  |
| 5 防犯対策        | 22 公園の整備      |
| 6 子育て支援       | 23 道路の整備      |
| 7 高齢者福祉       | 24 公共下水道の整備   |
| 8 障がい者福祉      | 25 交通安全対策     |
| 9 保健・医療体制     | 26 学校教育       |
| 10 ごみ処理・リサイクル | 27 生涯学習       |
| 11 地球温暖化対策    | 28 市営住宅の整備    |
| 12 自然環境の保護    | 29 広報広聴活動     |
| 13 スポーツの振興    | 30 国際交流の振興    |
| 14 文化・芸術の振興   | 31 市民協働のまちづくり |
| 15 農林水産業の振興   | 32 男女共同参画の推進  |
| 16 商工業・貿易の振興  | 33 財産経営の推進    |
| 17 雇用の場の拡大    | 34 その他        |
|               | 35 わからない      |

回答欄（1～35までの番号を記入してください）

① 新潟市として良くなっているもの	1～35までの番号を3つまで記入してください		
「34（その他）」にご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	1～35までの番号を3つまで記入してください		
「34（その他）」にご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
③ 区として良くなっているもの	1～35までの番号を3つまで記入してください		
「34（その他）」にご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの	1～35までの番号を3つまで記入してください		
「34（その他）」にご回答された方は具体的に内容をお聞かせください			

### 【ご自身のことについて】

調査結果を統計的に分析するために必要なことをお聞きします。

F 1 あなたのお住まいは何区ですか。

1 北区	2 東区	3 中央区
4 江南区	5 秋葉区	6 南区
7 西区	8 西蒲区	

F 2 あなたの性別を教えてください。

- |     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他 |
|-----|-----|-------|

F 3 あなたの年齢を教えてください。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1 15～17歳 | 2 18～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～64歳 |
| 7 65～69歳 | 8 70～74歳 | 9 75歳以上  |

F 4 あなたのご職業を教えてください。

※複数のご職業をお持ちの方は、主なものを1つだけお選びください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 勤め人（パートも含む）     | 2 自営業（農林水産業を含む）    |
| 3 会社役員（団体役員などを含む） | 4 学生（高校・専修学校などを含む） |
| 5 家事専業            | 6 無職（学生、家事専業を除く）   |
| 7 その他（            | ）                  |

F 5 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 単身         | 2 夫婦のみ         |
| 3 2世代世帯（親と子） | 4 3世代世帯（親と子と孫） |
| 5 その他（       | ）              |



調査は以上で終了です  
ご協力ありがとうございました



◎郵送の場合は、同封の返信用封筒に入れて、令和7年9月15日（月）までに郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。



## 第52回 市政世論調査

(令和7年度)

発行：令和7年10月

発行者：新潟市市民生活部広聴相談課

〒951-8550

新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1

電話：025-226-2094